
須賀中學校外壁改修工事

宮代町教育推進課

須賀中学校外壁改修工事
宮代町立須賀中学校

【 意 匠 図 】

通番号	図面番号	図 面 名 称	通番号	図面番号	図 面 名 称	通番号	図面番号	図 面 名 称	通番号	図面番号	図 面 名 称
		図面リスト									
	A	【建築改修工事】					E	【電気設備改修工事】		M	【機械設備改修工事】
	A-01	特記仕様書（改修その1）		A-31	3・4階 建具キープラン		E-01	電気設備工事特記仕様書		M-01	機械設備工事特記仕様書(1)
	A-02	特記仕様書（改修その2）		A-32	屋上・塔屋屋上 建具キープラン		E-02	案内図・配置図		M-02	機械設備工事特記仕様書(2)
	A-03	特記仕様書（改修その3）		A-33	建具表 1		E-03	電気設備 1・2階平面図		M-03	案内図・配置図
	A-04	特記仕様書（改修その4）		A-34	建具表 2		E-04	電気設備 3・4階平面図		M-04	機械設備 1・2階平面図
	A-05	特記仕様書（改修その5）		A-35	建具表 3		E-05	電気設備屋上・塔屋屋上平面図		M-05	機械設備 3・4階平面図
	A-06	特記仕様書（改修その6）		A-36	建具表 4		E-06	電気設備立面図 1		M-06	機械設備屋上・塔屋屋上平面図
	A-07	特記仕様書（改修その7）		A-37	建具表 5		E-07	電気設備立面図 2		M-07	機械設備立面図 1
	A-08	特記仕様書（改修その8）		A-38	1・2階 平面図(雨水排水)					M-08	機械設備立面図 2
	A-09	特記仕様書（アスベスト撤去）参考図		A-39	3・4階 平面図(雨水排水)						
	A-10	案内図・配置図		A-40	屋上・塔屋屋上 平面図(雨水排水)						
	A-11	仮設計画図		A-41	防球・防鳥ネット 詳細図 1						
	A-12	外部仕上表		A-42	防球・防鳥ネット 詳細図 2						
	A-13	1・2階 平面図		A-43	防球・防鳥ネット 詳細図 3						
	A-14	3・4階 平面図									
	A-15	屋上・塔屋屋上 平面図									
	A-16	1・2階 天井伏図									
	A-17	3・4階 天井伏図									
	A-18	屋上・塔屋屋上 天井伏図									
	A-19	立面図 1									
	A-20	立面図 2									
	A-21	立面図 1 (劣化調査位置図)									
	A-22	立面図 2 (劣化調査位置図)									
	A-23	外壁等改修詳細図 1									
	A-24	外壁等改修詳細図 2									
	A-25	1階 昇降口 平面詳細図									
	A-26	2階 職員玄関 平面詳細図									
	A-27	3・4階 平面詳細図									
	A-28	外階段 平面詳細図									
	A-29	外階段 立面・断面詳細図									
	A-30	1・2階 建具キープラン									

須賀中学校

6 改質アスファルトシート防水
7 合成高分子系ルーフィングシート防水
8 塗膜防水
屋内防水
防水層の種類
工法 種類 施工箇所 断熱材 仕上塗料 備考

9 シーリング
10 とい
11 アルミニウム製笠木
12 防水工事施工要
4-1 施工数量調査
4-2 ひび割れ部改修工法
4-3 タイル張り仕上げ外壁
4-4 タイル張り仕上げ外壁
4-5 タイル張り仕上げ外壁

2 欠損部改修工法
3 ひび割れ部改修工法
4 欠損部改修工法
5 欠損部改修工法
6 欠損部改修工法
7 欠損部改修工法
8 欠損部改修工法
9 欠損部改修工法
10 欠損部改修工法
11 欠損部改修工法
12 欠損部改修工法

5 浮き部改修工法
6 目地改修工法
7 目地改修工法
8 目地改修工法
9 目地改修工法
10 目地改修工法
11 目地改修工法
12 目地改修工法

5 建具改修工事

1 改修工法 [5.1.3]

建具の種類	かぶせ工法	除去工法	適用箇所
712型建具	-	-	・建具表による
樹脂製建具	-	-	・建具裏による
鋼製建具	・外部	-	・建具表による
・鋼製軽量建具	・内部	-	・建具表による
・ステンレス製建具	-	-	・建具表による
・木製建具	-	-	・建具表による

2 防火戸 [5.1.4]

3 見本の製作等 [5.1.5]

4 防犯建物部品 [5.1.7]

5 アルミニウム製建具 [5.2.2~5][5.2.1、2]

6 網戸等 [5.2.3][5.3.3]

7 樹脂製建具 [5.2.2][5.3.2~5]

8 鋼製建具 [5.2.2][5.4.2][5.4.2]

9 鋼製軽量建具 [5.2.2][5.5.2~4]

10 ステンレス製建具 [5.2.2][5.4.2][5.6.2~5]

11 木製建具 [5.7.2~4]

12 建具用金物 [5.8.1~3]

13 鍵 [5.8.4]

14 自動ドア開閉装置 [5.9.2、3]

15 自閉式上り引戸装置 [5.10.3]

16 重量シャッター [5.11.2、3]

17 軽量シャッター [5.12.2~4]

18 オーバーヘッドドア [5.13.2、3]

19 ガラス [3.7][5.14.2~4]

20 ガラスブロック [5.14.5]

21 ガラス用フィルム [5.14.5]

6 内装改修工事

1 改修範囲 [6.1.3]

2 既存床の除去及び下地補修 [6.2.2]

3 既存壁の除去及び下地補修 [6.3.2]

4 施工一般 [6.5.2]

5 製材 [6.5.2]

6 造作用集成材 [6.5.2]

7 造作用単板積層材 [6.5.2]

須賀中学校

8 合板等	<p>「合板の日本農林規格」による普通合板 [6.5.2]</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>単板の樹種名</th> <th>接合の程度</th> <th>板面の品質</th> <th>防虫処理</th> <th>防虫処理</th> <th>防虫処理</th> <th>防虫処理</th> <th>防虫処理</th> </tr> <tr> <td></td> <td>※5.5</td> <td></td> <td>※1類・2類</td> <td>広葉樹 ※2等以上・1等針葉樹 ※C-D以上</td> <td>・適用する ・適用しない</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接合の程度	板面の品質	防虫処理	防虫処理	防虫処理	防虫処理	防虫処理		※5.5		※1類・2類	広葉樹 ※2等以上・1等針葉樹 ※C-D以上	・適用する ・適用しない				
	施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接合の程度	板面の品質	防虫処理	防虫処理	防虫処理	防虫処理	防虫処理															
		※5.5		※1類・2類	広葉樹 ※2等以上・1等針葉樹 ※C-D以上	・適用する ・適用しない																			
	<p>「合板の日本農林規格」による構造用合板 [6.5.2]</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>等級</th> <th>単板の樹種名</th> <th>接合の程度</th> <th>板面の品質</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>防虫処理</th> <th>強度等級</th> <th>防虫処理</th> <th>防虫処理</th> </tr> <tr> <td></td> <td>※2級以上・1級</td> <td></td> <td>※1類・特類</td> <td>※C-D以上</td> <td>※12</td> <td>・適用する ・適用しない</td> <td>・適用する ・適用しない</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					施工箇所	等級	単板の樹種名	接合の程度	板面の品質	厚さ (mm)	防虫処理	強度等級	防虫処理	防虫処理		※2級以上・1級		※1類・特類	※C-D以上	※12	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない		
施工箇所	等級	単板の樹種名	接合の程度	板面の品質	厚さ (mm)	防虫処理	強度等級	防虫処理	防虫処理																
	※2級以上・1級		※1類・特類	※C-D以上	※12	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない																		
<p>「合板の日本農林規格」による化粧用合板 [6.5.2]</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>単板の樹種名</th> <th>接合の程度</th> <th>防虫処理</th> <th>防虫処理</th> <th>防虫処理</th> <th>防虫処理</th> <th>防虫処理</th> <th>防虫処理</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・特類 ・1類</td> <td>・適用する ・適用しない</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接合の程度	防虫処理	防虫処理	防虫処理	防虫処理	防虫処理	防虫処理					・特類 ・1類	・適用する ・適用しない					
施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接合の程度	防虫処理	防虫処理	防虫処理	防虫処理	防虫処理	防虫処理																
				・特類 ・1類	・適用する ・適用しない																				
9 接合具等	<p>「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板 [6.5.2]</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>単板の樹種名</th> <th>接合の程度</th> <th>防虫処理</th> <th>防虫処理</th> <th>防虫処理</th> <th>防虫処理</th> <th>防虫処理</th> <th>防虫処理</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・1類 ・2類</td> <td>・適用する ・適用しない</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接合の程度	防虫処理	防虫処理	防虫処理	防虫処理	防虫処理	防虫処理					・1類 ・2類	・適用する ・適用しない				
	施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接合の程度	防虫処理	防虫処理	防虫処理	防虫処理	防虫処理	防虫処理															
					・1類 ・2類	・適用する ・適用しない																			
	<p>「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 [6.5.2]</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>接合の程度</th> <th>単板の樹種名</th> <th>化粧加工の方法</th> <th>防虫処理</th> <th>防虫処理</th> <th>防虫処理</th> <th>防虫処理</th> <th>防虫処理</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					施工箇所	厚さ (mm)	接合の程度	単板の樹種名	化粧加工の方法	防虫処理	防虫処理	防虫処理	防虫処理	防虫処理										
施工箇所	厚さ (mm)	接合の程度	単板の樹種名	化粧加工の方法	防虫処理	防虫処理	防虫処理	防虫処理	防虫処理																
10 接着剤	<p>パーティクルボード [6.5.2]</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>表裏面の状態による区分</th> <th>曲げ強さによる区分</th> <th>耐水性による区分</th> <th>難燃性による区分</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※1類 ※2類</td> <td>※1タイプ</td> <td>※P又はM</td> <td></td> <td>※15</td> </tr> </table>					施工箇所	厚さ (mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分	厚さ (mm)			※1類 ※2類	※1タイプ	※P又はM		※15						
	施工箇所	厚さ (mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分	厚さ (mm)																		
			※1類 ※2類	※1タイプ	※P又はM		※15																		
	<p>JAS 0360 に基づく構造用パネル</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>表裏面の状態による区分</th> <th>曲げ強さによる区分</th> <th>耐水性による区分</th> <th>難燃性による区分</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					施工箇所	厚さ (mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分	厚さ (mm)													
施工箇所	厚さ (mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分	厚さ (mm)																			
<p>MDF [6.5.2]</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>表裏面の状態による区分</th> <th>曲げ強さによる区分</th> <th>耐水性による区分</th> <th>難燃性による区分</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					施工箇所	厚さ (mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分	厚さ (mm)														
施工箇所	厚さ (mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分	厚さ (mm)																			
11 防虫・防蟻処理	<p>造作材の化粧面の釘打ち [6.5.3]</p> <p>※隠し釘打ち・釘埋め木・つぶし頭釘打ち・釘頭現し</p> <p>※松又は杉・杉金物・短冊金物 (改修標準仕様書表6.5.3~5に示す程度の市販品 表8.20.1のF種程度)</p> <p>※材質: 杉</p>																								
	<p>接着剤のホルムアルデヒドの放散量 ※F☆☆☆☆ [6.5.3.4]</p> <p>※薬剤の加圧注入による防虫・防蟻処理</p> <p>※適用部位: K2・K3・K4</p>																								
	<p>薬剤の塗布等による防虫・防蟻処理 [6.5.5]</p> <p>※適用部位: K2・K3・K4</p>																								
	<p>薬剤の塗布等による防虫・防蟻処理 [6.5.5]</p> <p>※適用部位: K2・K3・K4</p>																								
12 内部間仕切軸組及び床組み	<p>間仕切軸組に用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合) [6.5.6]</p> <p>※杉又は松</p> <p>※材質: 杉</p>																								
	<p>床組に用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合) [6.5.6]</p> <p>※杉又は松</p>																								
13 窓、出入口その他	<p>窓、出入口その他に用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合) [6.5.7]</p> <p>※杉又は松</p> <p>※材質: 杉</p>																								
	<p>野縁等の種類 屋外 (※25形・19形) 屋内 (※19形・25形) [6.6.2~4]</p> <p>※野縁の端から野縁の間の距離 ※図示</p> <p>※野縁の間の距離 ※図示</p> <p>※野縁の埋込みインサート ※使用する ○使用しない</p> <p>※既存工の施工後の確認試験</p> <p>※行う</p> <p>※試験箇所数 ※屋内の場合、当該階において3箇所 () 箇所</p> <p>※引張試験にて確認する強度</p> <p>※つりボルト受け等の間隔が900mm程度以下かつ天井面積構成部材等の単位面積あたりの質量が20kg/m²以内の天井の場合は400mm程度</p> <p>※行わない</p> <p>※吊りボルトの間隔が900mmを超える場合の補強方法 ※図示</p> <p>※天井のふところ部分が3.0mを超える場合の補強方法 ※図示</p> <p>※天井下地材における耐震性を考慮した補強 補強箇所 ※図示</p>																								

15 軽量鉄骨壁下地	<p>スタッド、ランナーの種類 [6.7.3.4]表[6.7.1]</p> <p>※表6.7.1により「スタッドの高さによる区分」に応じた種類・図示</p> <p>※スタッドの高さが5mを超える場合 ※図示</p> <p>※出入口及びこれに準じる開口部の補強 ※[6.7.4] (5)による</p>																																																																																																																	
	<p>16 ビニル床シート [6.8.2.3]</p> <table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>色柄</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※FS (複層ビニル床シート)</td> <td>○無地</td> <td>※2.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○KS</td> <td>○柄物</td> <td>※3.5</td> <td></td> </tr> </table> <p>※接合部の処理 ※熱溶接法</p>					種類の記号	色柄	厚さ (mm)	備考	※FS (複層ビニル床シート)	○無地	※2.0		○KS	○柄物	※3.5																																																																																																		
	種類の記号	色柄	厚さ (mm)	備考																																																																																																														
	※FS (複層ビニル床シート)	○無地	※2.0																																																																																																															
○KS	○柄物	※3.5																																																																																																																
<p>17 ビニル床タイル [6.8.2]</p> <table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>色柄</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※KT (コブタタビビニル床タイル)</td> <td>○無地</td> <td>300×300</td> <td>※2.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>○柄物</td> <td>450×450</td> <td>※3.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・TT (単層ビニル床タイル)</td> <td>○無地</td> <td>300×300</td> <td>※2.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>○柄物</td> <td>450×450</td> <td>※3.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・FT (複層ビニル床タイル)</td> <td>○無地</td> <td>300×300</td> <td>※2.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>○柄物</td> <td>450×450</td> <td>※2.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※3.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・FOA (置敷きビニル床タイル)</td> <td>○無地</td> <td>500×500</td> <td>※4.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>○柄物</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・FOB (薄型置敷きビニル床タイル)</td> <td>○無地</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>○柄物</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					種類の記号	色柄	寸法 (mm)	厚さ (mm)	備考	※KT (コブタタビビニル床タイル)	○無地	300×300	※2.0			○柄物	450×450	※3.0		・TT (単層ビニル床タイル)	○無地	300×300	※2.0			○柄物	450×450	※3.0		・FT (複層ビニル床タイル)	○無地	300×300	※2.0			○柄物	450×450	※2.5					※3.0		・FOA (置敷きビニル床タイル)	○無地	500×500	※4.0			○柄物				・FOB (薄型置敷きビニル床タイル)	○無地					○柄物																																																					
種類の記号	色柄	寸法 (mm)	厚さ (mm)	備考																																																																																																														
※KT (コブタタビビニル床タイル)	○無地	300×300	※2.0																																																																																																															
	○柄物	450×450	※3.0																																																																																																															
・TT (単層ビニル床タイル)	○無地	300×300	※2.0																																																																																																															
	○柄物	450×450	※3.0																																																																																																															
・FT (複層ビニル床タイル)	○無地	300×300	※2.0																																																																																																															
	○柄物	450×450	※2.5																																																																																																															
			※3.0																																																																																																															
・FOA (置敷きビニル床タイル)	○無地	500×500	※4.0																																																																																																															
	○柄物																																																																																																																	
・FOB (薄型置敷きビニル床タイル)	○無地																																																																																																																	
	○柄物																																																																																																																	
18 特殊機能床材	<p>帯電防止床シート [6.8.2]</p> <p>性能 () 厚さ (mm) ()</p> <p>帯電防止床タイル [6.8.2]</p> <p>性能 () 寸法 (mm) (×) 厚さ (mm) ()</p> <p>視覚障害者用床タイル [6.8.2]</p> <p>視覚障害者誘導用ブロック等の突起の形状・寸法及びその配列はJIS T 9251による。</p> <p>種類 () 形状 ()</p> <p>防汚性床シート [6.8.2]</p> <p>性能 () 厚さ (mm) ()</p> <p>防汚性床タイル [6.8.2]</p> <p>性能 () 厚さ (mm) ()</p> <p>防汚性床タイル [6.8.2]</p> <p>性能 () 寸法 (mm) (×) 厚さ (mm) ()</p>																																																																																																																	
	<p>19 ビニル幅木 [6.8.2]</p> <p>材質の種類 ・軟質 ・硬質 ・床シート巻上げ(端部の処理は図示による)</p> <p>高さ (mm) ※60・75・100</p> <p>厚さ (mm) ※1.5以上</p>																																																																																																																	
	<p>20 ゴム床タイル [6.8.2]</p> <p>種類 ・単層品 ・積層品</p> <p>色柄 ()</p> <p>厚さ (mm) 3.0・4.5・6.0・9.0</p> <p>寸法 (mm) () × ()</p>																																																																																																																	
	<p>21 カーペット敷き [6.9.2.3]表[6.9.1]</p> <p>織り方</p> <p>ワイルドカーペット ・カットパイル</p> <p>ダブルフェースカーペット ・ループパイル</p> <p>アキスミンスターカーペット ・カット/ループパイル</p> <p>色柄 ※模様のない無地</p> <p>パイル糸の種類 ※無地の織りじゅうたんの種類 (・A種 ・B種 ・C種)</p> <p>帯電性 ※適用する ・適用しない</p> <p>織り方 ※糸の接合方法 ※ヒートボンド工法 ・つづり縫い</p> <p>下敷き材 ※反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ 8mm</p> <p>・タフテッドカーペット</p> <p>パイル形状</p> <table border="1"> <tr> <th>パイル形状</th> <th>パイル長さ (mm)</th> <th>工法</th> <th>帯電性</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・カットパイル</td> <td>5~7</td> <td>・全面接着工法</td> <td>・適用する</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ループパイル</td> <td>4~6</td> <td>・ゲリット工法</td> <td>・適用しない</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・カット、ループ併用</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>下敷き材 (グリッター工法の場合)</p> <p>※反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ 8mm</p> <p>タフテッドカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆</p> <p>・タイルカーペット</p> <table border="1"> <tr> <th>パイル形状</th> <th>種類</th> <th>施工箇所</th> <th>寸法</th> <th>総厚さ (mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※ループパイル</td> <td>※第一種</td> <td></td> <td>※500×500</td> <td>※6.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>※第二種</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・カットパイル</td> <td>・第一種</td> <td></td> <td>※500×500</td> <td>※6.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・第二種</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・カット、ループ併用</td> <td>・第一種</td> <td></td> <td>※500×500</td> <td>※6.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・第二種</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					パイル形状	パイル長さ (mm)	工法	帯電性	備考	・カットパイル	5~7	・全面接着工法	・適用する		・ループパイル	4~6	・ゲリット工法	・適用しない		・カット、ループ併用					パイル形状	種類	施工箇所	寸法	総厚さ (mm)	備考	※ループパイル	※第一種		※500×500	※6.5			※第二種					・カットパイル	・第一種		※500×500	※6.5			・第二種					・カット、ループ併用	・第一種		※500×500	※6.5			・第二種																																																			
パイル形状	パイル長さ (mm)	工法	帯電性	備考																																																																																																														
・カットパイル	5~7	・全面接着工法	・適用する																																																																																																															
・ループパイル	4~6	・ゲリット工法	・適用しない																																																																																																															
・カット、ループ併用																																																																																																																		
パイル形状	種類	施工箇所	寸法	総厚さ (mm)	備考																																																																																																													
※ループパイル	※第一種		※500×500	※6.5																																																																																																														
	※第二種																																																																																																																	
・カットパイル	・第一種		※500×500	※6.5																																																																																																														
	・第二種																																																																																																																	
・カット、ループ併用	・第一種		※500×500	※6.5																																																																																																														
	・第二種																																																																																																																	
22 合成樹脂塗床	<p>タイルカーペットの敷き方 平場 ※市松敷き ・模様流し</p> <p>階段部分 ※模様流し ・市松敷き</p> <p>見切り、押え金物 種類 () 形状等 (※図示)</p> <p>材質 ()</p>																																																																																																																	
	<p>6.10.2.3</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>施工箇所</th> <th>工法</th> <th>仕上げの種類</th> </tr> <tr> <td>・厚膜型塗床材 (弾性樹脂系塗床)</td> <td></td> <td></td> <td>※平滑仕上げ ・防汚仕上げ ・つや消し仕上げ</td> </tr> <tr> <td>・厚膜型塗床材 (非樹脂系塗床)</td> <td></td> <td>・薄膜流しのべ工法 ・厚膜流しのべ工法 ・樹脂めり工法</td> <td>・平滑仕上げ ・防汚仕上げ</td> </tr> <tr> <td>・薄膜型塗床材 (非樹脂系塗床)</td> <td></td> <td></td> <td>※平滑仕上げ</td> </tr> <tr> <td>・7794樹脂塗床 (防塵塗料塗り)</td> <td></td> <td>※製造所の指定による</td> <td>表面仕上げ ※平滑 溶剤 ※水性</td> </tr> </table> <p>塗床材のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆</p>					種類	施工箇所	工法	仕上げの種類	・厚膜型塗床材 (弾性樹脂系塗床)			※平滑仕上げ ・防汚仕上げ ・つや消し仕上げ	・厚膜型塗床材 (非樹脂系塗床)		・薄膜流しのべ工法 ・厚膜流しのべ工法 ・樹脂めり工法	・平滑仕上げ ・防汚仕上げ	・薄膜型塗床材 (非樹脂系塗床)			※平滑仕上げ	・7794樹脂塗床 (防塵塗料塗り)		※製造所の指定による	表面仕上げ ※平滑 溶剤 ※水性																																																																																									
	種類	施工箇所	工法	仕上げの種類																																																																																																														
	・厚膜型塗床材 (弾性樹脂系塗床)			※平滑仕上げ ・防汚仕上げ ・つや消し仕上げ																																																																																																														
・厚膜型塗床材 (非樹脂系塗床)		・薄膜流しのべ工法 ・厚膜流しのべ工法 ・樹脂めり工法	・平滑仕上げ ・防汚仕上げ																																																																																																															
・薄膜型塗床材 (非樹脂系塗床)			※平滑仕上げ																																																																																																															
・7794樹脂塗床 (防塵塗料塗り)		※製造所の指定による	表面仕上げ ※平滑 溶剤 ※水性																																																																																																															
<p>23 フローリング張り [6.11.2~6]</p> <p>フローリングのホルムアルデヒドの放散量等 [6.11.2~6]</p> <p>※改修標準仕様書6.11.2.(2)による</p> <p>各工法に使用する接着剤のホルムアルデヒドの放散量 ※F☆☆☆☆</p> <p>単層フローリング (フローリングボード1等)</p> <p>工法</p> <p>・釘止め工法 (・根太張り ・直張り) ・接着工法</p> <p>種類</p> <p>※なら</p> <p>間伐材等の適用</p> <p>・する ・しない</p> <p>単層フローリング (フローリングブロック1等)</p> <p>種類</p> <p>厚さ (mm)</p> <p>大きさ</p> <p>間伐材等の適用</p> <p>・する ・しない</p> <p>複合フローリング</p> <p>工法</p> <p>・釘止め工法 (・根太張り ・直張り) ・接着工法</p> <p>種類</p> <p>※なら</p> <p>間伐材等の適用</p> <p>・する ・しない</p> <p>種類</p> <p>・A種 ・B種 ・C種</p> <p>間伐材等の適用</p> <p>・する ・しない</p> <p>接着工法の場合の不陸補修材 ※合成樹脂系塗床シート</p> <p>・現場塗装仕上げ ※ワランタン樹脂ワニス塗り</p> <p>・オイルステンの上、ワックス塗り</p> <p>・生地のままワックス塗り</p>																																																																																																																		
<p>24 畳敷き [6.12.2]</p> <p>種類 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 (畳床: ・KT-I ・KT-II ・KT-III ・KT-K ・KT-N)</p> <p>下地の種類</p> <p>・標準仕様書 表12.6.11による床組</p> <p>・ポリスチレンフォーム床下地 (ノンフロン)</p> <p>畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発散量が極めて少ない材料を使用したものとする。</p> <p>衝撃緩和型畳 (畳表: ・G1 ・G2)</p> <p>MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 [6.13.2.3]</p> <p>※F☆☆☆☆</p> <p>合板のホルムアルデヒド放散量</p> <p>※改修標準仕様書6.13.2.2(4)の(a)~(d)のいずれか</p> <p>接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆</p> <p>木モセメント板 [6.13.2.3]</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ (mm)、規格等</th> </tr> <tr> <td>・硬質 (HW)</td> <td>・15 ・20 ・25</td> </tr> <tr> <td>・中質 (MW)</td> <td>・15 ・20 ・25</td> </tr> <tr> <td>・普通 (NW)</td> <td>・15 ・20 ・25</td> </tr> </table> <p>木片セメント板 [6.13.2.3]</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ (mm)、規格等</th> </tr> <tr> <td>・硬質 (HW)</td> <td>・12 ・15 ・18 ・21</td> </tr> <tr> <td>・普通 (NW)</td> <td>・30</td> </tr> </table> <p>繊維強化セメント板 [6.13.2.3]</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ (mm)、規格等</th> </tr> <tr> <td>○けい酸カルシウム板</td> <td>普通ボード0.8FKタイプ2 (無石棉) ・6 ・8</td> </tr> <tr> <td>・ケイ酸カルシウム板</td> <td>普通ボード0.8FKタイプ2 (無石棉) ・6 ・8</td> </tr> <tr> <td></td> <td>表面への化粧張り等の加工 ・アクリル樹脂系接着剤</td> </tr> </table> <p>火山性ガラス質複層板 [6.13.2.3]</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ (mm)、規格等</th> </tr> <tr> <td>・火山性ガラス質複層板</td> <td>・図示による</td> </tr> </table> <p>繊維板 [6.13.2.3]</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ (mm)、規格等</th> </tr> <tr> <td>ハードボード</td> <td>・素地ハードボード (未研磨板 (RN) ・研磨板 (RS)) ・内装用化粧ハードボード (D1) 厚さ ・2.5 ・3.5 ・5 ・7</td> </tr> <tr> <td>ハードボード</td> <td>・素地ハードボード (未研磨板 (RN) ・研磨板 (RS)) ・内装用化粧ハードボード (D2) 厚さ ・2.5 ・3.5 ・5 ・7</td> </tr> <tr> <td>・ミディアムデンシティファイバーボード (MDF) [6.13.2.3]</td> <td>厚さ ・3 ・7 ・9 ・12</td> </tr> <tr> <td>・インシュレーションボード [6.13.2.3]</td> <td>A級 (・天井仕上げ ・内装仕上げ) ・9 ・12 ・15 ・18</td> </tr> </table> <p>パーティクルボード [6.13.2.3]</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ (mm)、規格等</th> </tr> <tr> <td>・単板張りパーティクルボード</td> <td>・無研磨板 (VN) ・研磨板 (VS) ・12 ・15 ・18</td> </tr> <tr> <td>・化粧パーティクルボード</td> <td>・単板ハードボード (DV) ・75mm厚ハードボード (DO) ・塗装 (DC) ・10 (難燃) ・12 (難燃)</td> </tr> </table> <p>吸音材料 [6.13.2.3]</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ (mm)、規格等</th> </tr> <tr> <td>・ロックウール化粧吸音板 (DR)</td> <td>・フラットタイプ (・9 (不燃) ・12 (不燃)) ・凹凸タイプ (・12 (不燃) ・15 (不燃)) ・25</td> </tr> <tr> <td>・ロックウール吸音ボード1号</td> <td>・25</td> </tr> <tr> <td>・グラスウール吸音ボード32K</td> <td>・25 (ガラスクロス包)</td> </tr> </table> <p>せっこうボード製品 [6.13.2.3]</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ (mm)、規格等</th> </tr> <tr> <td>・せっこうボード (GB-R)</td> <td>・12.5 (不燃) ・15 (不燃)</td> </tr> <tr> <td>・不燃積層せっこうボード (GB-NC)</td> <td>9.5 (不燃) ・化粧用 (下地張り用)</td> </tr> <tr> <td>・化粧用 (トラバーチン模様)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・シーリングせっこうボード (GB-S)</td> <td>12.5 (※不燃) ・準不燃</td> </tr> <tr> <td>・強化せっこうボード (GB-F)</td> <td>・12.5 (不燃) ・15 (不燃)</td> </tr> <tr> <td>・せっこうボード (GB-L)</td> <td>9.5</td> </tr> <tr> <td>・化粧せっこうボード (GB-D)</td> <td>・木目12.5 (不燃) 幅 440mm 程度 模様 (・柱目 ・板目) 専用下地材有り ・15mm厚模様 9.5 (準不燃)</td> </tr> </table> <p>合板 [6.13.2.3]</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ (mm)、規格等</th> </tr> <tr> <td>・普通合板</td> <td>表面の樹種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>生地 ・透明塗料塗り (※ラワン合板程度)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>板面の品質</td> </tr> <tr> <td></td> <td>厚さ (mm) ※図示による</td> </tr> <tr> <td></td> <td>防虫処理 ・行う ・行わない</td> </tr> <tr> <td>・天然木化粧合板</td> <td>化粧板の樹種名</td> </tr> <tr> <td></td> <td>厚さ (mm) ※図示による</td> </tr> <tr> <td></td> <td>防虫処理 ・行う ・行わない</td> </tr> <tr> <td>・特殊加工化粧合板</td> <td>化粧加工の方法 ・オナーレイ ・プリント ・塗装</td> </tr> <tr> <td></td> <td>表面性能 (タイプ)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>厚さ (mm) ※図示による</td> </tr> <tr> <td></td> <td>防虫処理 ・行う ・行わない</td> </tr> </table> <p>化粧板 [6.14.2.3]</p> <p>・メラミン樹脂化粧板</p> <p>・ポリエステル樹脂化粧板</p> <p>天井のボード類 (ロックウール吸音板を除く) の重ね張りを行う場合 ※図示による</p> <p>合板類の張付け ・A種 ・B種</p> <p>せっこうボードの目地工法等</p> <p>目地工法の種類 ※仕上表による</p> <p>突付け工法及び目隠し工法のエッジの種類</p> <p>突付け工法のエッジの種類</p> <p>目隠し工法のエッジの種類</p> <p>化粧加工の方法 (・オーバーレイ ・プリント ・塗装)</p>					種類	厚さ (mm)、規格等	・硬質 (HW)	・15 ・20 ・25	・中質 (MW)	・15 ・20 ・25	・普通 (NW)	・15 ・20 ・25	種類	厚さ (mm)、規格等	・硬質 (HW)	・12 ・15 ・18 ・21	・普通 (NW)	・30	種類	厚さ (mm)、規格等	○けい酸カルシウム板	普通ボード0.8FKタイプ2 (無石棉) ・6 ・8	・ケイ酸カルシウム板	普通ボード0.8FKタイプ2 (無石棉) ・6 ・8		表面への化粧張り等の加工 ・アクリル樹脂系接着剤	種類	厚さ (mm)、規格等	・火山性ガラス質複層板	・図示による	種類	厚さ (mm)、規格等	ハードボード	・素地ハードボード (未研磨板 (RN) ・研磨板 (RS)) ・内装用化粧ハードボード (D1) 厚さ ・2.5 ・3.5 ・5 ・7	ハードボード	・素地ハードボード (未研磨板 (RN) ・研磨板 (RS)) ・内装用化粧ハードボード (D2) 厚さ ・2.5 ・3.5 ・5 ・7	・ミディアムデンシティファイバーボード (MDF) [6.13.2.3]	厚さ ・3 ・7 ・9 ・12	・インシュレーションボード [6.13.2.3]	A級 (・天井仕上げ ・内装仕上げ) ・9 ・12 ・15 ・18	種類	厚さ (mm)、規格等	・単板張りパーティクルボード	・無研磨板 (VN) ・研磨板 (VS) ・12 ・15 ・18	・化粧パーティクルボード	・単板ハードボード (DV) ・75mm厚ハードボード (DO) ・塗装 (DC) ・10 (難燃) ・12 (難燃)	種類	厚さ (mm)、規格等	・ロックウール化粧吸音板 (DR)	・フラットタイプ (・9 (不燃) ・12 (不燃)) ・凹凸タイプ (・12 (不燃) ・15 (不燃)) ・25	・ロックウール吸音ボード1号	・25	・グラスウール吸音ボード32K	・25 (ガラスクロス包)	種類	厚さ (mm)、規格等	・せっこうボード (GB-R)	・12.5 (不燃) ・15 (不燃)	・不燃積層せっこうボード (GB-NC)	9.5 (不燃) ・化粧用 (下地張り用)	・化粧用 (トラバーチン模様)		・シーリングせっこうボード (GB-S)	12.5 (※不燃) ・準不燃	・強化せっこうボード (GB-F)	・12.5 (不燃) ・15 (不燃)	・せっこうボード (GB-L)	9.5	・化粧せっこうボード (GB-D)	・木目12.5 (不燃) 幅 440mm 程度 模様 (・柱目 ・板目) 専用下地材有り ・15mm厚模様 9.5 (準不燃)	種類	厚さ (mm)、規格等	・普通合板	表面の樹種		生地 ・透明塗料塗り (※ラワン合板程度)		板面の品質		厚さ (mm) ※図示による		防虫処理 ・行う ・行わない	・天然木化粧合板	化粧板の樹種名		厚さ (mm) ※図示による		防虫処理 ・行う ・行わない	・特殊加工化粧合板	化粧加工の方法 ・オナーレイ ・プリント ・塗装		表面性能 (タイプ)		厚さ (mm) ※図示による		防虫処理 ・行う ・行わない																		
種類	厚さ (mm)、規格等																																																																																																																	
・硬質 (HW)	・15 ・20 ・25																																																																																																																	
・中質 (MW)	・15 ・20 ・25																																																																																																																	
・普通 (NW)	・15 ・20 ・25																																																																																																																	
種類	厚さ (mm)、規格等																																																																																																																	
・硬質 (HW)	・12 ・15 ・18 ・21																																																																																																																	
・普通 (NW)	・30																																																																																																																	
種類	厚さ (mm)、規格等																																																																																																																	
○けい酸カルシウム板	普通ボード0.8FKタイプ2 (無石棉) ・6 ・8																																																																																																																	
・ケイ酸カルシウム板	普通ボード0.8FKタイプ2 (無石棉) ・6 ・8																																																																																																																	
	表面への化粧張り等の加工 ・アクリル樹脂系接着剤																																																																																																																	
種類	厚さ (mm)、規格等																																																																																																																	
・火山性ガラス質複層板	・図示による																																																																																																																	
種類	厚さ (mm)、規格等																																																																																																																	
ハードボード	・素地ハードボード (未研磨板 (RN) ・研磨板 (RS)) ・内装用化粧ハードボード (D1) 厚さ ・2.5 ・3.5 ・5 ・7																																																																																																																	
ハードボード	・素地ハードボード (未研磨板 (RN) ・研磨板 (RS)) ・内装用化粧ハードボード (D2) 厚さ ・2.5 ・3.5 ・5 ・7																																																																																																																	
・ミディアムデンシティファイバーボード (MDF) [6.13.2.3]	厚さ ・3 ・7 ・9 ・12																																																																																																																	
・インシュレーションボード [6.13.2.3]	A級 (・天井仕上げ ・内装仕上げ) ・9 ・12 ・15 ・18																																																																																																																	
種類	厚さ (mm)、規格等																																																																																																																	
・単板張りパーティクルボード	・無研磨板 (VN) ・研磨板 (VS) ・12 ・15 ・18																																																																																																																	
・化粧パーティクルボード	・単板ハードボード (DV) ・75mm厚ハードボード (DO) ・塗装 (DC) ・10 (難燃) ・12 (難燃)																																																																																																																	
種類	厚さ (mm)、規格等																																																																																																																	
・ロックウール化粧吸音板 (DR)	・フラットタイプ (・9 (不燃) ・12 (不燃)) ・凹凸タイプ (・12 (不燃) ・15 (不燃)) ・25																																																																																																																	
・ロックウール吸音ボード1号	・25																																																																																																																	
・グラスウール吸音ボード32K	・25 (ガラスクロス包)																																																																																																																	
種類	厚さ (mm)、規格等																																																																																																																	
・せっこうボード (GB-R)	・12.5 (不燃) ・15 (不燃)																																																																																																																	
・不燃積層せっこうボード (GB-NC)	9.5 (不燃) ・化粧用 (下地張り用)																																																																																																																	
・化粧用 (トラバーチン模様)																																																																																																																		
・シーリングせっこうボード (GB-S)	12.5 (※不燃) ・準不燃																																																																																																																	
・強化せっこうボード (GB-F)	・12.5 (不燃) ・15 (不燃)																																																																																																																	
・せっこうボード (GB-L)	9.5																																																																																																																	
・化粧せっこうボード (GB-D)	・木目12.5 (不燃) 幅 440mm 程度 模様 (・柱目 ・板目) 専用下地材有り ・15mm厚模様 9.5 (準不燃)																																																																																																																	
種類	厚さ (mm)、規格等																																																																																																																	
・普通合板	表面の樹種																																																																																																																	
	生地 ・透明塗料塗り (※ラワン合板程度)																																																																																																																	
	板面の品質																																																																																																																	
	厚さ (mm) ※図示による																																																																																																																	
	防虫処理 ・行う ・行わない																																																																																																																	
・天然木化粧合板	化粧板の樹種名																																																																																																																	
	厚さ (mm) ※図示による																																																																																																																	
	防虫処理 ・行う ・行わない																																																																																																																	
・特殊加工化粧合板	化粧加工の方法 ・オナーレイ ・プリント ・塗装																																																																																																																	
	表面性能 (タイプ)																																																																																																																	
	厚さ (mm) ※図示による																																																																																																																	
	防虫処理 ・行う ・行わない																																																																																																																	
26 壁紙張り	<p>壁紙のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ [6.14.2.3]</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>紙</th> <th>織物</th> <th>壁紙</th> <th>無機質</th> <th>その他</th> <th>防火種別</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>モルタル及びせっこうプラスター面の素地ごしらえの種類 ※B種 ・A種</p> <p>コンクリート面の素地ごしらえの種類 ※B種 ・A種</p> <p>せっこうボード面及びその他のボード面の素地ごしらえの種類 ※B種 ・A種</p>					施工箇所	紙	織物	壁紙	無機質	その他	防火種別	備考																																																																																																					
	施工箇所	紙	織物	壁紙	無機質	その他	防火種別	備考																																																																																																										
	<p>27 モルタル塗り [6.15.3.5.6]</p> <p>モルタル ・現場調合材料 ・既調合材料 [6.15.3.5.6]</p> <p>既製目地材 ・設ける () 形状 (※図示)</p> <p>床目地 ・設ける</p> <p>目地割り ※2m程度 (最大目地間隔3m程度)</p> <p>種類 ※押し目地</p> <p>壁面の仕上げ厚さは全塗厚が25mmを超える場合の目地処理 ※図示による</p> <p>・設けない</p> <p>伸縮調整目地の位置 [6.16.2~4]</p> <p>床タイル (※縦、横とも4m以内ごと) ・図示</p> <p>床タイル以外 (・図示)</p> <p>伸縮調整目地のシーリング材、目地法は改訂仕様書第3章による</p> <p>試験張り ・行う (縮留、仕様等は図示による) ・行わない</p> <p>見本焼き ・行う (施工箇所) ・行わない</p> <p>・セメントモルタルによるタイル (セラミックタイル) 張り</p> <p>タイルの形状・寸法等</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種類</th> <th>形状/寸法 (mm)</th> <th>再生材料の適用</th> <th>取付による区分</th> <th>凹凸</th> <th>役物</th> <th>色</th> <th>耐震性</th> <th>耐汚性</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>標準的な曲がりの役物は一形成とする</p> <p>既調合モルタル</p> <p>モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、石膏材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。</p> <p>既調合目地材</p> <p>壁タイル張りの工法</p> <p>内装タイル ・密着張り ・改良圧着張り</p> <p>内装タイル以外のユニットタイル ・マスク張り ・モザイクタイル張り</p> <p>・有機系接着剤によるタイル (セラミックタイル) 張り</p> <p>タイルの形状・寸法等</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種類</th> <th>形状/寸法 (mm)</th> <th>再生材料の適用</th> <th>取付による区分</th> <th>凹凸</th> <th>役物</th> <th>色</th> <th>耐震性</th> <th>耐汚性</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>標準的な曲がりの役物は一形成とする</p> <p>内装タイル接着剤張りの接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆</p>					施工箇所	種類	形状/寸法 (mm)	再生材料の適用	取付による区分	凹凸	役物	色	耐震性	耐汚性	備考												施工箇所	種類	形状/寸法 (mm)	再生材料の適用	取付による区分	凹凸	役物	色	耐震性	耐汚性	備考																																																																												
施工箇所	種類	形状/寸法 (mm)	再生材料の適用	取付による区分	凹凸	役物	色	耐震性	耐汚性	備考																																																																																																								
施工箇所	種類	形状/寸法 (mm)	再生材料の適用	取付による区分	凹凸	役物	色	耐震性	耐汚性	備考																																																																																																								
<p>29 セルフレベリングタイル [6.17.2.3]</p> <p>厚さ (mm)</p> <p>20 フリーアクセスフロア [20.2.2]</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>構造</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>高さ (mm)</th> <th>耐震性能</th> <th>所定荷重</th> <th>表面仕上げ材</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・畳敷式 ・支柱調整式</td> <td>・500×500</td> <td>・1.0G ・0.6G</td> <td>・3.000 ・5.000</td> <td>・帯電防止床タイル ・タイル</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・畳敷式 ・支柱調整式</td> <td>・500×500</td> <td>・1.0G ・0.6G</td> <td>・3.000 ・5.000</td> <td>・帯電防止床タイル ・タイル</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>フリーアクセスフロアの試験方法</p> <p>※標準仕様書20.2.2(2)(4) (a)~(d)による</p> <p>寸法精度</p> <p>※標準仕様書20.2.2(2)(4) (a)~(c)による</p> <p>・以下による</p> <p>パネルの長さの寸法精度 ()</p> <p>パネルの平面形状 (角度) の寸法精度 ()</p> <p>フリーアクセスフロアの高さの寸法精度 ()</p> <p>帯電防止性能</p> <p>・評価値 (U) ≥0.6以上</p> <p>・評価値 (U) ≥1.2以上</p> <p>感電防止性能</p> <p>漏えい抵抗 (R) ≥1×10⁶ Ω</p> <p>パネル材料のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ [20.2.3]</p> <table border="1"> <tr> <th>構造形式</th> <th>構成基材の種類</th> <th>パネル表面仕上げ</th> <th>遮音性 (dB/500Hz)</th> <th>防火性能</th> </tr> <tr> <td>・スライド式 (内蔵)</td> <td>・メラミン樹脂積層付又は</td> <td>・メラミン樹脂積層付又は</td> <td>・0</td> <td>・不燃</td> </tr> <tr> <td>・スライド式 (露出)</td> <td>・メラミン樹脂積層付又は</td> <td>・メラミン樹脂積層付又は</td> <td>・12</td> <td>・不燃</td> </tr> <tr> <td>・パネル式</td> <td>・壁紙張り</td> <td>・壁紙張り</td> <td>・20</td> <td>・不燃</td> </tr> <tr> <td>・スタッパパネル式</td> <td></td> <td></td> <td>・28</td> <td>・不燃</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・36</td> <td>・不燃</td> </tr> </table> <p>パネル内に取付ける建具 ・あり (※図示)</p> <p>・なし</p> <p>パネル内に取付ける建具のドアクローザ、丁番、錠前、上げ落しは、標準仕様書19章8節の建具用金物に対応する材質とする。</p> <p>表面仕上げ材を壁紙張りとする場合の品質、性能は標準仕様書19章による。</p> <p>20.2.4</p> <p>パネル材料のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆</p> <table border="1"> <tr> <th>構造形式</th> <th>操作方式</th> <th>圧接装置の操作方式</th> <th>パネル表面材</th> <th>遮音性 (dB/500Hz)</th> </tr> <tr> <td>・平行方向移動式</td> <td>・手動式</td> <td>・手動式</td> <td>・鋼板</td> <td>・36未満</td> </tr> <tr> <td>・二方向移動式</td> <td>・電動式</td> <td>・ハンドル式</td> <td>・鋼板</td> <td>・36以上</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・電動式</td> <td>・ハンドル式</td> <td>・鋼板</td> <td>・36以上</td> </tr> </table> <p>パネル表面仕上げの壁紙張りの品質、性能は、標準仕様書19章による。</p> <p>遮音性能は、JIS A 6512に準拠し、中心周波数500Hzの音についての透過損失とする。</p> <p>ハンガーレールの取付け下地の補強</p> <p>※取付け全重量の5倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力及び変形量となるように補強する。</p> <p>・図示</p> <p>パネルをランナーに取り付ける部品</p> <p>※ランナーに加わる重量の5倍以上の荷重に耐えられるもの</p> <p>ハンガーレール及びランナー</p> <p>※パネル重量の5倍の荷重を、パネル1枚に使用するランナー数で除した値に</p> <p>対して、耐力及び変形量で使用上支障のないもの</p> <p>33 トイレブース [20.2.5]</p> <p>パネル材料のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆</p> <table border="1"> <tr> <th>表面材の種類</th> <th>脚部種類</th> <th>ドアエッジの材質</th> <th>ドアエッジの形状</th> </tr> <tr> <td>・メラミン樹脂系化粧板</td> <td>※幅木タイプ</td> <td>・アルミニウム製</td> <td>・標準</td> </tr> <tr> <td>・ポリエステル樹脂系化粧板</td> <td></td> <td>・ステンレス製</td> <td>・Rタイプ</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・表面材と同材</td> <td></td> </tr> </table> <p>20.2.6</p> <p>材料の種類及び仕上げ</p> <p>・SUS304 表面処理 ※HL程度</p> <p>・鋼製 表面処理 溶融亜鉛めっき (※標準仕様書 表14.2.21による種別 (種))</p> <p>・アルミニウム 表面処理 (※標準仕様書 表14.2.11による種別 (種))</p> <p>・色合等 ・標準色 () ・特注色 ()</p> <p>手すりの握り部分</p> <table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>表面仕上げ</th> <th>直径 (mm)</th> <th>取付箇所</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・集成材 (材種:)</td> <td>・リブ加工</td> <td>・30程度・35程度・45程度</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ビニル製ハードレール</td> <td></td> <td>・30程度・35程度・45程度</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・樹脂製握り</td> <td></td> <td>・34φ</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					施工箇所	構造	寸法 (mm)	高さ (mm)	耐震性能	所定荷重	表面仕上げ材	備考		・畳敷式 ・支柱調整式	・500×500	・1.0G ・0.6G	・3.000 ・5.000	・帯電防止床タイル ・タイル				・畳敷式 ・支柱調整式	・500×500	・1.0G ・0.6G	・3.000 ・5.000	・帯電防止床タイル ・タイル			構造形式	構成基材の種類	パネル表面仕上げ	遮音性 (dB/500Hz)	防火性能	・スライド式 (内蔵)	・メラミン樹脂積層付又は	・メラミン樹脂積層付又は	・0	・不燃	・スライド式 (露出)	・メラミン樹脂積層付又は	・メラミン樹脂積層付又は	・12	・不燃	・パネル式	・壁紙張り	・壁紙張り	・20	・不燃	・スタッパパネル式			・28	・不燃				・36	・不燃	構造形式	操作方式	圧接装置の操作方式	パネル表面材	遮音性 (dB/500Hz)	・平行方向移動式	・手動式	・手動式	・鋼板	・36未満	・二方向移動式	・電動式	・ハンドル式	・鋼板	・36以上		・電動式	・ハンドル式	・鋼板	・36以上	表面材の種類	脚部種類	ドアエッジの材質	ドアエッジの形状	・メラミン樹脂系化粧板	※幅木タイプ	・アルミニウム製	・標準	・ポリエステル樹脂系化粧板		・ステンレス製	・Rタイプ			・表面材と同材		材種	表面仕上げ	直径 (mm)	取付箇所	備考	・集成材 (材種:)	・リブ加工	・30程度・35程度・45程度			・ビニル製ハードレール		・30程度・35程度・45程度			・樹脂製握り		・34φ		
施工箇所	構造	寸法 (mm)	高さ (mm)	耐震性能	所定荷重	表面仕上げ材	備考																																																																																																											
	・畳敷式 ・支柱調整式	・500×500	・1.0G ・0.6G	・3.000 ・5.000	・帯電防止床タイル ・タイル																																																																																																													
	・畳敷式 ・支柱調整式	・500×500	・1.0G ・0.6G	・3.000 ・5.000	・帯電防止床タイル ・タイル																																																																																																													
構造形式	構成基材の種類	パネル表面仕上げ	遮音性 (dB/500Hz)	防火性能																																																																																																														
・スライド式 (内蔵)	・メラミン樹脂積層付又は	・メラミン樹脂積層付又は	・0	・不燃																																																																																																														
・スライド式 (露出)	・メラミン樹脂積層付又は	・メラミン樹脂積層付又は	・12	・不燃																																																																																																														
・パネル式	・壁紙張り	・壁紙張り	・20	・不燃																																																																																																														
・スタッパパネル式			・28	・不燃																																																																																																														
			・36	・不燃																																																																																																														
構造形式	操作方式	圧接装置の操作方式	パネル表面材	遮音性 (dB/500Hz)																																																																																																														
・平行方向移動式	・手動式	・手動式	・鋼板	・36未満																																																																																																														
・二方向移動式	・電動式	・ハンドル式	・鋼板	・36以上																																																																																																														
	・電動式	・ハンドル式	・鋼板	・36以上																																																																																																														
表面材の種類	脚部種類	ドアエッジの材質	ドアエッジの形状																																																																																																															
・メラミン樹脂系化粧板	※幅木タイプ	・アルミニウム製	・標準																																																																																																															
・ポリエステル樹脂系化粧板		・ステンレス製	・Rタイプ																																																																																																															
		・表面材と同材																																																																																																																
材種	表面仕上げ	直径 (mm)	取付箇所	備考																																																																																																														
・集成材 (材種:)	・リブ加工	・30程度・35程度・45程度																																																																																																																
・ビニル製ハードレール		・30程度・35程度・45程度																																																																																																																
・樹脂製握り		・34φ																																																																																																																

須賀中学校

35 階段滑り止め
36 黒板及びホワイトボード
37 表示
38 タラップ
39 ブラインド
40 ロールスクリーン
41 カーテン
42 カーテンレール
43 ブラインドボックス及びカーテンボックス
44 天井点検口
45 床点検口
46 くつふきマット
47 流し台ユニット
48 鋼製架及び物品棚

49 屋内掲示板
50 洗面カウンター
51 防煙垂れ壁
52 収納家具
7 塗装改修工事
7-1 材料
7-2 下地調整
7-3 素地ごしらえ
7-4 錆止め塗料塗り
7-5 塗装
7-6 遮断材

8 断熱・防露改修工事
8 耐震改修工事
9 環境改修工事
9-1 石綿粉じん濃度測定
9-1-1 測定時期、場所及び測定点
9-1-2 測定方法
9-1-3 石綿含有付付材の除去(レベル1)
9-1-4 石綿含有保温材等の除去(レベル2)
9-1-5 石綿含有成形板の除去(レベル3)
9-1-6 石綿含有建築用仕上塗材等の除去(レベル3)
9-1-7 PCB含有シーリング材処分
9-1-8 7 外断熱改修工事

9 屋上緑化改修工事
10 透水性アスファルト舗装改修工事
11 舗装版切断時に発生する濁水の処理
12 濁水の処理
13 共通事項
14 提出書類等

須賀中学校

10 鉄筋工事	1 鉄筋	鉄筋の種類 (5.2.1) 種類 種類 呼び径 (mm) 備考 SD295 ※ D16以下 SD345 ※ D19以上	11 コンクリート工事	1 コンクリートの種類等 (6.2.1) 種類 ※I類 (JIS A 5308 への適合を認証されたコンクリート) ※II類 (JIS A 5308 に適合したコンクリート) 普通コンクリート (6.2.1~6.2.4) 設計基準強度 (N/mm ²) 乾燥単位容積 (t/m ³) スランブ 適用箇所 構造体強度補正値 (S) 補正値 S=3 (月日~月日、月日~月日) S=6 (月日~月日、月日~月日)	11 寒中コンクリート (6.11.1, 2) 適用期間 (月日~月日) 構造体強度補正値 (S) を積算温度を基に定める場合 - 図示による ()、S=() 12 暑中コンクリート (6.12.2) 適用期間 (月日~月日) 構造体強度補正値 (S) ※GN/mm ² - 図示による ()、S=() 13 マスコンクリート (6.13.1, 2) 適用箇所 - 図示による () セメントの種類 - 普通ポルトランドセメント - 中熱ポルトランドセメント - 低熱ポルトランドセメント - 高炉セメントB種 - ファイアッシュセメントB種 - シリカセメント 混和材料の適用 - あり (標準仕様書6.13.2(7)による) 標準仕様書6.13.2(9)による スランブ ※15cm 構造体強度補正値 (S) ※標準仕様書6.13.1による 14 無筋コンクリート (6.14.1) コンクリートの種類 ※普通コンクリート セメントの種類 ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又は ファイアッシュセメントA種 - 高炉セメントB種 - ファイアッシュセメントB種 設計基準強度 ※18 (N/mm ²) スランブ ※15cm又は18cm 適用箇所 ※標準仕様書6.14.1(4)による箇所 - 図示による () 15 コンクリートの単位水量測定 実施要領 (1)単位水量の測定は、150m ³ に1回以上及び荷下し時に品質の異常が認められた時に実施する。 (2)単位水量の上限値は、標準仕様書6.3.2(4)(c)による。 (3)単位水量の管理目標値は次の通りとして、施工する。 1)測定した単位水量が、計画割合の設計値(以下「設計値」という。)±15kg/m ³ の範囲にある場合はそのまま施工する。 2)測定した単位水量が、設計値±15を超え±20kg/m ³ の範囲にある場合は、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示し、その運搬車の生コンは打設する。その後、設計値±15kg/m ³ 以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 3)設計値±20kg/m ³ を超える場合は、生コンを打設せずに持ち帰らせ、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示しなければならない。その後の全運搬車の測定を行い設計値±20kg/m ³ 以内であることを確認する。更に、設計値±15kg以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 (4)単位水量管理についての記録を計画割合(計画割合書、製造管理記録、打込み時の外気温、コンクリート温度等)と写真により提出する。 (5)単位水量の測定方法は、高周波誘電率測定法(電子レンジ法)、T/M法又は静電容量測定法による。また、試験機関は該当コンクリート製造所以外の機関とする。
	2 溶接金網	形状等 (5.2.2) 種類 種類 網目の形状、寸法、鉄線の径 (mm) 使用部位 溶接金網 鉄筋金網		2 セメント (6.3.1) 種類 ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又は ファイアッシュセメントA種 適用箇所 (※下記以外全て) 普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210 に示された規定の他、水和熱が7日目で 352 J/g以下、かつ28日目で 402 J/g以下のものとする。 高炉セメントB種 () 適用箇所 (IFより下部 (立上り部含む)) ファイアッシュセメントB種 () 適用箇所 ()	
	3 鉄筋の継手	鉄筋の継手方法等 (5.3.4) 部位 継手方法 呼び径 (mm) 柱、梁の主筋 ガス圧接 機械式継手 ※ D19以上 耐力壁の鉄筋 重ね継手 基礎、前圧スラブ、土圧壁 重ね継手 ガス圧接 その他の鉄筋 () 重ね継手 継手位置 - 図示による (構造関係共通図(配筋標準図)5.1、6.1、7.1、7.3、8.1) 基礎梁主筋の継手位置 - 図5.2 - 図5.3 - 図5.4 - 図示による () 柱及び梁の重ね継手の長さ - 図示による () 耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さ ※図示による (構造関係共通図(配筋標準図)3(1)(9)) - 図示による () 柱及び梁の主筋で隣り合う継手を同一箇所における部分の位置及び施工方法等 - 図示による ()		3 骨材 (6.3.1) アルカリシリカ反応性による区分 ※A・B (コンクリート中のアルカリ総量が 3.0 kg/m ³ 以下)	
	4 鉄筋の定着	鉄筋の定着長さ (5.3.4) 図示による () 機械式定着工法 適用箇所 図示による () 種類 - 摩擦圧接 - 螺合グラウト固定 - 嵌合グラウト固定 工法 ※第三者機関の評定等を取っている工法とする 必要定着長さ ※評定等の評価内容による 補強筋形状 ※評定等の評価内容による かぶり厚さ ※評定等の評価内容による 品質確認 ※評定等の評価内容による 検査 ※評定等の評価内容による		4 混和材料 (6.3.1) 混和剤 混和剤の種類 ※標準仕様書6.3.1(4)(a)による 混和材の種類 ※標準仕様書6.3.1(4)(b)による	
	5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔(溶接金網含む)	鉄筋の余長の長さ (5.3.5) 構造関係共通図 (配筋標準図)による。これによらない箇所は図示による。 最小かぶり厚さ (目地底から算出を行う) ※図示による (構造関係共通図(配筋標準図)4(1)表4.1) - 図示による () 柱及び梁の主筋にD29以上の使用 あり 適用箇所 () 主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保する 耐久性上不利な部分(塩害等を受けるおそれのある部分等) あり 適用箇所 () 最小かぶり厚さは加える厚さ ()mm		5 打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継ぎ目地 (6.6.4) 打継ぎの位置 梁及びスラブ ※スラブの中央又は端から1/4の付近 図示による () 柱及び壁 ※スラブ、壁梁又は基礎の上端 図示による () 目地の寸法 標準仕様書 9.7.3(1)(7)による ※ひび割れ誘発目地、打継ぎ目地の深さ寸法は、躯体外側の打増し部で処理する 図示による ()	
	6 各部配筋	※図示による () (5.3.7)		6 湿度養生 (6.7.2) 湿度養生の期間 セメントの種類が普通エコセメントの場合 ()日	
	7 ガス圧接	圧接完了後の圧接部の試験 (5.4.10) 外観試験 ※行う (全ての圧接部) 抜取試験 ※超音波探傷試験 (試験方法 標準仕様書5.4.10(4)(a)による) 引張試験 試験方法 ※標準仕様書5.4.10(4)(b)による		7 コンクリートの仕上り (6.2.5)(6.8.2) 合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ 種類 適用箇所 A種 ※図示による () B種 ※図示による () C種 ※図示による () コンクリートの仕上りの平たんさ 種類 適用箇所 a種 ※図示による () b種 ※図示による () c種 ※図示による ()	
	8 機械式継手	適用箇所 (5.5.3, 5) H12告示第1463号に適合する性能 A級 種類 ねじ式鉄筋継手 充填方式 - 無機グラウト方式 - 有機グラウト方式 - 端部ねじ加工継手 - テルタル充填式継手 工法 ※第三者機関の評定等を取っている工法 鉄筋相互のあき ※評定等の評価内容による 品質の確認 ※評定等の評価内容による 検査 ※評定等の評価内容による 施工完了後の継手部の試験 - 外観試験 ※全数 試験対象 試験項目 - 評定等の評価内容による 試験方法 - 評定等の評価内容による - 超音波測定試験 試験対象 - 抜取り - ロット - 1組の作業班が1日に行った継手箇所、最大200箇所程度とする 試験の箇所数 - 1ロットに対して ()箇所 - 全数 試験項目 ※挿入長さ 試験方法 ※JIS Z 3064 (鉄筋コンクリート用機械式継手の鉄筋挿入長さの超音波測定方法及び判定基準)による 不合格となった場合の措置		8 打増し厚さ(打放し仕上げ部) (6.8.1) 打増し厚さ 打放し仕上げの打増し厚さ(外部に面する部分に限る) 20mm 打放し仕上げの打増し厚さ(内部に面する部分に限る) 10mm 20mm 外装タイル後張り面の打増し処理 20mm 打増し範囲 図示による ()	
	9 溶接継手	適用箇所 (5.5.3, 5) H12告示第1463号に適合する性能 A級 溶接継手の工法 図示による () 鉄筋相互のあき 標準仕様書5.3.5(4)による - 評定等の評価内容による 図示による ()		9 型枠 (6.8.2) せき板の材料及び厚さ - 合板 (※12mm) () コンクリート打設時の充填性の確認のため、型枠の一部に透明型枠を使用する場合は、強度、変形等について、事前に監督員と協議する。 - 断熱材を使用した型枠の使用 適用箇所 - 図示による () - MCR工法用シートの使用 適用箇所 - 図示による () 打増し厚さ 20mm 打増し範囲 図示による () スリーブの材質・規格等 図示による () 6.8.4 6.10.1, 2 適用箇所 図示による () 種類 1種 2種 乾燥単位容積質量 標準仕様書 表6.10.1による スランブ ※21cm	

須賀中学校

8 耐震改修工事

(一般事項)
1 適用範囲
・改修標準仕様書 第8章 耐震改修工事
・改修標準仕様書における第8章耐震改修工事以外の改修工事で第8章を引用している部分

2 既存部分の処理等
既存構造体の撤去
撤去範囲
・図示による()
・はつり出した鉄筋及び鉄骨の位置
・図示による()

3 撤去工事の施工内容
※耐震壁等の増設に伴い、これらの増設部材が設置される構内既存仕上げ・躯体の撤去と土間等の一部を撤去する。
※増設部材と接する既存コンクリート面は十分に目荒らしを行う。
※塗り仕上げ又はこれに準ずる仕上げ材、及び躯体を撤去する場合は、カッターで切込みを付けてから撤去する。なお、躯体を撤去する場合は、両面からカッター切込みを付けてから撤去する。
※撤去に際しては、廃棄物の処理に関する法律に準拠する。

4 撤去工事における注意事項
※コンクリート及び塗り仕上げを部分的に撤去する場合は、既存部分の仕上げに損傷を与えないよう充分注意する。特に塗り仕上げ、増設部材設置構内内の壁コンクリート及び土間コンクリート等の撤去に際しては、カッター等で切込みを付け、既存部分の保護を図る。
※増設する部材に接する既存コンクリートは、十分に目荒らしを行い増設部材との一体化を図る。なお、目荒らしは、深さ6mm程度の凹凸で全体を荒らすように行うこと。
※コンクリート打設前に検査、はつりがらを清掃し、数日から十分に水ぬめを行う。
※既存の躯体状態の確認及び補修
石膏ボードについては、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等に従い、原形のまま運搬し管理型最終処分場処分すること。
石綿スレート、フレキシブルボード等石綿製品の撤去にあたっては、関係法令に従い、部材が破損しないよう手はずで行い、原形のまま運搬処分すること。
以下の天井材の撤去にあたっては、ボードが破損しないよう、手はずで行うこと。
床：ビニル系タイルの撤去にあたっては、関係法令に従い部材が破損しないよう温湿後、手はずで行い、原形のまま最終処分しを運搬処分すること。

(鉄筋)
1 鉄筋
種類
[8.2.1]

Table with 3 columns: 種類, 呼び径(mm), 備考. Rows include SD295, SD345, SD490.

2 溶接金網
形状等
[8.2.2]

3 継手及び定着
継手方法等
[8.3.4][8.4.2-3]

4 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔
(溶接金網含む)
[8.3.5]

5 ガス圧完了後の試験
外観試験は全ての圧接部で行う。
圧接部の確認試験 ※超音波探傷試験

6 圧接完了後の圧接部の試験
外観試験 ※行う(全ての圧接部)
超音波探傷試験 ※行う(全ての圧接部)

7 割製補筋
形状
・スパイラル筋
・SR235またはSMM-P
・呼び径、曲げ直径、ピッチ
[8.21-6][8.22.7]

(コンクリート)
1 コンクリートの種類等
[8.1.3, 4][8.2.5]

Table with 4 columns: 種類, 設計基準強度(N/mm²), 乾気単位容積質量(t/m³), 適用箇所. Rows include Ⅰ類, Ⅱ類, Ⅲ類.

2 セメント
種類
※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種
適用箇所(※下記以外全て)
・普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210に示された規定の他、水和熱が7日目で352 J/g以下、かつ28日目で402 J/g以下のものとする
・高炉セメントB種
・適用箇所(ⅠFより下部(立ち上がり部含む))
・フライアッシュセメントB種
適用箇所()

3 骨材
アルカリシリカ反応性による区分
※A・B(コンクリート中のアルカリ総量Rt=3.0kg/m³以下)
[8.2.5]

4 混和材料
・混和剤 種類 ※(8.2.5)(4)(a)による
・混和材 種類 ※(8.2.5)(4)(b)による
[8.2.5]

5 構造用モルタル
圧縮強度()、フロー値()
[8.2.6]

6 ひび割れ誘発目地、打継目地
(6.6.4)(6.8.1)(9.7.3)
・標準仕様書9.7.3(1)(7)~(9)による
・※ひび割れ誘発目地、打継目地の深さ寸法は、躯体外側の打継目部で処理する
・図示による()
(6.8.1)(11.1.3)
ひび割れ誘発目地の位置
・図示による()

7 構造体コンクリートの仕上り
合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ
[8.1.4][8.2.7]

Table with 2 columns: 種類, 適用箇所. Rows include A種, B種, C種.

8 打増し厚さ(打放し仕上げ部)
打増し厚さ
・打放し仕上げの打増し厚さ(外部に面する部分に限る)
・20mm
・打放し仕上げの打増し厚さ(内部に面する部分に限る)
・20mm
打増し範囲
・図示による()
()

9 型枠
せき板の材料及び厚さ
(6.8.2)(8.2.7)
・合板(※12mm)
・コンクリート打設時の充満性の確認のため、型枠の一部に透明型枠等を使用
する場合は、強度、変形等について、事前に監督員と協議する。
・断熱材を用いた型枠の使用
適用箇所 図示による()
・MGR工法用シートの使用
適用箇所 図示による()
打増し厚さ
・20mm
打増し範囲
・図示による()
スリーブの材質・規格等
・図示による()

10 型枠の加工及び組立
シアコネクタをセパレーターとして使用
適用箇所 図示による()
[8.7.8]

11 無筋コンクリート
コンクリートの種類
[8.11.1]
・普通コンクリート
セメントの種類
※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種
・高炉セメントB種
・フライアッシュセメントB種
適用箇所
※標準仕様書6.14.1(4)による箇所 図示による()
(6.14.1)
設計基準強度 ※18(N/mm²)
スランプ ※15cm又は18cm
[8.11.1]

12 コンクリートの打込み方法等
コンクリートの打設工法の種類
[8.21.8][8.23.5]

Table with 3 columns: 補修工事, 下法の種類, 適用箇所. Rows include 現場打ちコンクリート壁の増設工事, 柱補強工事, 溶接金網巻き及び溶接鋼スリーブ巻き工事.

<鉄骨>
1 鉄骨製作工場
鉄骨製作工場の加工能力
※建築基準法77条の56に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認定を受けた(株)日本鉄骨評価センター及び(株)全国鉄骨評価機構(旧(社)全国鉄骨工業協会)の「鉄骨製作工場の性能評価基準」により評価を受け、国土交通大臣から認定を受けた工場、又は同等以上の能力のある工場
評価の区分 ※()グレード 指定しない
・監督員の承認する工場(標準仕様書7.1.1以外の適用範囲に限る)
[8.1.5]

2 鉄骨製作工場における施工管理技術者
配置する
[8.1.6]

3 鋼材
種類等
[8.2.8]

Table with 3 columns: 種類の記号, 適用箇所(主要な部分), 規格. Rows include 溶融亜鉛めっき鋼材.

4 高力ボルト
ボルトの種類
・トルシア形高力ボルト
・JIS高力ボルト
・溶融亜鉛めっき高力ボルト
[8.2.9]

ボルトのねじの呼び
・図示による()
[8.13.2]
ボルトの線端距離、ボルト間隔、ゲージ等
・図示による(構造関係共通図(鉄骨標準図)1-1 線端距離及びボルト間隔)

摩滅面の処理方法等
溶融亜鉛めっき以外
※[8.14.2](1)による
溶融亜鉛めっき面
・プラスト処理(表面粗度50µm Rz以上)
・プラスト処理以外の特別な処理方法
・図示による()
[8.14.2][8.20.5]

5 普通ボルト
ボルト及びナットの種類
(7.2.3)
・標準仕様書 表7.2.3(JIS附属書品目)又は次による
・ボルトの規格は JIS B 1180 とする。
(ボルトの種類は、呼び径六角ボルト又は全ねじ六角ボルトとし、材料は鋼とする。ボルトの強度区分は、4.6又は4.8とする。なお、呼び径六角ボルトの軸径の最大寸法は、ボルトの径の値以下とする。ナットの規格は、JIS B 1181 とする。ナットの種類は、六角ナットとし、材料は鋼とする。)

ボルトのねじの呼び
・図示による()
座金
※ JIS B 1256 による
戻り止め
※二重ナット
ボルトの線端距離、ボルト間隔、ゲージ等
・図示による(構造関係共通図(鉄骨標準図)1-1 線端距離及びボルト間隔)
[8.13.2]

6 アンカーボルト
・構造用アンカーボルト (JIS B 1220)
種類
・ABR400
・ABR490
・建方用アンカーボルト (JIS G 3101)
種類
・SS400
・JIS G 3101)
アンカーボルト及びナットのねじの公差クラス及び仕上げの程度
※標準仕様書7.2.3による
[7.2.4)(7.10.3)

ボルトの線端距離、ボルト間隔、ゲージ等
・図示による(構造関係共通図(鉄骨標準図)1-1 線端距離及びボルト間隔)
[8.13.2]

7 溶接材料
[8.2.10](1)、(2)による
[8.2.10](1)、(2)以外の溶接材料
材料及び使用箇所 図示による()
[8.2.10]

8 ターンバックル
種類
建築用ターンバックル
※昇降ボルト
建築用ターンバックル脚
※脚付式
ねじの呼び
・図示による()
(7.2.6)

9 スタッド
頭付きスタッド (JIS B 1198)の種類等
[8.2.11][8.16.6]

Table with 3 columns: 呼び名, 呼び長さ(mm), 適用箇所. Rows include 16, 19, 22.

スタッド溶接完了後、外観試験及び打撃試験を行う。
[8.13.3]
鉄骨の製作精度は、JASS 6 付則6 鉄骨検査検査基準に加えて、次による。
・通しダイヤグラムの突合せ線手の食い違いの寸法
※H12建第1464号第二号(1)(2)による
アンダーカットの寸法
※H12建第1464号第一号(3)による
食い違い、仕口のずれの検査方法及び補強方法
・「突合せ線手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」による

11 溶接作業者の技量付加試験
試験の要領
・図示による()
[8.15.3]

12 溶接接合
開先の形状
・図示による(構造関係共通図(鉄骨標準図)1-2 溶接接合の種類別開先標準)
[8.15.4]

鋼製エンドタブの切断部分
切断する場所
・図示による()
[8.15.7]
切断範囲
・鋼製エンドタブ、裏当て金等は、梁フランジ等の端から5mm以下残して直線上に切断する。なお、切断線が交差する場合は、交差部をアール状に加工する。
切断面の仕上げ
[8.15.7](1)(a)(b)による
スカップの形状
・図示による(構造関係共通図(鉄骨標準図)1-4(4)改良型スカップ)

13 入熱、バス間温度の管理
適用箇所
・図示による()
[8.15.12]

14 溶接部の試験
H12建第1464号第二号に関する外観試験方法等
・「突合せ線手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」3.5.2 受入検査による
・抜き取り検査①
・抜き取り検査②
[8.15.12]

JASS 6 付則6(鉄骨検査検査基準)の付表3「溶接」に関する確認方法等
・JASS 6 10.4「受入検査」e.溶接部の外観検査(1)から(5)までによる。ただし、完全溶込み溶接部の外観検査の抜き取り箇所は、超音波探傷試験の試験箇所と同一とする。外観試験の不合格箇所は、すべて標準仕様書7.6.13による補修を行い、再試験する。
完全溶込み溶接部の超音波探傷試験
・工場溶接の場合
※全数
・工事現場溶接の場合
※全数

15 錆止め塗装
塗装の範囲
耐火被覆材の接着する面
・図示による()
耐火被覆材の接着する面以外
※[8.17.2](1)(7)~(9)以外の範囲 図示による()
[8.17.2]
塗料の種類
・鉄鋼面の錆止め塗料
・[表7.4.1] A種
・[表7.4.1] ()種
・[表7.4.2] ()種
・鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブの内面(鉄骨に溶接されたものに限る)
・[表7.4.1] A種
・耐火被覆材の接着する面へ塗装する場合の錆止め塗料
・[表7.4.1] ()種
・[表7.4.2] ()種

16 耐火被覆
種類、材料、工法等
[8.18.2-8]

Table with 4 columns: 種類, 材料・工法, 性能(耐火時間), 適用箇所(部位・配分). Rows include 耐火材吹付け, 耐火板張り, 耐火材巻付け.

17 建方精度
※JASS6 付則6(鉄骨検査検査基準)付表5「工事現場」による
(7.10.2)

18 アンカーボルト等の設置
構造用アンカーボルトの形状及び寸法
[7.10.3]
・図示による()
構造用アンカーフレームの形状及び寸法
・図示による()
建方(及び付属鉄骨)用アンカーボルトの保持及び埋込み工法(表7.10.1)
種類
・A種
・B種
柱底均しモルタルの厚さ及び工法の種類(表7.10.2)
厚さ
種類
・A種
・B種

19 溶融亜鉛めっき(基礎、主要構造部及びその他の構造耐力上主要な部分に限る)
種類等
[8.20.4][表8.20.1]

Table with 3 columns: 亜鉛めっきの種類, 材料, 適用部位. Rows include A種, B種, C種.

外観検査
※行う
・行わない

(あと施工アンカー)
1 あと施工アンカー
仕様等
[8.2.4]

・金属系アンカー(耐震補強用)
引張耐力
※図示による()
せん断耐力
※図示による()
アンカー本体の径及び埋込み長さ
・図示による()
セット方式
※本体打込み式改良型
接合筋の種類、径、長さ
・図示による()
接合系アンカー
引張耐力
※図示による()
せん断耐力
※図示による()
アンカーの種類
※カプセル方式回転・打撃式
・カプセル方式打込み型

接着剤の品質
※有機系
・無機系
アンカー筋の径及び埋込み深さ
・図示による(「耐震改修共通事項」アンカー関係共通事項)
アンカー筋の種類
・表8.2.1の異形鋼線
・全ねじボルト
アンカー筋の新設壁内への定着長さ
・図示による(「耐震改修共通事項」アンカー関係共通事項)

性能確認試験
試験方法及び試験数
・図示による()
[8.12.4, 7]

2 あと施工アンカー工事
穿孔機械(金属検知により電源供給が停止する付属装置等を使用する)
※ハンマードリル
・コアドリル
穿孔前の埋込み配管の検査方法
・JASS 11 10.4c-埋込み配管の非破壊検査を行う
・鉄筋探知器(金属探知器)により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨を出しを行う
探査方式
・電磁波レーダ法(30表示対応型)
・電磁波レーダ法又は電磁波誘導法
鉄筋探知器の性能
・CP管及び非金属類の探査が可能である機器とする
・はつり出しによる

施工確認試験
試験方法
※引張試験機による引張試験
確認強度
・図示による()

(グラウト工事)
1 柱底均しモルタル及びグラウト材
[8.2.12]

・柱底均しモルタル
※無収縮モルタル
無収縮モルタルの材料及び割合
※[8.2.12](1)(7)から(1)による
・グラウト材
無収縮グラウト材の材質等
種類
・プレミックス形又は現場調合形とする
セメント
JIS R 5210(ポルトランドセメント)に適合した普通または早強ポルトランドセメントとする。
砂
製造物の仕様による。
セメント系膨張剤(酸化カルシウム及びカルシウム・サルファ・アルミネート)
配合比(質量比)
(セメント+混和材) : (砂)
製造物の仕様による。

無収縮グラウト材の品質及び試験方法
コンシステンシー
Jロートによる落下時間
・8±2秒
ブリージング率
標準値完了から3分以内の値
・2.0%以下
凝結開始時間
・1時間以上
凝結時間
・10時間以内
膨張収縮
(無収縮性)
材料齢
7日
収縮しない
圧縮強度
材料齢
3日
20.0 N/mm² 以上
材料齢
28日
40.0 N/mm² 以上
付着強度
材料齢
28日
2.5 N/mm² 以上
塩化物量
0.30kg/kg 以下

試験方法
1) NEXO試験方法
試験法 312-1999「無収縮モルタル品質管理試験方法」による。
2) プレミックス形と現場調合形で混和材が同一の場合の試験は、プレミックス形のみとする。
3) 塩化物量の試験は、「JIS A 1144「フレッシュコンクリート中の水の塩化物イオン濃度試験方法」による。

(連続繊維補強工事)
1 連続繊維シート巻き
連続繊維シート
[8.2.13]

材料
・図示による()
工法
※(一財)日本建築防災協会の評価を受けた工法
引張強度(含浸硬化後)
・2500N/mm² 以上
・3000N/mm² 以上
ヤング係数(含浸硬化後)
・2.35×10⁹ N/mm² 程度
・2.00×10⁹ N/mm² 以上

下地調整
ひび割れ部の改修工法の種類
・樹脂注入工法
・リカットシール材充填工法
・シール工法
及び壁の隅角部の面取りの大きさ
※工法の評価内容による
連続繊維補強材の強度試験
引張強度試験
※JIS A 1191(コンクリート補強用連続繊維シートの引張試験方法)による
試験数量
・図示による()
付着強度試験
※JIS A 6909(建築用仕上塗材)による
試験数量
・図示による()
補強後の仕上げ
・図示による()
[8.24.6]

(耐震スリット新設工事)
1 施工前埋込み配管等の探査
既存撤去部の埋込み配管等の探査方法
・鉄筋探知器(金属探知器)により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨を出しを行う
探査方式
・電磁波レーダ法(30表示対応型)
・電磁波レーダ法又は電磁波誘導法
・はつり出しによる
[8.12.4]

2 耐震スリット
幅及び深さ
・図示による()
設置箇所
・図示による()
[8.25.2]

3 充填材の挿入及び周囲補修等
・耐火材
使用箇所及び仕様
・図示による()
・塗着材
使用箇所及び仕様
・図示による()
撤去部の補修
※撤去材と同一材で補修
[8.25.2]

須賀中学校

特記事項

- 【アスベスト含有仕上塗材・下地調整材除去工事】
- (1) 令和3年3月 厚生労働省労働基準局安全衛生部化学物質対策課/環境省水・大気環境局大気環境課「建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル」(以下マニュアル)により、下記工法の併用工法とする。
 [一般部] (7) 集塵装置付き超高压水洗工法(100MPa以上)・同時吸引式(ウォータークリーン工法)
 [狭あい部] (f) (湿式) 集塵装置付きディスクグラインダーケレン工法・同時吸引式(ウォータークリーンSG工法)
 (g) (湿式) 集塵装置併用手工具ケレン工法または剥離剤併用手工具ケレン工法
- (2) 石綿除去処理工事に際しては、通常の工事と異なる側面があるため、工事の特殊性を十分確認した上で、専門業者で行うこと。ここでいう専門業者とは、建設技術審査証明(財)日本建築センター)により確立された、「石綿含有建築用仕上塗材からの石綿粉じん飛散防止処理技術」を取得している業者のことを指す。

(3) 本施工は以下の項目を遵守して行うこと。

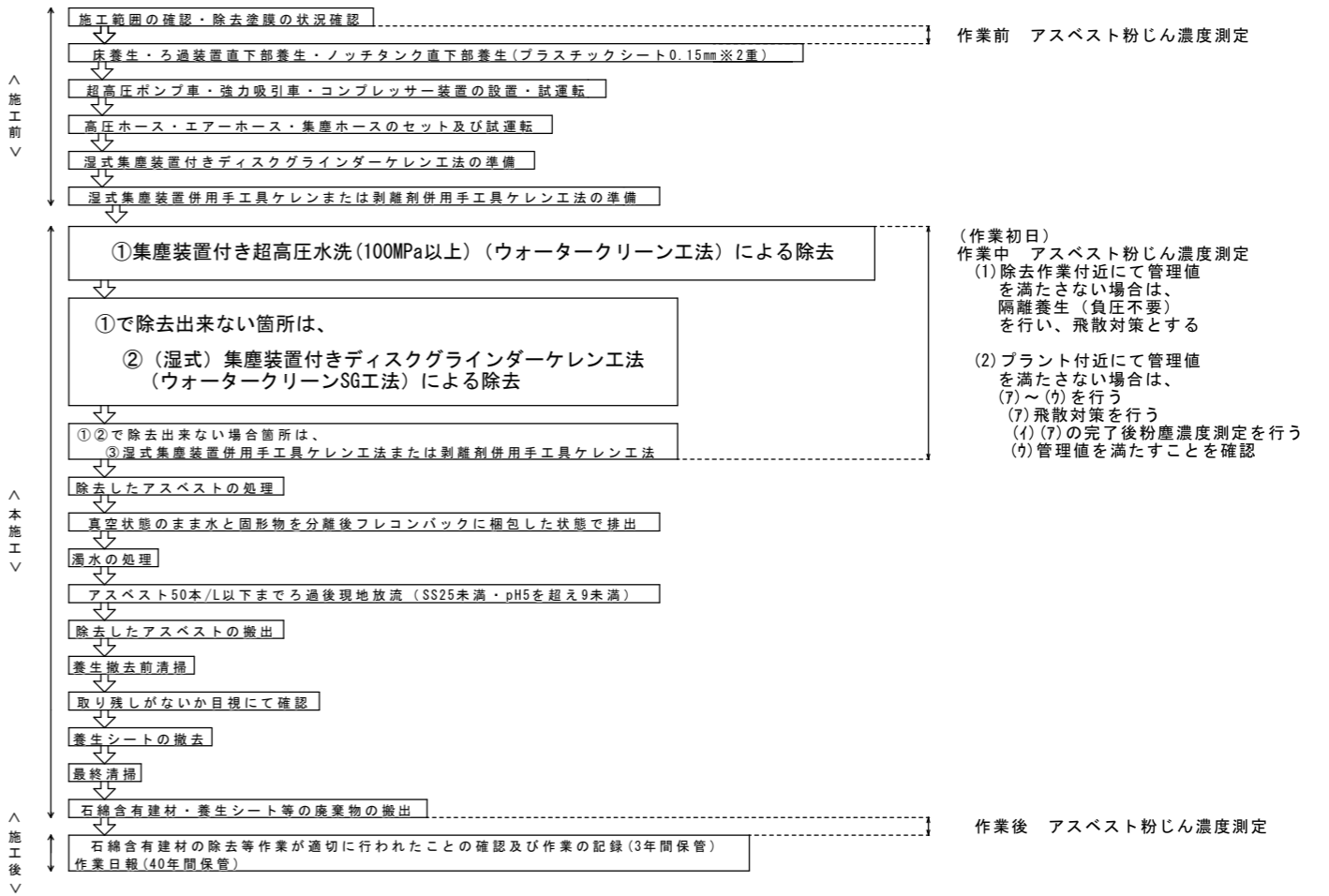
項目	特記仕様	管理方法																			
工事計画	「特定石綿含有建材調査者」の参画を前提とする。																				
吸引機の圧力と風量	吸引圧力/真空圧 -60~-90kPa 風量 30~40m ³ /分	撮影 随機に仕様書提出																			
吸引時の排気濾過	ジェットスクラバ方式及びHEPAフィルター	撮影																			
水処理(濁水処理内容)	上澄み水は最終0.2μmフィルターを透過させ以下の値を遵守する。 ・アスベスト含有量 50本/L以下(検出限界値) ・pH pH5を超え9未満 ・浮遊物質量(SS) 25mg/L未満	第三者機関にて測定 (放流前)pH調整器にて確認・撮影 (放流前)簡易透視度計にて確認・撮影																			
アスベスト粉じん濃度測定	速報値で管理値(10本/L以下)を満たしていることを確認する。 本施工時 <table border="1"> <tr> <th>測定時期</th> <th>測定箇所</th> <th>測定時間</th> </tr> <tr> <td>作業前</td> <td>敷地境界 4方向各1点 計4点</td> <td>240分</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">作業中</td> <td>敷地境界 4方向各1点</td> <td>240分</td> </tr> <tr> <td>プラント設置付近 1点</td> <td>120分</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">作業後</td> <td>除去作業付近 1点 計6点</td> <td>120分</td> </tr> <tr> <td>敷地境界 4方向各1点 計4点</td> <td>240分</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">合計14点</td> </tr> </table>	測定時期	測定箇所	測定時間	作業前	敷地境界 4方向各1点 計4点	240分	作業中	敷地境界 4方向各1点	240分	プラント設置付近 1点	120分	作業後	除去作業付近 1点 計6点	120分	敷地境界 4方向各1点 計4点	240分	合計14点			第三者機関にて測定
測定時期	測定箇所	測定時間																			
作業前	敷地境界 4方向各1点 計4点	240分																			
作業中	敷地境界 4方向各1点	240分																			
	プラント設置付近 1点	120分																			
作業後	除去作業付近 1点 計6点	120分																			
	敷地境界 4方向各1点 計4点	240分																			
合計14点																					
廃材処理	(1) 強力吸引車を使用した同時吸引式工法により撤去した塗膜と廃水を外気に触れることなく密閉状態で安全に集積・分別をする。 (2) 分別した塗膜はフレコンバックに集めたのちプラスチック袋(0.15mm以上)で2重梱包する。	撮影																			
除去したアスベスト等の保管、運搬、処分等	(1) 除去したアスベスト含有材等を撤出するまでの間現場に保管する場合は、石綿含有産業廃棄物として一定の保管場所を定め、他の建設副産物等と分別して保管する。 (2) 一時保管場所はシートで覆うなどの飛散対策を講じ、アスベスト含有材等の保管場所であることを掲示する。 (3) アスベスト含有材等の運搬車及び運搬容器は、アスベスト含有材等が飛散及び流出するおそれのないものとする。 (4) 運搬車の荷台には覆いをかけるなど飛散防止措置を講じる。 (5) 除去したアスベスト含有材の処分はマニュアル基準にて適正に最終処分場の一定の場所で埋め立て処分する。	撮影																			

(4) 特記仕様に記載された以下の項目は施工完了後報告書として提出すること。

項目	特記仕様	報告方法
吸引時の圧力と風量	吸引圧力/真空圧 -60~-90kPa 風量 30~40m ³ /分	写真 随機に仕様書提出
吸引時の排気濾過	ジェットスクラバ方式及びHEPAフィルター	写真
水処理(濁水処理内容)	アスベスト含有量 50本/L以下 pH pH5を超え9未満 浮遊物質量(SS) 25mg/L未満	第三者機関の報告書 写真および第三者機関の報告書
アスベスト粉じん濃度測定	管理値(10本/L)以下	第三者機関の報告書
廃材処理	(1) 飛散防止状況 (2) 二重梱包状況	写真 写真
除去したアスベスト等の保管、運搬、処分等	(1) 一時保管庫での保管状況 (2) 一時保管庫および看板設置状況 (3) 石綿含有産業廃棄物搬出状況 (4) 石綿含有産業廃棄物シート掛け状況 (5) 石綿含有産業廃棄物最終処分場	写真 写真 写真 写真 写真

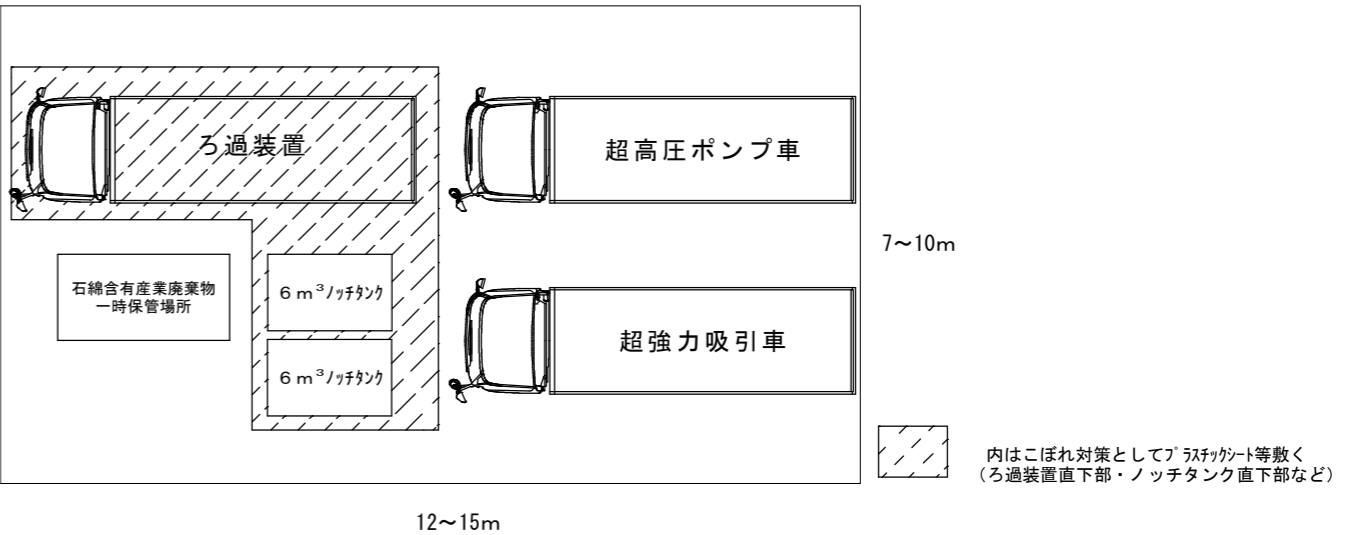
- (5) 石綿含有建材の除去等作業が適切に行われたことの確認及び作業の記録
 石綿の取り残しがないこと等の確認・記録の手順として、マニュアルの4.15(p.225)に従って行う。
 ・4.15.1 作業が適切に行われたことの確認の流れ
 ・4.15.2 作業の記録、確認及び記録の保存
 ・4.15.3 石綿の取り残しがないこと等の確認方法
 ・4.15.5 発注者への報告

【アスベスト含有仕上塗材除去工事フロー図】



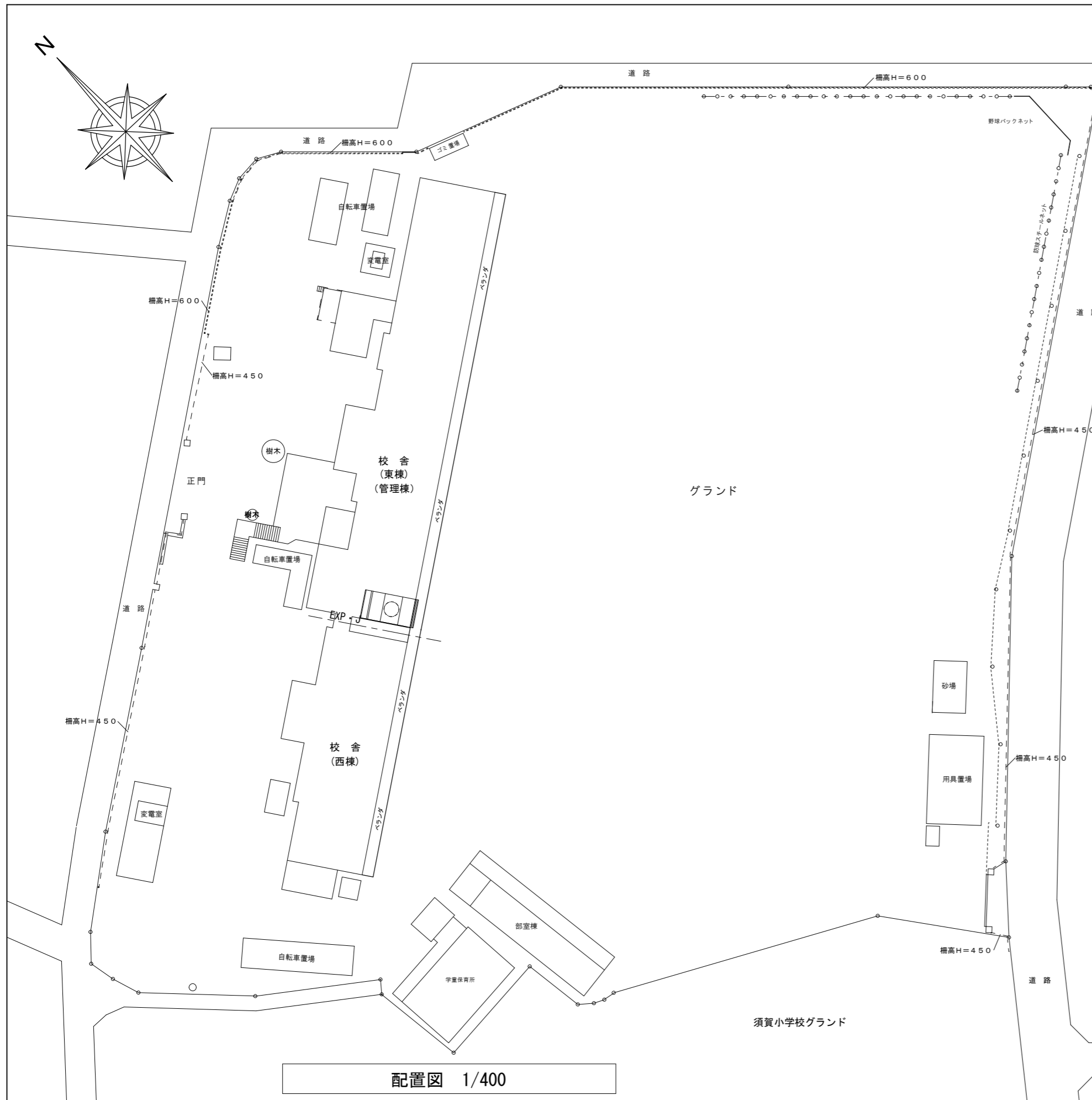
【同時吸引式プラント設置例(平面図)】

- (1) 機材設置場所から除去面の最長距離は100m程度。
 (2) 機材設置位置は縦に1列縦列も可能。

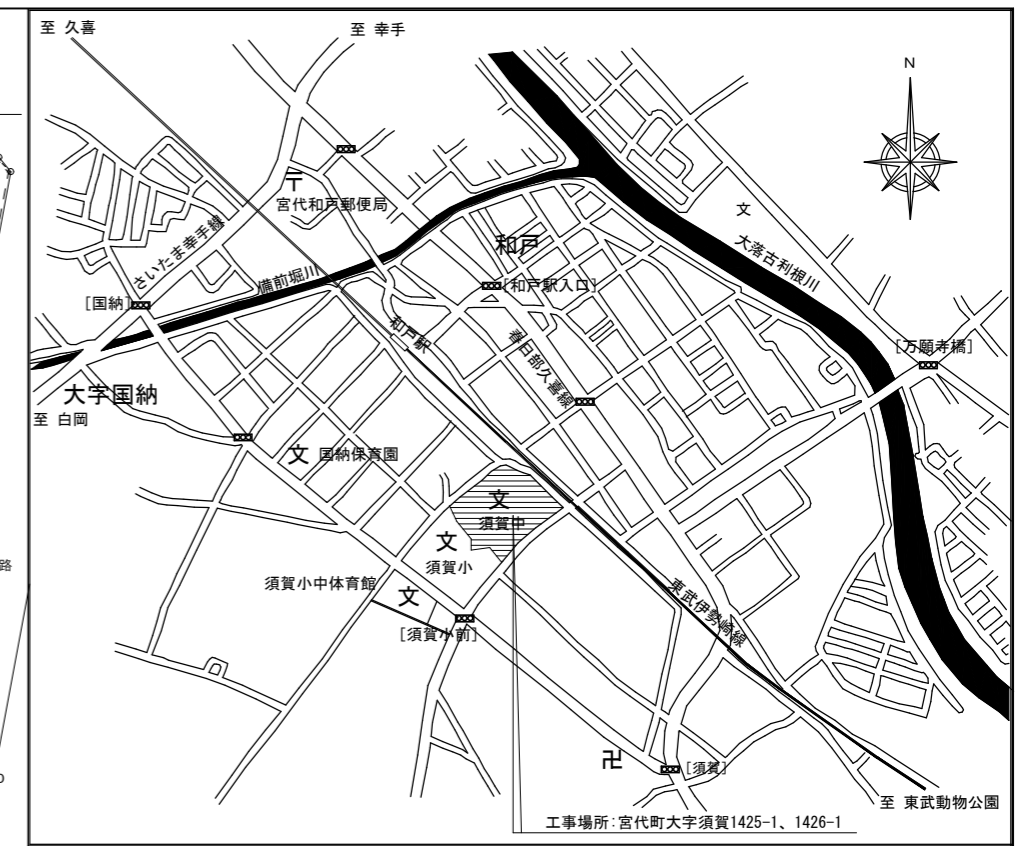


須賀中学校

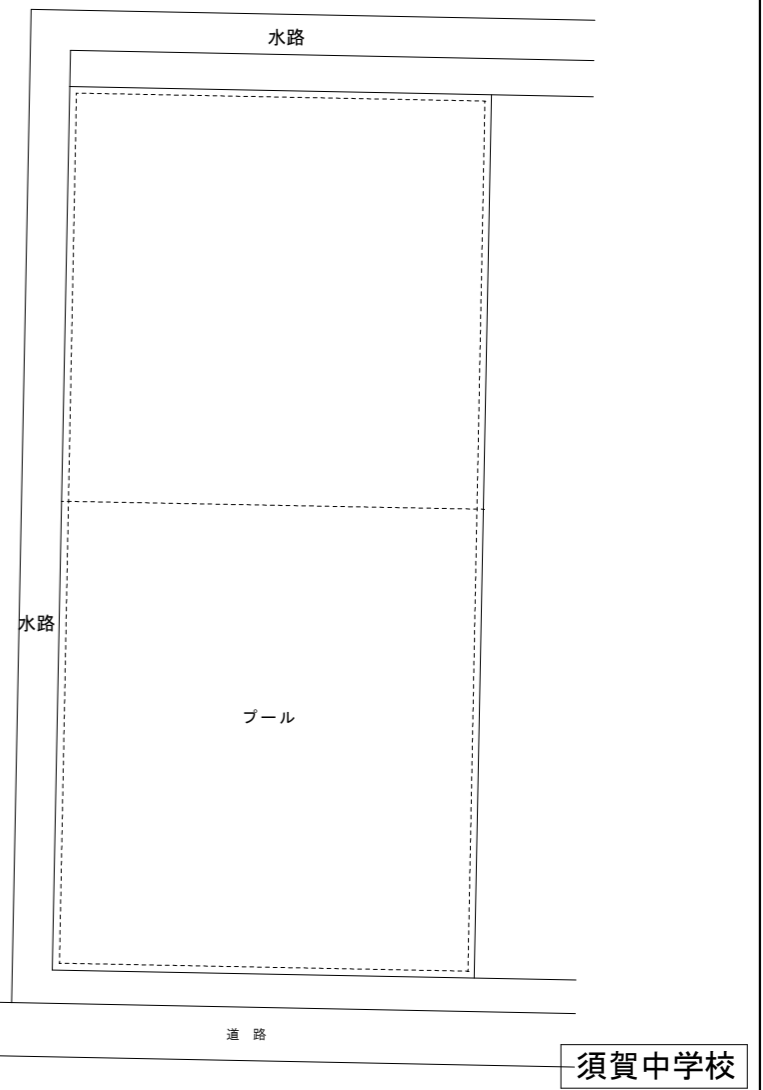
須賀中学校外壁改修工事		特記仕様書(石綿除去処理工事)参考図	
SCALE	-	設計	製図
宮代町教育推進課			SA-09



配置図 1/400

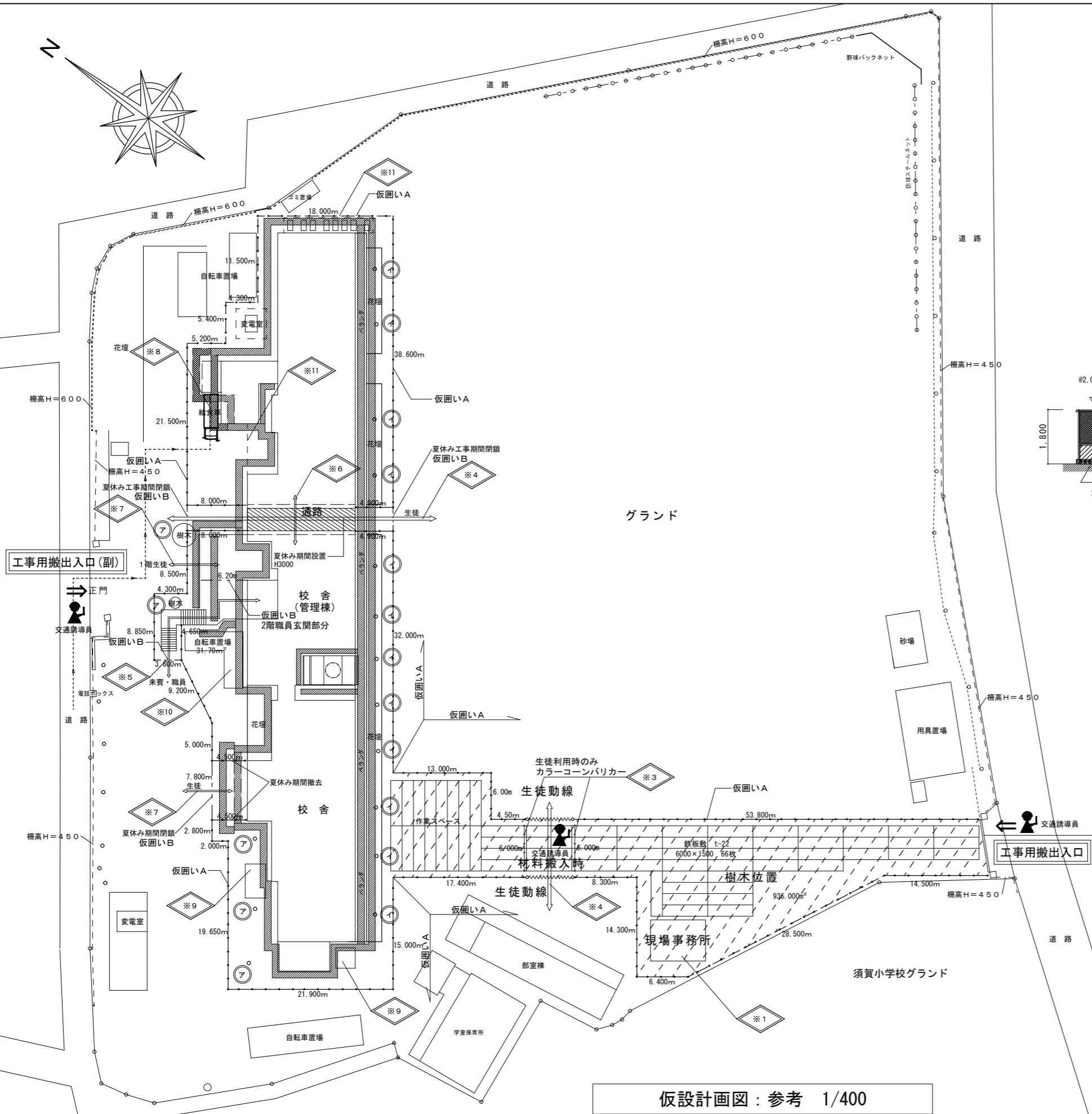
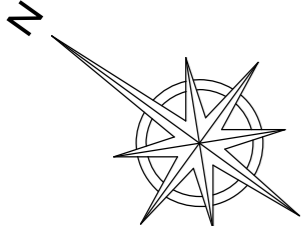


案内図

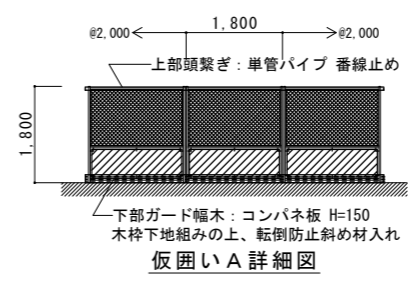


須賀中学校

須賀中学校外壁改修工事				[須賀中学校] 配置図・案内図	
SCALE	1/400	設計	製図	宮代町教育推進課	
				SA-10	



凡例	設計数量	仕様
———	443.45	仮囲いA：ガードフェンス H=1.8m + 下部ガード幅木付け
---	23.60	仮囲いB：A型バリケード
○—○	12.0	カラーコーンバリカー
□	2.0	仮設ゲート：キャストゲート W6.0m x H2.0m
▨	594.0	車路部分仮設鉄板敷き：1,524 x 6,096 x 22mm
▩	952.0	工事完了後、校庭整地
▧	—	外部足場 ※参考位置



- ・外壁改修のための樹木撤去、剪定
注記) 樹木撤去は以下の数量を参考数量とする。
- ア 剪定：6m級中木 x 4 4m中木 x 1
- イ 剪定：3m級中木 x 12

- ※1 仮設事務所位置、規模は参考位置とする。
- ※2 駐車場からの動線には鍵付き扉(プッシュナンバー式)を設置する事
- ※3 工事動線交錯部についてはA型バリケード等を設置し、安全に配慮する事
- ※4 外部動線①：校庭への生徒移動経路を確保する事
- ※5 外部動線②：教職員、来賓の経路を確保する事
- ※6 内部動線：校舎内への動線経路を確保する事
- ※7 工事期間中、指定箇所の既出入口の生徒利用は無いものとする。
- ※8 外来動線：学校給食配膳車両の動線を確保する事
- ※9 指定箇所の既製物置、倉庫(スチール製)、外便所は存置のまま工事施工とする
- ※10 外壁改修影響部：既存自転車置き場屋根 撤去、再設置(既存再使用しない)
参考数量：カラー波型鉄板板 31.75㎡
- ※11 外壁改修影響部：既存外機は存置のまま工事施工とし、7/21は一時撤去再設置とする
参考数量：フェンス一時撤去、再設置 16.0m

特記事項
 ※登下校時間は、原則、工事車両搬出入禁止とし、時間については、学校との打合せによる。
 ※敷地内の車両の走行は、最優先とし細心の注意を要すること。
 ※工事用搬出入口は既存南門を利用とする。交通誘導員を配置させ十分に安全を確保する事。
 また、正門については副利用とし、必要最低限の利用に留める事。
 ※学校運営をしながらの改修工事のため、校舎およびグラウンド等を生徒が使用するので、安全に十分配慮することは勿論、
 不用意に生徒が工事範囲内に侵入しないように十分管理を徹底すること。
 ※周辺部材に損傷を与えた場合は、請負業者の責任において現況復旧すること。
 ※仮囲いの位置は、別途学校との打合せによるものとする。
 ※図中記載無きものについても工事に干渉する植栽の伐採等については、別途学校との打合せによるものとする。
 ※図中記載無きものについても資材搬入時などについては必要に応じ交通誘導員を配置し、事故のないよう十分に安全を確保する事。

仮設計画図：参考 1/400

■ 外部仕上表 【東棟・西棟・配膳室棟】

部 位	既存部仕上表			改修後仕上表		
	改 修 前	備 考	下 地 処 理	改 修 後	備 考	
外 壁	一 般	東棟・配膳室棟:コンクリート打放、旧リシンの上吹付タイル重ね吹き【7A ⁺ 含有仕上】 西棟:コンクリート打放、旧リシンの上吹付タイル重ね吹き	〔撤去〕 ● 〔既存処理〕 既存塗膜全除去	吹付下地材全撤去、高圧水洗浄(3MPa) 劣化補修(自動式低圧エポキシ樹脂注入工法、欠損部ポリマーセメントモルタル充填)	下地調整材: C-2 仕上: 防水形複層塗材 E	〔外壁改修4〕
	軒天・上裏	コンクリート打放、アクリルリシン吹付	〔撤去〕 ● 〔既存処理〕 既存塗膜全除去	吹付下地材全撤去、高圧水洗浄(3MPa) 劣化補修(自動式低圧エポキシ樹脂注入工法、欠損部ポリマーセメントモルタル充填)	下地調整材: C-1 仕上: 外装薄塗材 E	〔外壁改修5〕
	立上り巾木	モルタル金縁仕上げ	〔撤去〕 ● 〔既存処理〕	高圧水洗浄(30MPa)、劣化補修(Uカットシール材充填、欠損部ポリマーセメントモルタル充填)	樹脂モルタル薄塗り	〔外壁改修3〕
	梁型側面・底面	コンクリート打放、旧リシンの上吹付タイル重ね吹き	〔撤去〕 ● 〔既存処理〕 既存塗膜全除去	吹付下地材全撤去、高圧水洗浄(3MPa) 劣化補修(自動式低圧エポキシ樹脂注入工法、欠損部ポリマーセメントモルタル充填)	下地調整材: C-2 仕上: 防水形複層塗材 E	〔外壁改修4〕
	梁型天端	コンクリート打放、吹付タイル	〔撤去〕 ● 〔既存処理〕 既存塗膜全除去	高圧水洗浄(30MPa)、下地調整用ポリマーセメントモルタル塗布	ウレタン塗膜防水 X-2	〔防水改修〕
R階屋上	パラベット外壁	東棟:コンクリート打放、旧リシンの上吹付タイル重ね吹き【7A ⁺ 含有仕上】 西棟:コンクリート打放、旧リシンの上吹付タイル重ね吹き	〔撤去〕 ● 〔既存処理〕 既存塗膜全除去	吹付下地材全撤去、高圧水洗浄(3MPa) 劣化補修(自動式低圧エポキシ樹脂注入工法、欠損部ポリマーセメントモルタル充填)	下地調整材: C-2 仕上: 防水形複層塗材 E	〔外壁改修4〕
	パラベット立上り	塩ビ系シート防水	〔撤去〕 ● 〔既存処理〕	(既存のまま)	(既存のまま)	〔防水改修〕
	笠木天端	アルミ製笠木 W=350	(既存のまま)	(既存のまま)	(既存のまま)	〔防水改修〕
	床 面	塩ビ系シート防水	(既存のまま)	(既存のまま)	(既存のまま)	一部防鳥ネット張り
	煙 突	東棟:コンクリート打放、旧リシンの上吹付タイル重ね吹き【7A ⁺ 含有仕上】 西棟:コンクリート打放、旧リシンの上吹付タイル重ね吹き	〔撤去〕 ● 〔既存処理〕 既存塗膜全除去	吹付下地材全撤去、高圧水洗浄(3MPa) 劣化補修(自動式低圧エポキシ樹脂注入工法、欠損部ポリマーセメントモルタル充填)	下地調整材: C-2 仕上: 防水形複層塗材 E	障壁撤去後、Fランパナ新設
昇降口屋根	手摺壁(内外)	東棟:コンクリート打放、旧リシンの上吹付タイル重ね吹き【7A ⁺ 含有仕上】	〔撤去〕 ● 〔既存処理〕 既存塗膜全除去	吹付下地材全撤去、高圧水洗浄(3MPa) 劣化補修(自動式低圧エポキシ樹脂注入工法、欠損部ポリマーセメントモルタル充填)	下地調整材: C-2 仕上: 防水形複層塗材 E	〔外壁改修4〕
	手摺壁天端	東棟:コンクリート打放、旧リシンの上吹付タイル重ね吹き【7A ⁺ 含有仕上】	〔撤去〕 ● 〔既存処理〕 既存塗膜全除去	高圧水洗浄(30MPa)、下地調整用ポリマーセメントモルタル塗布	ウレタン塗膜防水 X-2	〔防水改修〕
	床 面	タイル調吹付防水仕上	〔撤去〕 ● 〔既存処理〕 既存塗膜一部劣化部分除去(50%程度)	高圧水洗浄(30MPa)、下地調整用ポリマーセメントモルタル塗布 立上・笠木 切り掛け処理 7A ⁺ 成形板敷き t=4.0 Fレゾ部分上部撤去・新リモルタル補修 中継Fレゾ-81 ⁺ 塗	平部:ウレタン塗膜防水 通気緩衝工法(X-1)防カビ機能付き高耐久保護塗料(樹脂新設) 立上:高粘性ウレタン塗膜防水 密着工法	鋼製プレハブ一時撤去・再設置
	鋼製手摺	鋼製製作2段手摺	〔撤去〕 ● 〔既存処理〕	鉄部R仕様	錆止め+DP(1級)塗装	校名板4.0×0.5一時撤去再設置
	階 段	防水モルタル金縁仕上げ	〔撤去〕 ● 〔既存処理〕	階段部分:段鼻 ⁺ 撤去、 ⁺ 修繕 高圧水洗浄(15MPa) 樹脂 ⁺ / ⁺ 引き処理	階段部:高粘性ウレタン塗膜防水 密着工法 防カビ機能付き高耐久保護塗料塗布	〔防水改修〕
ベランダ	手摺壁(内外)	東棟:コンクリート打放、旧リシンの上吹付タイル重ね吹き【7A ⁺ 含有仕上】 西棟:コンクリート打放、旧リシンの上吹付タイル重ね吹き	〔撤去〕 ● 〔既存処理〕 既存塗膜全除去	吹付下地材全撤去、高圧水洗浄(3MPa) 劣化補修(自動式低圧エポキシ樹脂注入工法、欠損部ポリマーセメントモルタル充填)	下地調整材: C-2 仕上: 防水形複層塗材 E	〔外壁改修4〕
	手摺壁天端	東棟:コンクリート打放、旧リシンの上吹付タイル重ね吹き【7A ⁺ 含有仕上】 西棟:コンクリート打放、旧リシンの上吹付タイル重ね吹き	〔撤去〕 ● 〔既存処理〕 既存塗膜全除去	高圧水洗浄(30MPa)、下地調整用ポリマーセメントモルタル塗布	ウレタン塗膜防水 X-2	〔防水改修〕
	鋼製手摺	鋼製製作2段手摺	〔撤去〕 ● 〔既存処理〕	鉄部R仕様	錆止め+DP(1級)塗装	
	床 面	防水モルタル金縁仕上げ	〔撤去〕 ● 〔既存処理〕	高圧水洗浄(30MPa)、下地調整用ポリマーセメントモルタル塗布	ウレタン塗膜防水 X-2	
	外部建具	サッシ	アルミサッシ	〔撤去〕 ● 〔既存処理〕		点検調整、清掃
	※一部水切り	モルタル金縁仕上	〔撤去〕 ● 〔既存処理〕	高圧水洗浄(30MPa)、下地調整用ポリマーセメントモルタル塗布	ウレタン塗膜防水 X-2	〔防水改修〕
	耐震改修部分	アルミサッシ+アルミ製耐火パネル併設	〔撤去〕 ● 〔既存処理〕		点検調整、清掃	
目地類	打継、化粧目地	シーリング W=20	〔撤去〕 ● 〔既存処理〕		ポリウレタン系シーリング(PU-2)	
	建具周囲シーリング	シーリング W=10	〔撤去〕 ● 〔既存処理〕		変性シリコン系シーリング(MS-2)	
と い	壁 種	①VP管φ100 ②VP管φ75	〔撤去〕 ● 〔既存処理〕 継受け金物共		①カラーVP φ100 ②カラーVP φ75	継受け金物: SUS製
	壁 種	東棟:白ガス管φ80 西棟:白ガス管φ80 補強部分白ガス管φ120	〔撤去〕 ● 〔既存処理〕 継受け金物	管内:塩ビライニング更生処理 外部:ケレン処理 RB種	管内:塩ビライニング 外部:DP(1級)塗装	継受け金物 DP(1級)塗装
	ルーフトレン	錆鉄製	〔撤去〕 ● 〔既存処理〕	トシ ⁺ 落し	トシ ⁺ 塗装	
既存外壁耐震補強部分	西 面	ALC板 吹付タイル	(既存のまま)	(既存のまま)	(既存のまま)	建具・目地類は本工事とする
	校庭面	アルミ金属板	(既存のまま)	(既存のまま)	(既存のまま)	建具・目地類は本工事とする
その他	外渡し	人研ぎ石仕上げ	〔撤去〕 ● 〔既存処理〕	洗浄清掃	研ぎ直し	
	屋上 ⁺ 手摺・PH手摺	スチール製 SOP塗装	〔撤去〕 ● 〔既存処理〕	鉄部RB種	錆止め+DP(1級)塗装	
	外部階段	スチール製 SOP塗装	〔撤去〕 ● 〔既存処理〕	鉄部RB種	錆止め+DP(1級)塗装	
	防球ネット	ナイロン製網	〔撤去〕 ● 〔既存処理〕 受け材共		アルダイニーマネット17601/4本 40mm目(色:ブラウン)とする。 ネット支持鋼線はステンレスワイヤφ6mm	鉄骨受け支持材:支持部分撤去 撤去部:錆止め+DP(1級)塗装
	防鳥ネット	1階:木製隔壁 2・3・4階:軽鉄下地 ケイカル板 塗装仕上	〔撤去〕 ● 〔既存処理〕 受け材共		アルダイニーマネット17601/4本 24mm目(色:ブラウン)とする。 ネット支持鋼線はステンレスワイヤφ6mm	ネット支持金物はスチール製とし溶融亜鉛めっき仕上

注 記
 ・その他本表に記載無き詳細部については以降各図を参照の事
 ・外壁塗装吹付材はアスベスト含有建材となるため、吹付下地材全撤去工法を採用する。
 採用工法:集塵装置付き超高压水洗工法(100MPa以上)、及び湿式集塵装置付きディスクグラインダーケレン工法 参考)ウォータークリーン工法
 ・上記工法に応じた養生、作業を行う事。
 ・足場床面、及び壁面、開口部については汚れ防止養生シートにて養生施工を行う事。
 ・施工計画書を作成の上、監督員の承認の上施工を行う事。
 ・関係法令に基づく書類の作成、提出を行う事。
 ※その他詳細は「特記仕様書(アスベスト撤去)参考図」参照の事

※外壁アスベスト含有場所
 東棟:外壁仕上 - 含有 有り 配膳室棟:外壁仕上 - 含有 有り
 軒裏仕上 - 含有 無し 軒裏仕上 - 含有 有り
 西棟:外壁仕上 - 含有 無し
 軒裏仕上 - 含有 無し

■ 外壁劣化補修箇所 数量集計表

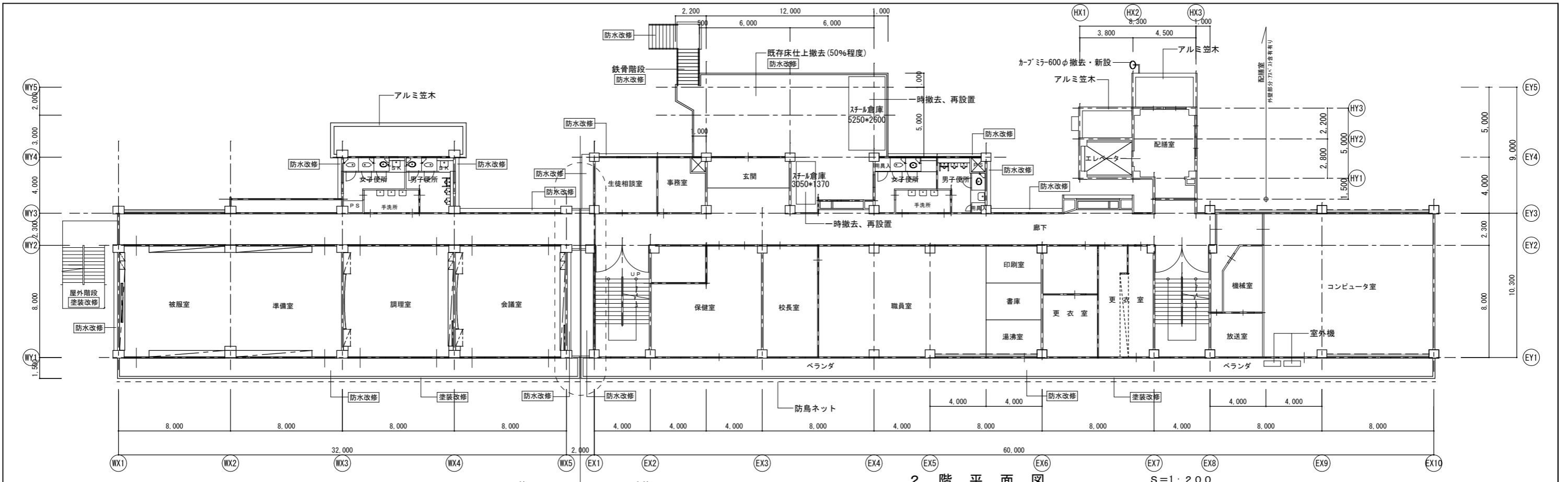
名 称	単 位	設計時調査						施工時調査							
		東 面	西 面	南 面	北 面	屋 上	調査数量	係数	設計数量	東 面	西 面	南 面	北 面	屋 上	施工数量
クラック	m	77.2	30.3	219.4	70.0	37	433.9	2.0	868						
欠 損	箇所	0	0	0	0	3	3	2.0	6						
燻 裂	箇所	7	1	139	3	9	159	2.0	318						
浮 き	m ²	0	0	0	1.5	0	1.5	3.0	4.5						

注 記
 ・調査数量は既存塗膜有りの状況調査の為、各係数を乗じた数量を設計数量として算出する。

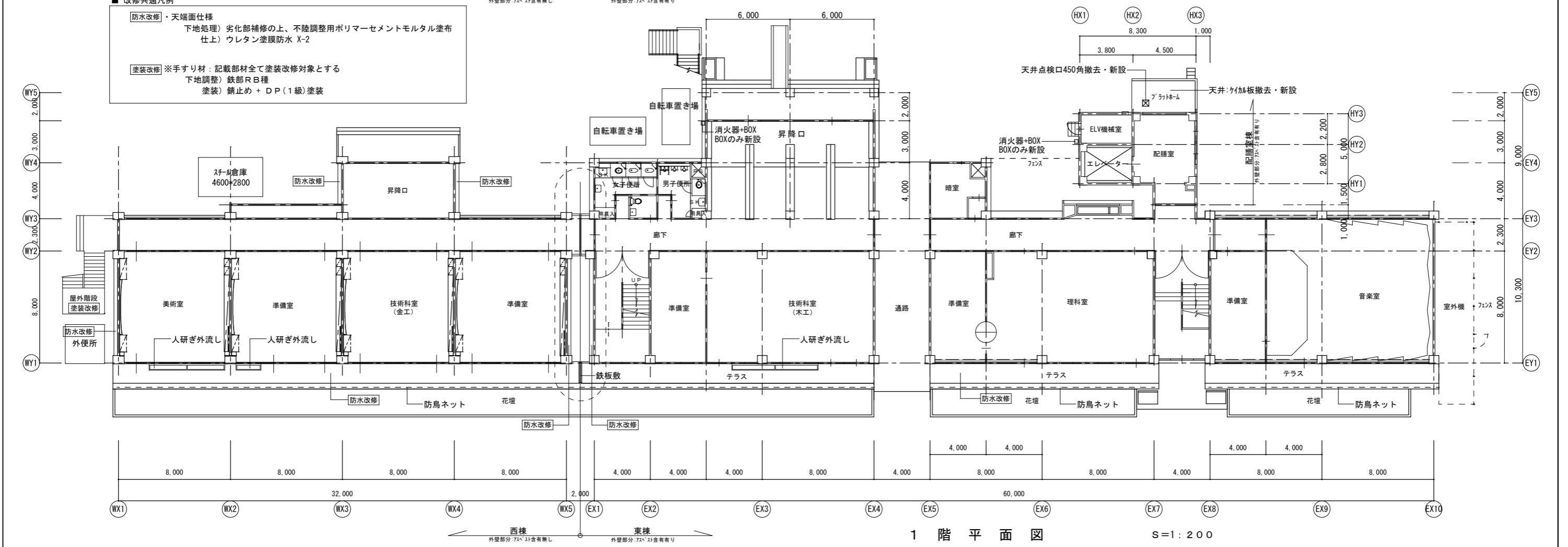
■ 劣化補修特記事項
 ・施工数量調査は吹付材、既存塗膜を全撤去した状況にて行う事。
 ・劣化部補修仕様は特記無き限り下記とする。
 クラック:【東棟・西棟・配膳室棟】 Uカットシーリング材充填工法 ※ポリマーセメントモルタル充填
 【東棟・西棟・配膳室棟】 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 ※注入間隔4本/m
 欠 損:ポリマーセメントモルタル充填工法
 燻 裂:周囲研り出しの上、錆止め塗装処理、ポリマーセメントモルタル充填工法
 浮 き:アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ※アンカーピン本数は特記仕様による

須賀中学校

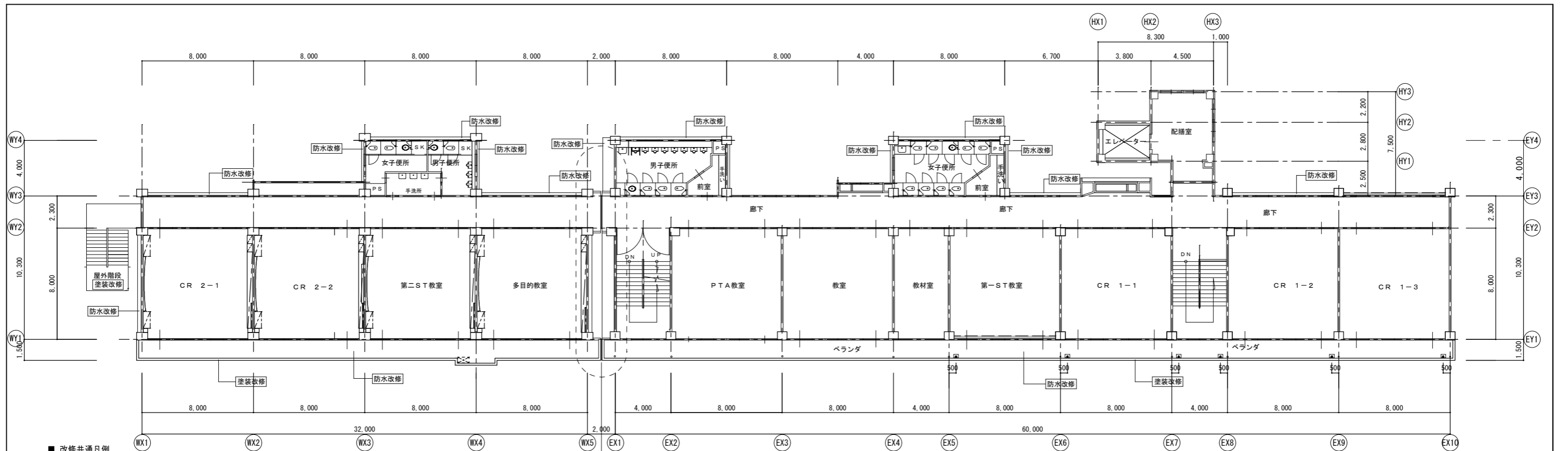
須賀中学校外壁改修工事			外部仕上表		
SCALE	-	設計	製図	宮代町教育推進課	
				SA-12	



- 改修共通凡例
- 防水改修・天端面仕様
 - 下地処理) 劣化部補修の上、不陸調整用ポリマーセメントモルタル塗布(仕上)ウレタン塗膜防水 X-2
 - 塗装改修 ※手すり材: 記載部材全て塗装改修対象とする
 - 下地調整) 鉄部R種
 - 塗装) 錆止め + DP(1級)塗装

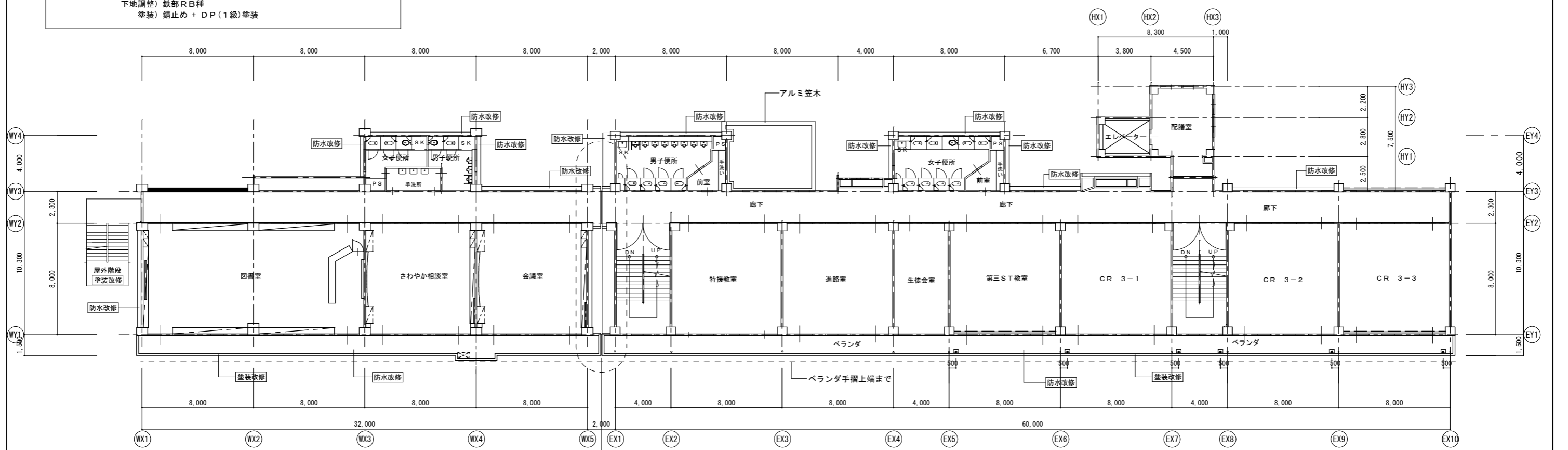


須賀中学校外壁改修工事		[須賀中学校] 1・2階平面図	
SCALE	1/200	設計	製図
宮代町教育推進課			SA-13



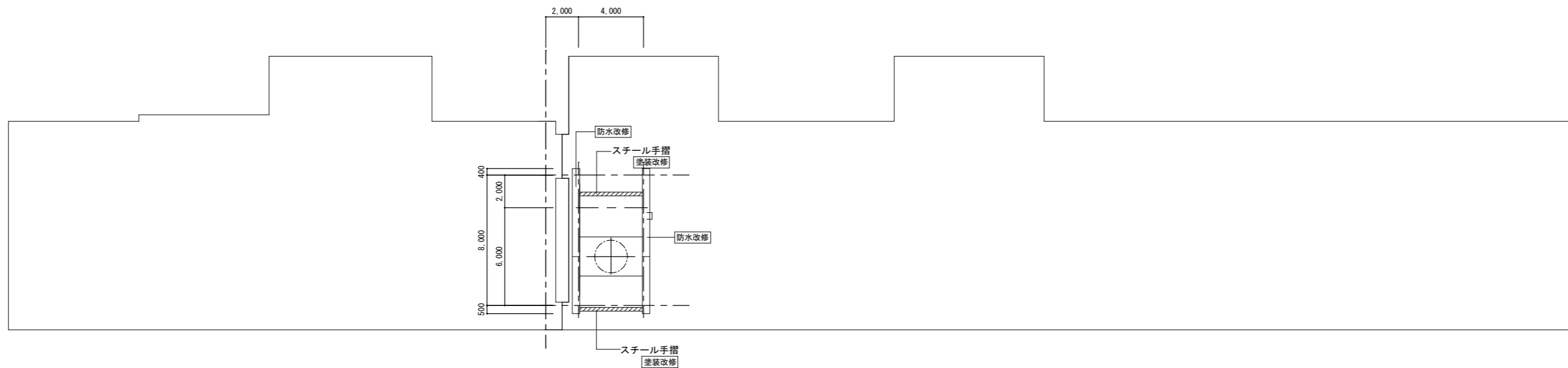
4階平面図 S=1:200

- 改修共通凡例
- 防水改修・天端面仕様
下地処理)劣化部補修の上、不陸調整用ポリマーセメントモルタル塗布
仕上)ウレタン塗膜防水 X-2
 - 塗装改修)※手すり材:記載部材全て塗装改修対象とする
下地調整)鉄部R/B種
塗装)錆止め+DP(1級)塗装



3階平面図 S=1:200

須賀中学校外壁改修工事			[須賀中学校] 3・4階平面図	
SCALE	1/200	設計	製図	
宮代町教育推進課				SA-14

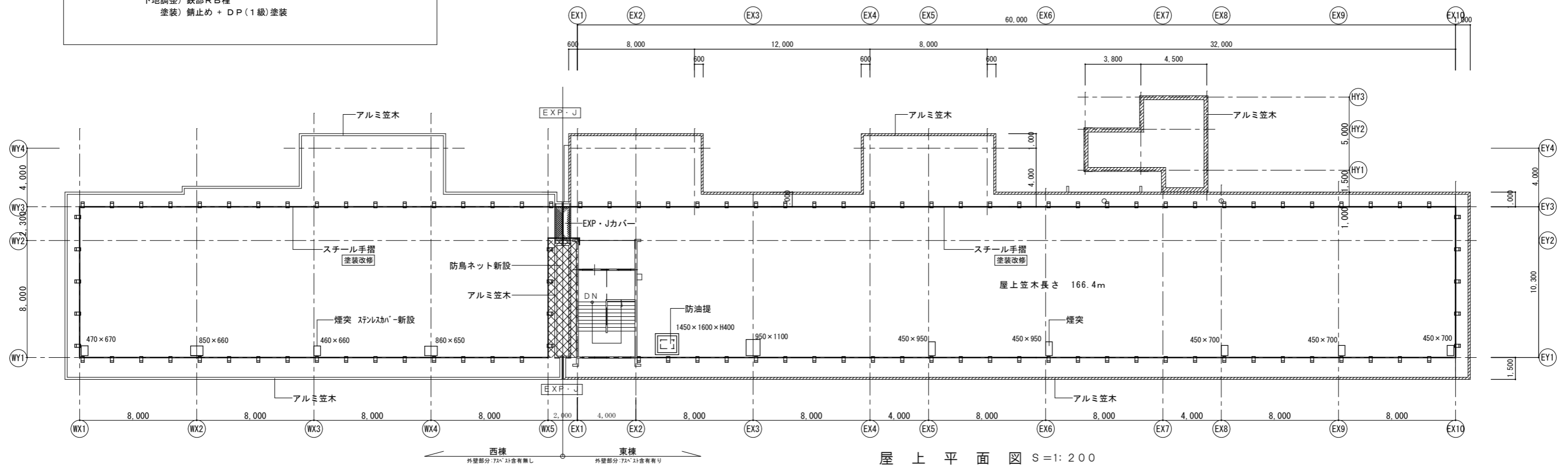


塔屋屋上平面図 S=1:200

■ 改修共通凡例

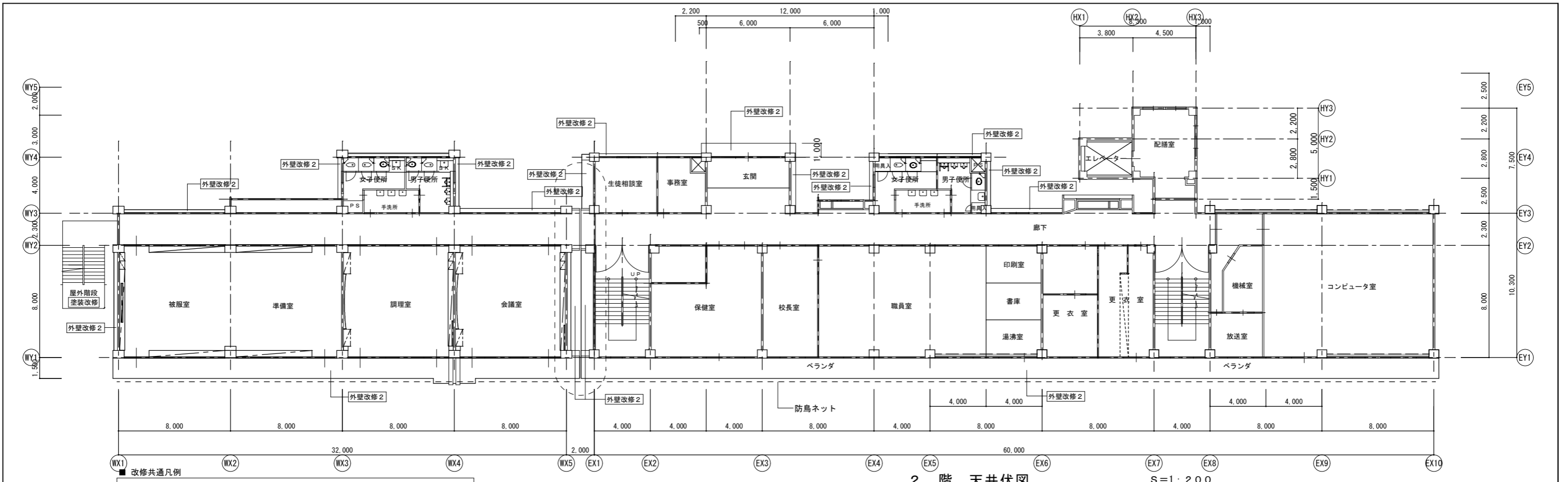
防水改修・天端面仕様
 下地処理) 劣化部補修の上、不陸調整用ポリマーセメントモルタル塗布
 仕上) ウレタン塗膜防水 X-2

塗装改修 ※手すり材: 記載部材全て塗装改修対象とする
 下地調整) 鉄部R/B種
 塗装) 錆止め + DP(1級)塗装



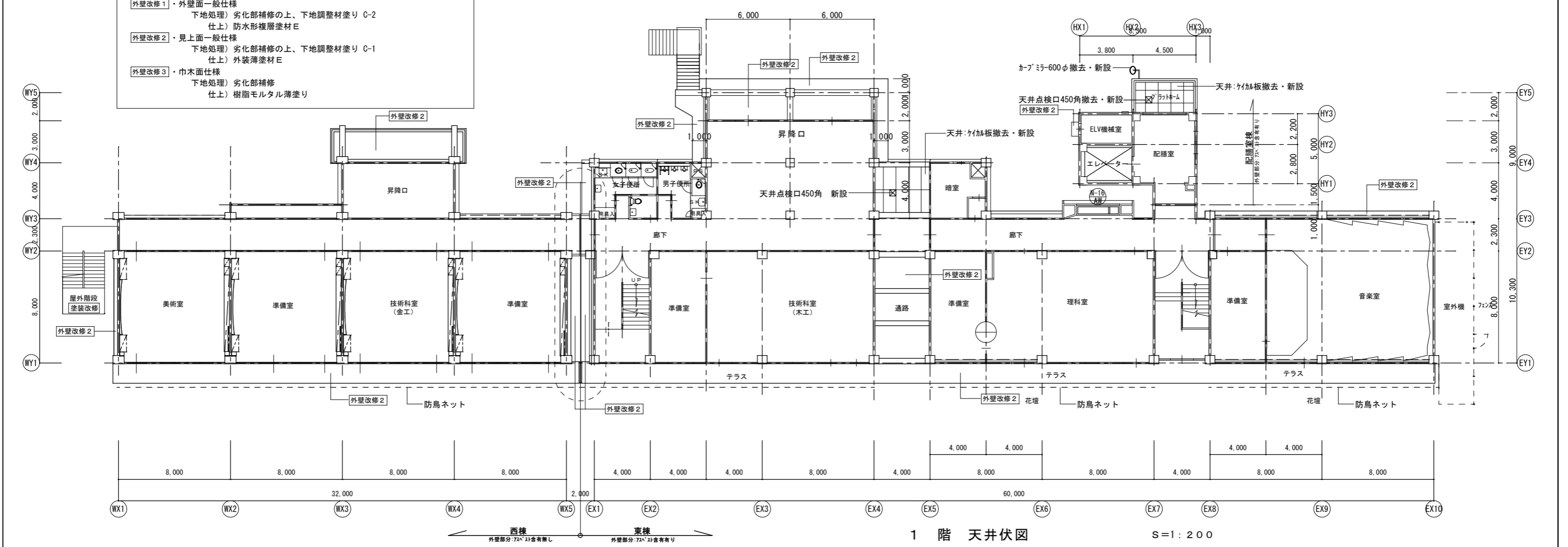
屋上平面図 S=1:200

須賀中学校外壁改修工事			[須賀中学校] 屋上・塔屋屋上平面図	
SCALE	1/200	設計	製図	
宮代町教育推進課				SA-15



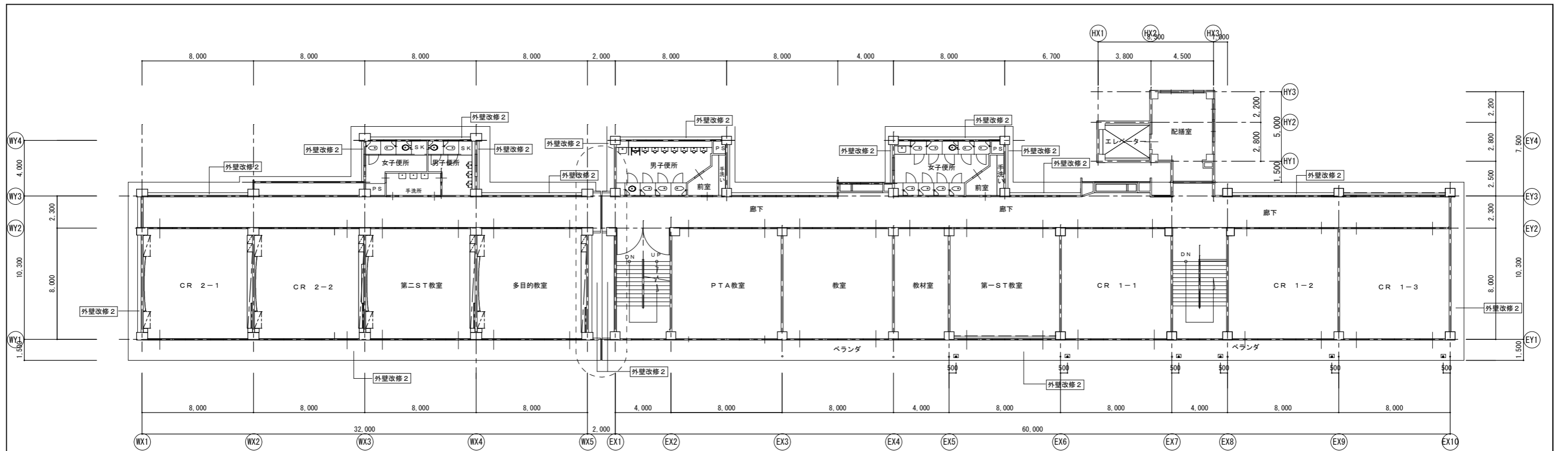
2階 天井伏図 S=1:200

- 改修共通凡例
- 外壁改修1・外壁面一般仕様
下地処理) 劣化部補修の上、下地調整材塗り C-2
仕上) 防水形複層塗材 E
 - 外壁改修2・見上面一般仕様
下地処理) 劣化部補修の上、下地調整材塗り C-1
仕上) 外装薄塗材 E
 - 外壁改修3・巾木面仕様
下地処理) 劣化部補修
仕上) 樹脂モルタル薄塗り



1階 天井伏図 S=1:200

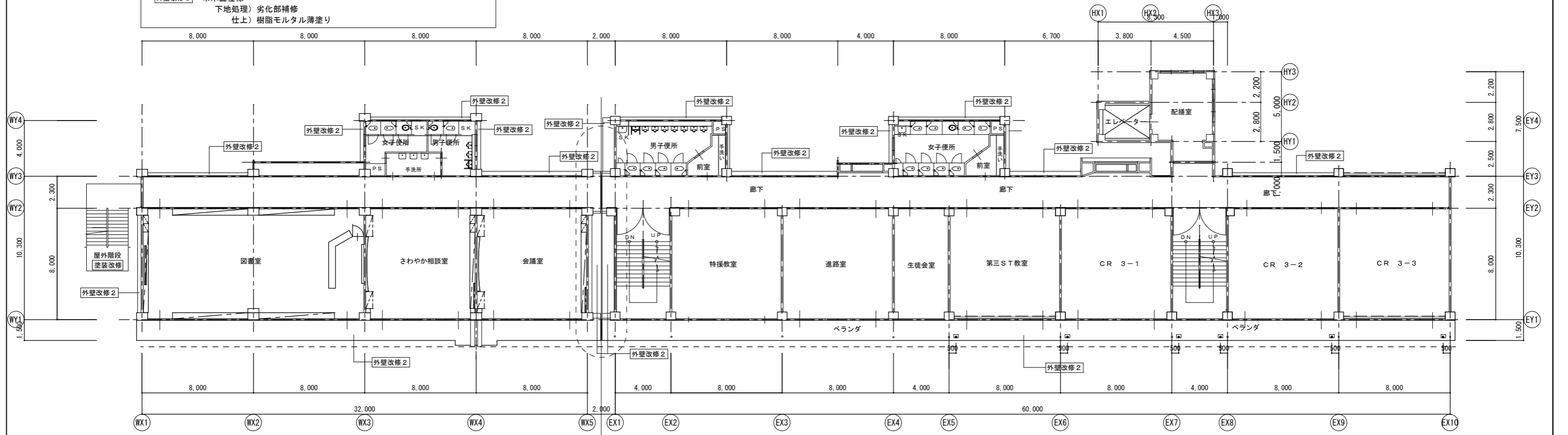
須賀中学校外壁改修工事		[須賀中学校] 1・2階 天井伏図	
SCALE	1/200	設計	製図
宮代町教育推進課			SA-16



4 階 天井伏図

S=1:200

- 改修共通凡例
- 外壁改修1・外壁面一般仕様
下地処理)劣化部補修の上、下地調整材塗り C-2
仕上)防水形複層塗材 E
 - 外壁改修2・見上面一般仕様
下地処理)劣化部補修の上、下地調整材塗り C-1
仕上)外装薄塗材 E
 - 外壁改修3・巾木面仕様
下地処理)劣化部補修
仕上)樹脂モルタル薄塗り



3 階 天井伏図

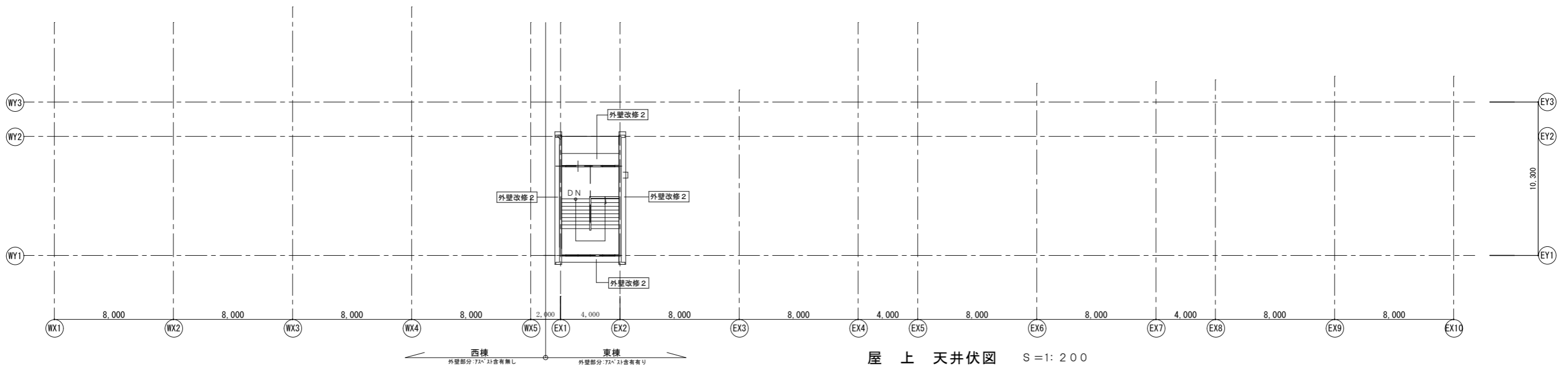
S=1:200

西棟 東棟
外壁部分:72㎡以上含有無し 外壁部分:72㎡以上含有有り

須賀中学校外壁改修工事			[須賀中学校] 3・4階 天井伏図		
SCALE	1/200	設計	製図	宮代町教育推進課	SA-17

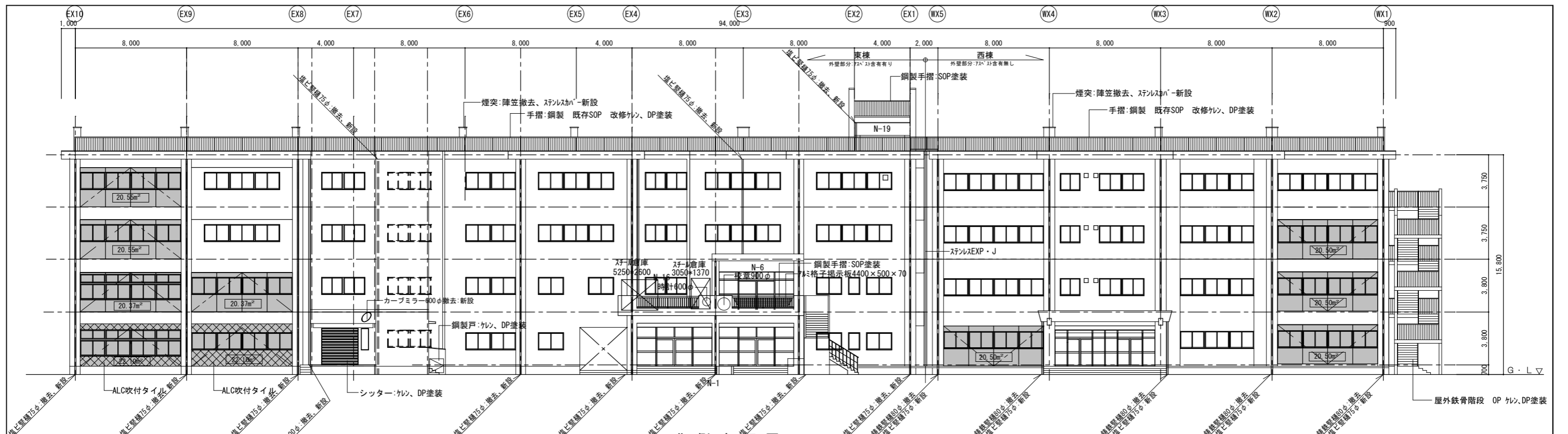
■ 改修共通凡例

- 外壁改修1・外壁面一般仕様
下地処理)劣化部補修の上、下地調整材塗り C-2
仕上)防水形複層塗材 E
- 外壁改修2・見上面一般仕様
下地処理)劣化部補修の上、下地調整材塗り C-1
仕上)外装薄塗材 E
- 外壁改修3・巾木面仕様
下地処理)劣化部補修
仕上)樹脂モルタル薄塗り

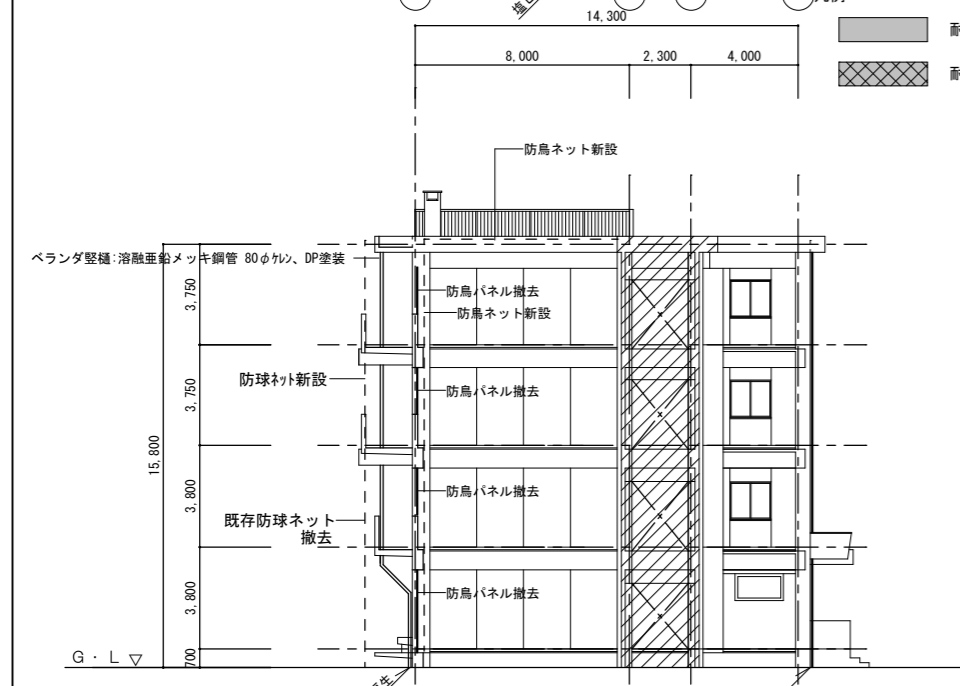


屋 上 天 井 伏 図 S = 1 : 2 0 0

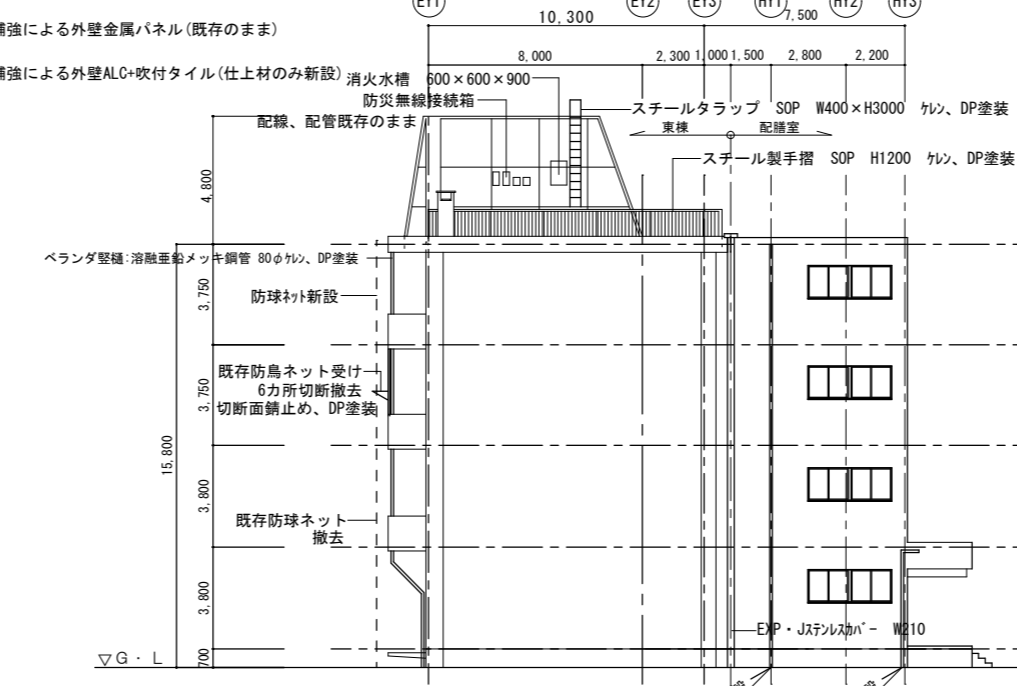
				須賀中学校外壁改修工事		[須賀中学校] 屋上・塔屋屋上 天井伏図		
SCALE	1/200	設計		製図		宮代町教育推進課		SA-18



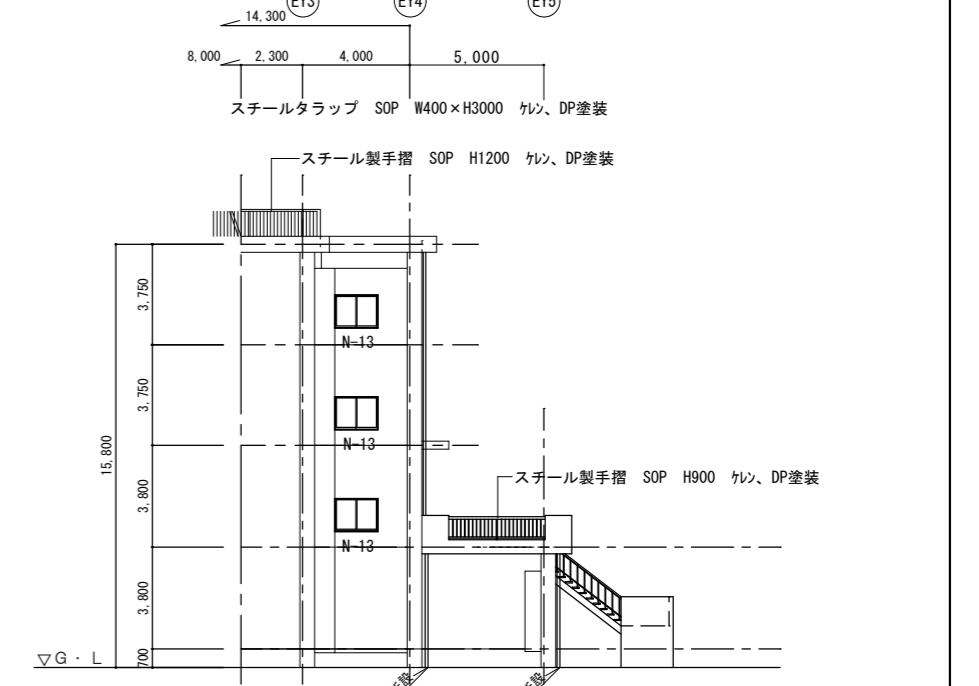
北側立面図 S=1:200



EXP 西棟東側立面図 S=1:200



東側立面図 1 S=1:200



東側立面図 2 S=1:200

共通事項
 ① ベランダ手摺: 鋼製 既存SOP 改修ケレン、DP塗装
 ② 鋼管縦樋100φ: 塩ビライニング更生処理
 ③ 既存サッシ: 可動確認+調整清掃

注記) 特記無き一般外壁、柱型、梁型は (A) 外壁改修1 とする

■ 既存外部仕上表

記号	仕上	石綿含有の有無
(A)	コンクリート打放し、アクリルリシン吹付	(有り)
(B)	コンクリート打放し、吹付タイル	(有り)
(C)	防水モルタル金網仕上げ	(無し)
(D)	モルタル金網仕上げ	(無し)

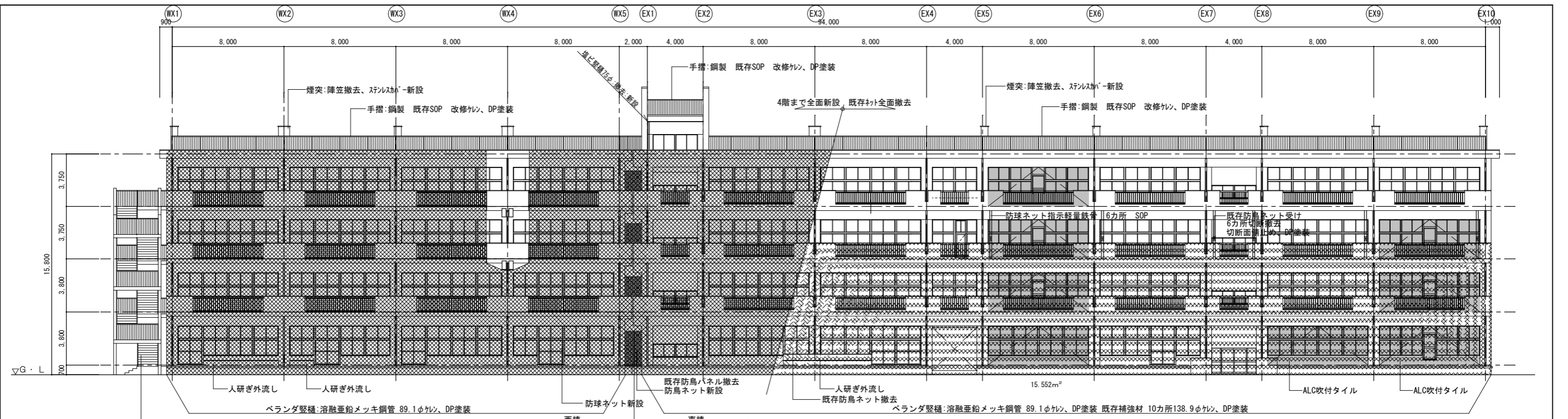
共通
 打継、化粧目地: シーリング W=20 改修内容) 既存撤去、充填打替え

番号	部位	既存仕上	改修内容
a-1	屋上笠木	アルミ製 W=250	(既存のまま)
a-2	手摺	ステンレス SOP 塗装	塗装改修
a-3	屋根	外壁塗装防水(防水工法)	(既存のまま)
a-4	破風・幕板	モルタル金網、アクリルリシン吹付	外壁改修2
a-5	換気ガラー	ステンレス製 300x250	塗装改修 / 周囲シーリング打替え
a-6	増築給食棟	シート防水・立上り至アルミ製	(既存のまま)
a-7	外部流し	人研ぎ石仕上げ	(既存のまま)

番号	部位	既存仕上	改修内容
a-8	換気フード	ステンレス製ウェザーカバー 300x300	塗装改修 / 周囲シーリング打替え
a-9	壁面ミラー	壁付け型 φ800	既存撤去の上、新設: アルミ製 φ800
a-10	消火器BOX	露出型 壁掛け式	既存一時撤去の上、再取付 (既存品再使用する)
a-11	スロープ手摺	SUS製 支柱式	(既存のまま)
a-12	ステンレス製 W=250	ステンレス製 W=250	既存一時撤去の上、再取付 (既存品再使用する) 屋上部分(既存のまま)
a-13	校庭側外壁	防球ネット	既存撤去、4階まで新設
a-14	防鳥パネル	木製下地、合板張り	既存撤去、防鳥ネット新設

■ 改修共通凡例

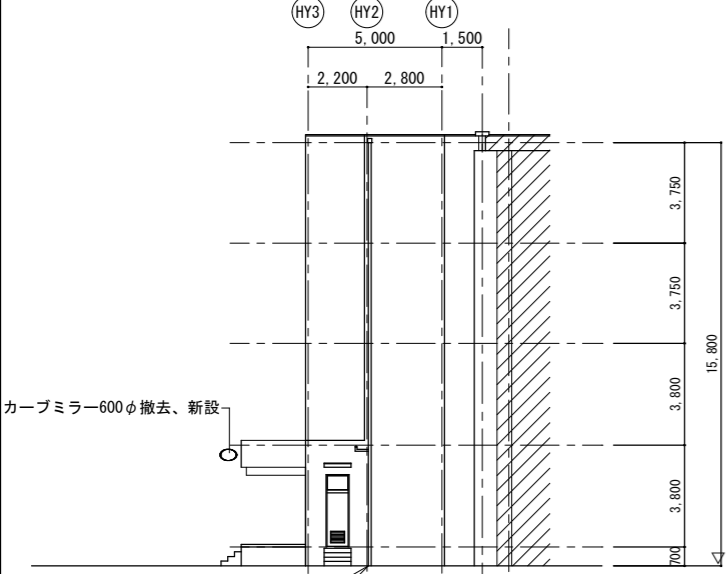
外壁改修1・外壁面一般仕様 下地処理) 劣化部補修の上、下地調整材塗り C-2 (仕上) 防水形複層塗材 E	防水改修・天端面仕様 下地処理) 劣化部補修の上、不陸調整用ポリマーセメントモルタル塗布 (仕上) ウレタン塗膜防水 X-2
外壁改修2・見上面一般仕様 下地処理) 劣化部補修の上、下地調整材塗り C-1 (仕上) 外装薄塗材 E	塗装改修・鉄部仕様 下地調整) 鉄部RB種 (塗装) 錆止め + DP (1級) 塗装
外壁改修3・巾木面仕様 下地処理) 劣化部補修 (仕上) 樹脂モルタル薄塗り	



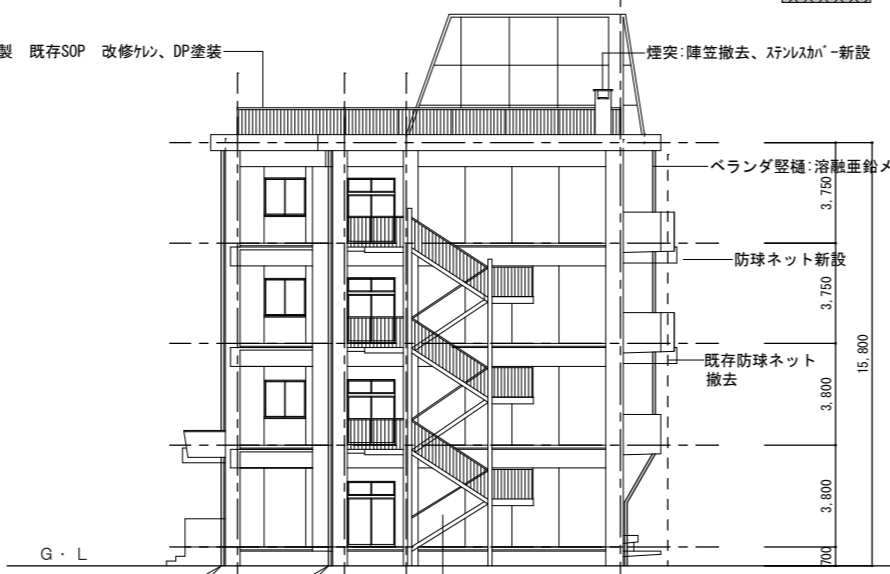
南側立面図 S=1:200

- 凡例
- 耐震補強による外壁金属パネル (既存のまま)
 - 耐震補強による外壁ALC吹付タイル (仕上材のみ新設)

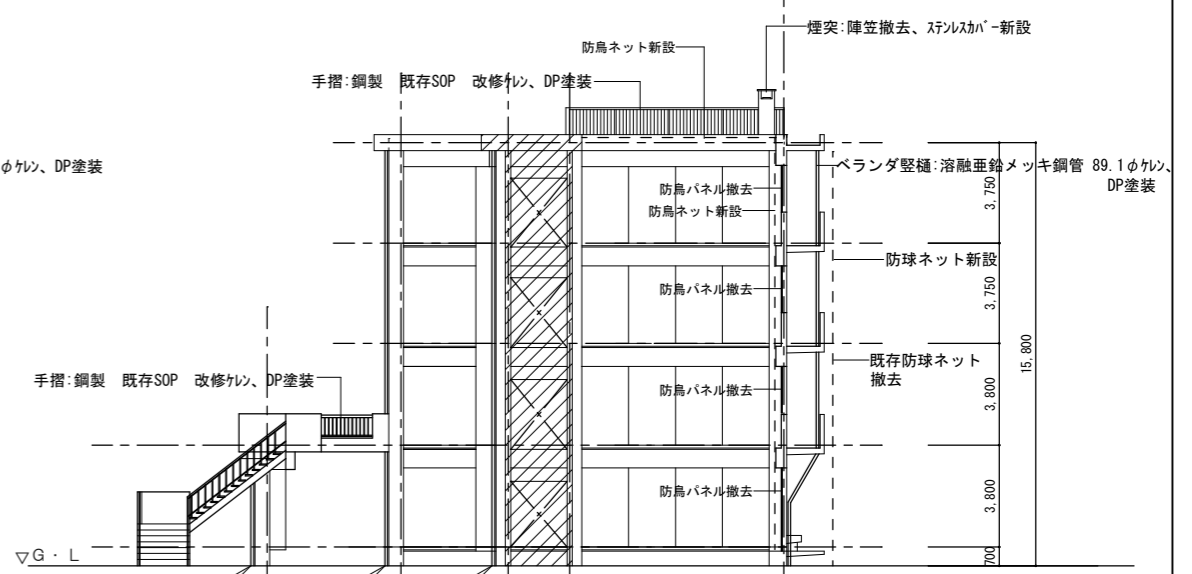
- 共通事項
- ベランダ手摺・外階段:鋼製 既存SOP 改修 ケリ、DP塗装
 - 鋼管堅樋89.1φ・鋼管補強方杖139.8φ 内部:塩ブライニング更生処理
 - 既存サッシ:可動確認+調整清掃



配膳室 西側立面図 S=1:200



西側立面図 S=1:200



EXP 東棟西側立面図 S=1:200

注記) 特記無き一般外壁、柱型、梁型面は (A) 外壁改修1 とする

■ 既存外部仕上表

記号	仕上	石綿含有の有無
(A)	コンクリート打放し、アクリルシン収付	(有り)
(B)	コンクリート打放し、吹付タイル	(有り)
(C)	防水モルタル金線仕上げ	(無し)
(D)	モルタル金線仕上げ	(無し)

共通
打継、化粧目地:シーリング N=20 改修内容) 既存撤去、充填打替え

番号	部位	既存仕上	改修内容
a-1	屋上笠木	アルミ製 N=250	(既存のまま)
a-2	手摺	ステンレス製 SOP 塗装	塗装改修
a-3	屋根	ケリ塗膜防水(新設工法)	(既存のまま)
a-4	破風・幕板	モルタル金線、アクリルシン収付	外壁改修2
a-5	換気ガラー	ステンレス製 300x250	塗装改修 / 周囲シーリング打替え
a-6	増築トイレ屋根	シート防水・立上り笠木 SUS 製	(既存のまま)
a-7	外部流し	人研ぎ石仕上げ	(既存のまま)

番号	部位	既存仕上	改修内容
a-8	換気フード	ステンレス製ウェザーカバー 300x300	塗装改修 / 周囲シーリング打替え
a-9	壁面ミラー	壁付型 φ800	既存撤去の上、新設:アルミ製 φ800
a-10	消火器BOX	露出型 壁掛付式	既存一時撤去の上、再取付 (既存品再使用する)
a-11	スロープ手摺	SUS製 支柱式	(既存のまま)
a-12	ステンレス製 J	ステンレス製 N=250	既存一時撤去の上、再取付 (既存品再使用する)
a-13	校庭側外壁	防球ネット	既存撤去、4階まで新設
a-14	防鳥パネル	木製下地、合板張り	既存撤去、防鳥ネット新設

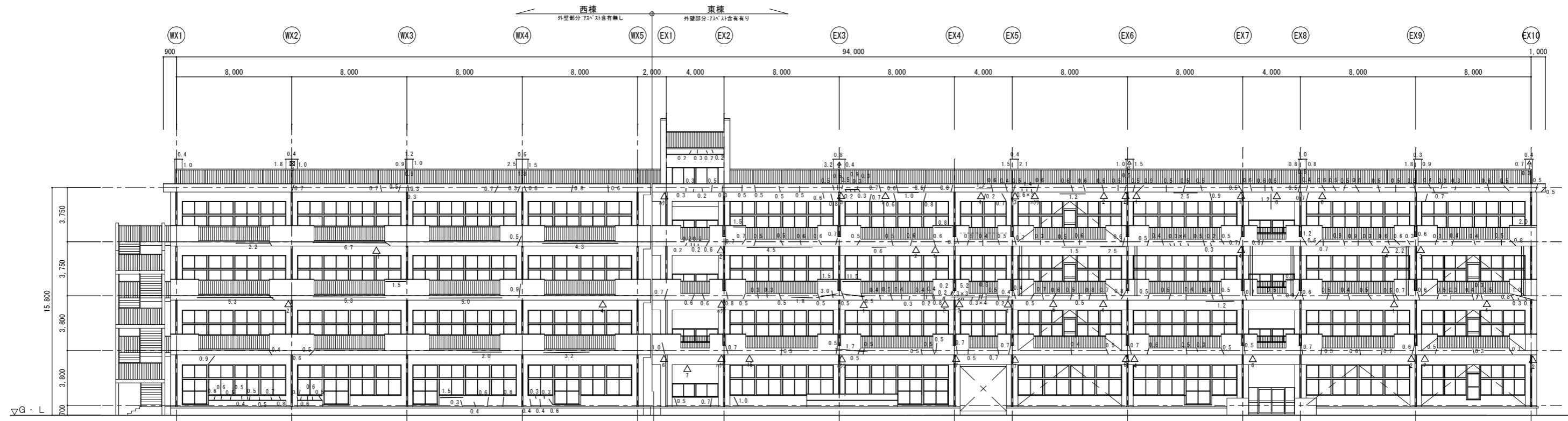
■ 改修共通凡例

外壁改修1・外壁面一般仕様 下地処理)劣化部補修の上、下地調整材塗り C-2 仕上)防水形複層塗材 E	防水改修・天端面仕様 下地処理)劣化部補修の上、不陸調整用ポリマーセメントモルタル塗布 仕上)ウレタン塗膜防水 X-2
外壁改修2・見上面一般仕様 下地処理)劣化部補修の上、下地調整材塗り C-1 仕上)外装薄塗材 E	塗装改修・鉄部面仕様 下地調整)鉄部 RB 種 塗装)錆止め + DP (1級) 塗装
外壁改修3・巾木面仕様 下地処理)劣化部補修 仕上)樹脂モルタル薄塗り	

須賀中学校外壁改修工事

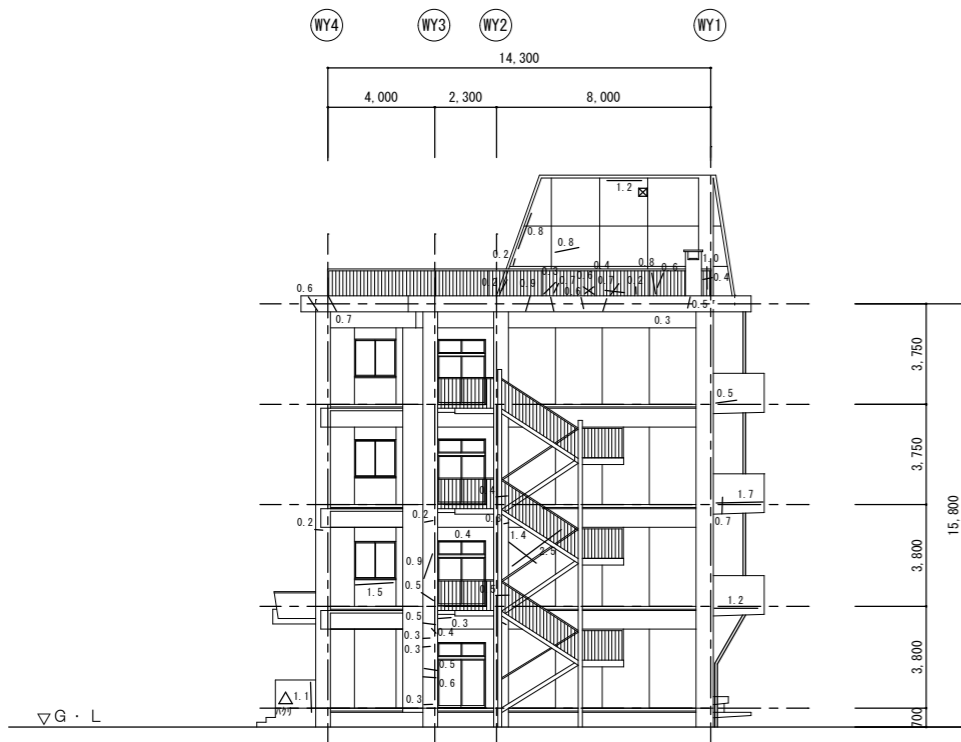
[須賀中学校] 立面図 2

SCALE	1/400	設計	製図	宮代町教育推進課	SA-20
-------	-------	----	----	----------	-------



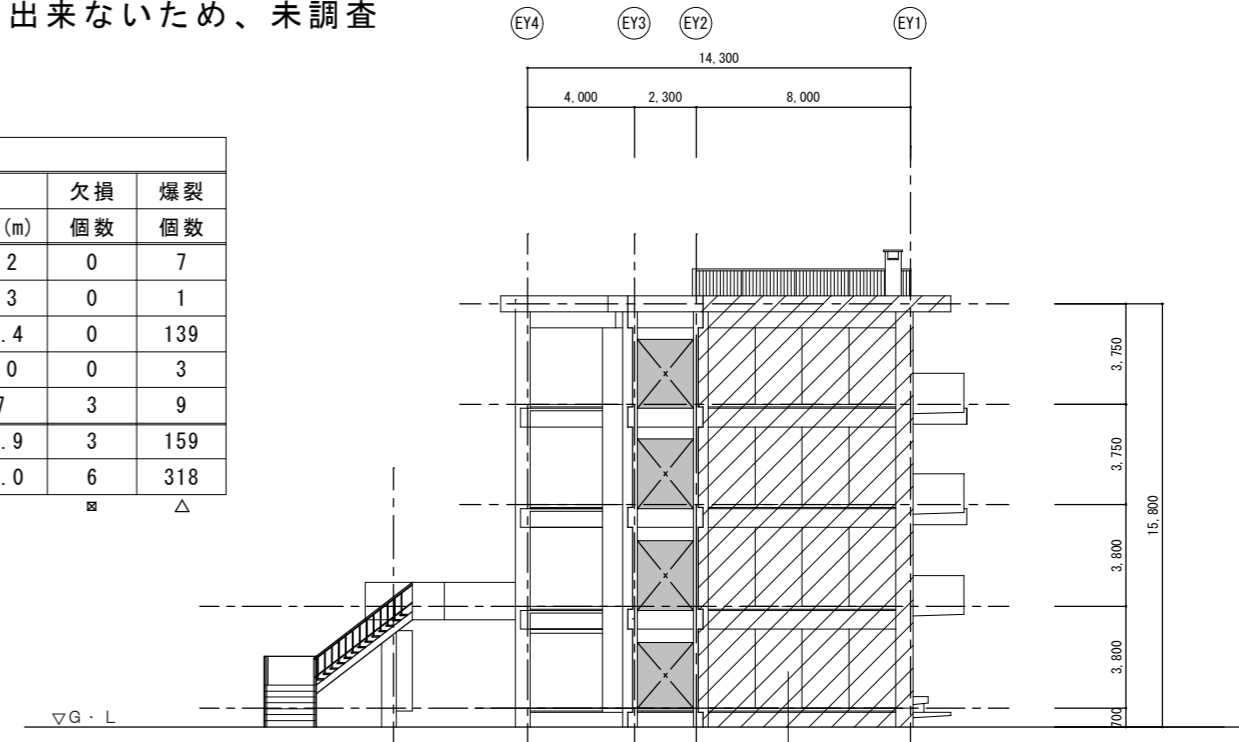
南側立面図 S=1:200

校舎間のスペース立ち入り出来ないため、未調査



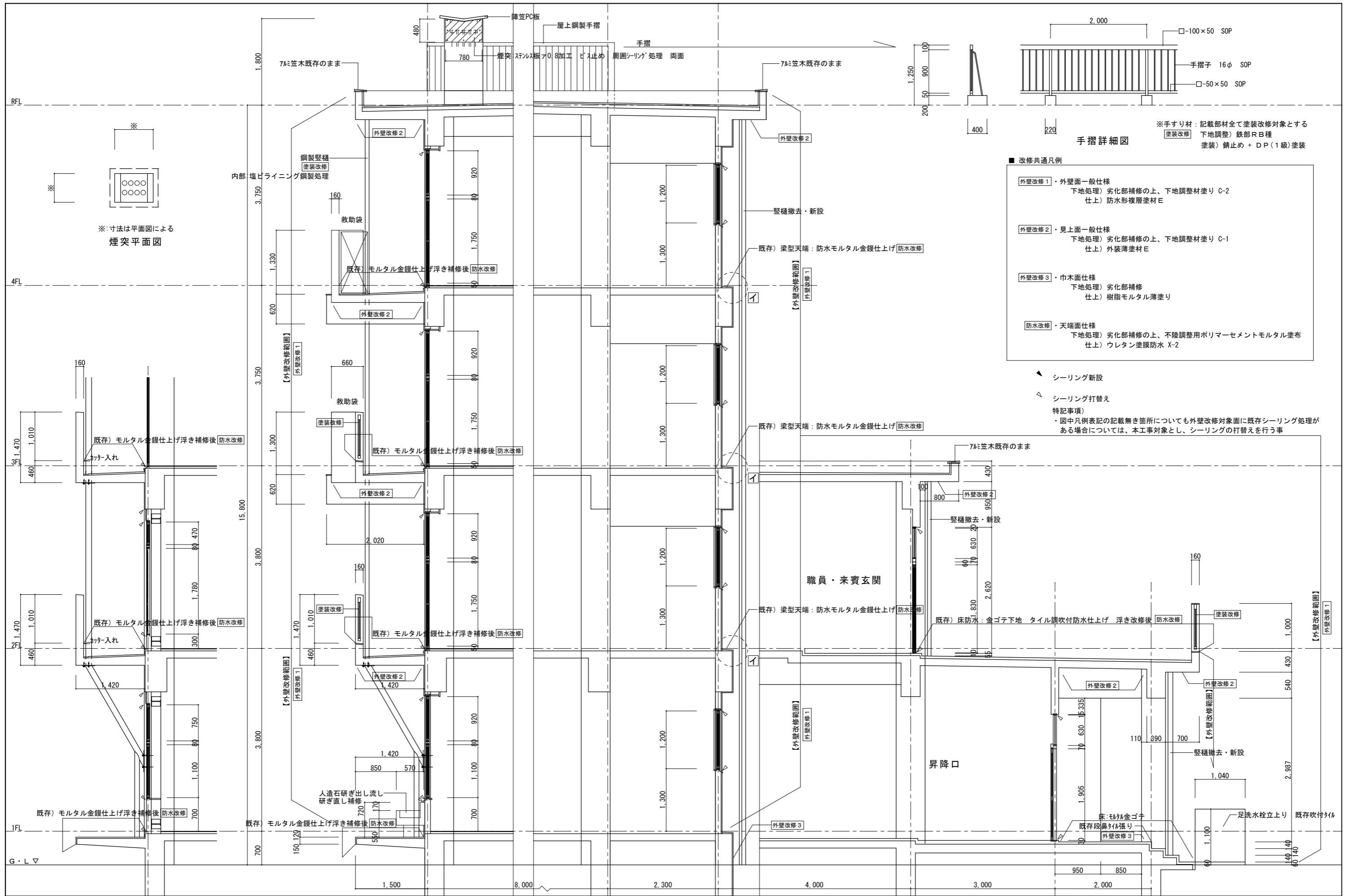
西側立面図 S=1:200

	浮き		クラック		欠損 個数	爆裂 個数	
	個数	面積 (㎡)	長さ (m)	本数			
東面	0	0		61	77.2	0	7
西面	0	0		46	30.3	0	1
南面	0	0		295	219.4	0	139
北面	2	1.5		51	70.0	0	3
屋上 (PH以外)	0	0		31	37	3	9
合計	2	1.5		484	433.9	3	159
みなし合計 (2.0倍)	-	3.0		-	868.0	6	318



EXP西側立面図 S=1:200

ハッチ部分未調査

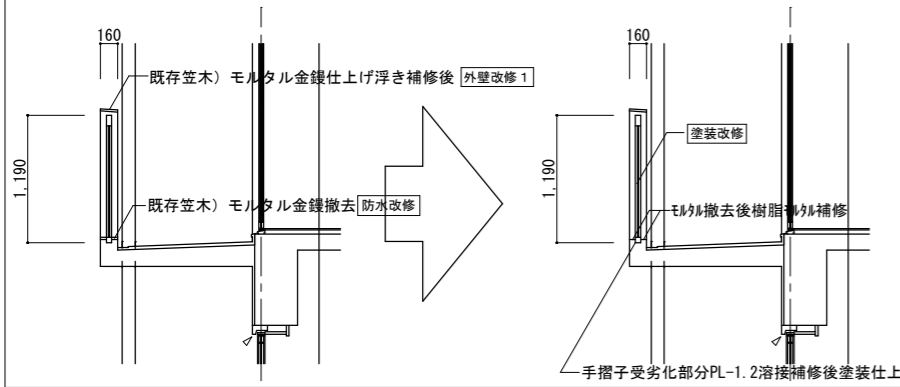


手摺詳細図

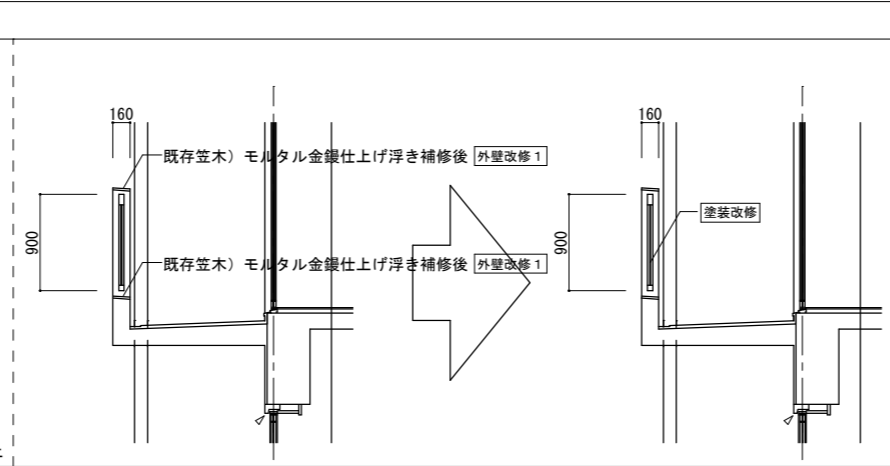
- ※手すり材：記載部材全て塗装改修対象とする
 塗装改修 下地調整) 鉄部RB種 塗装) 錆止め + DP (1級) 塗装
- 改修共通凡例
- 外壁改修1) ・外壁面一般仕様
 下地処理) 劣化部補修の上、下地調整材塗り C-2
 仕上) 防水形複層塗材E
 - 外壁改修2) ・見上面一般仕様
 下地処理) 劣化部補修の上、下地調整材塗り C-1
 仕上) 外装薄塗材E
 - 外壁改修3) ・巾木面仕様
 下地処理) 劣化部補修
 仕上) 樹脂モルタル薄塗り
 - 防水改修) ・天端面仕様
 下地処理) 劣化部補修の上、不陸調整用ポリマーセメントモルタル塗布
 仕上) ウレタン塗膜防水 X-2
- ▲ シーリング新設
 △ シーリング打替え
 特記事項)
 ・図中凡例表記の記載無き箇所についても外壁改修対象面に既存シーリング処理がある場合については、本工事対象とし、シーリングの打替えを行う事

※：寸法は平面図による
 煙突平面図

ア 部分詳細図



南棟ベランダ手摺納まり詳細図 S=1/50

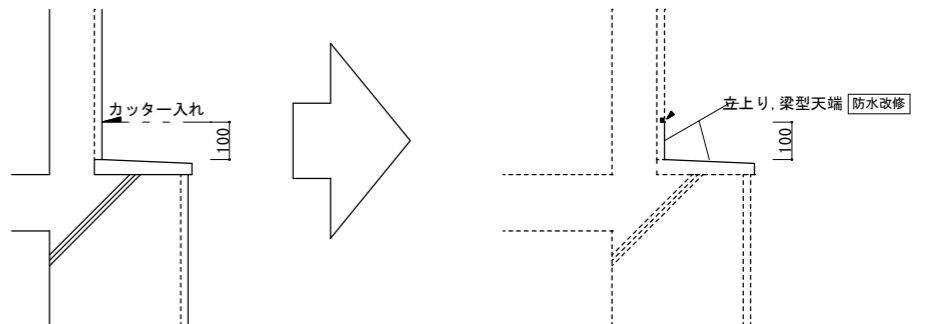


北棟ベランダ手摺納まり詳細図 S=1/50

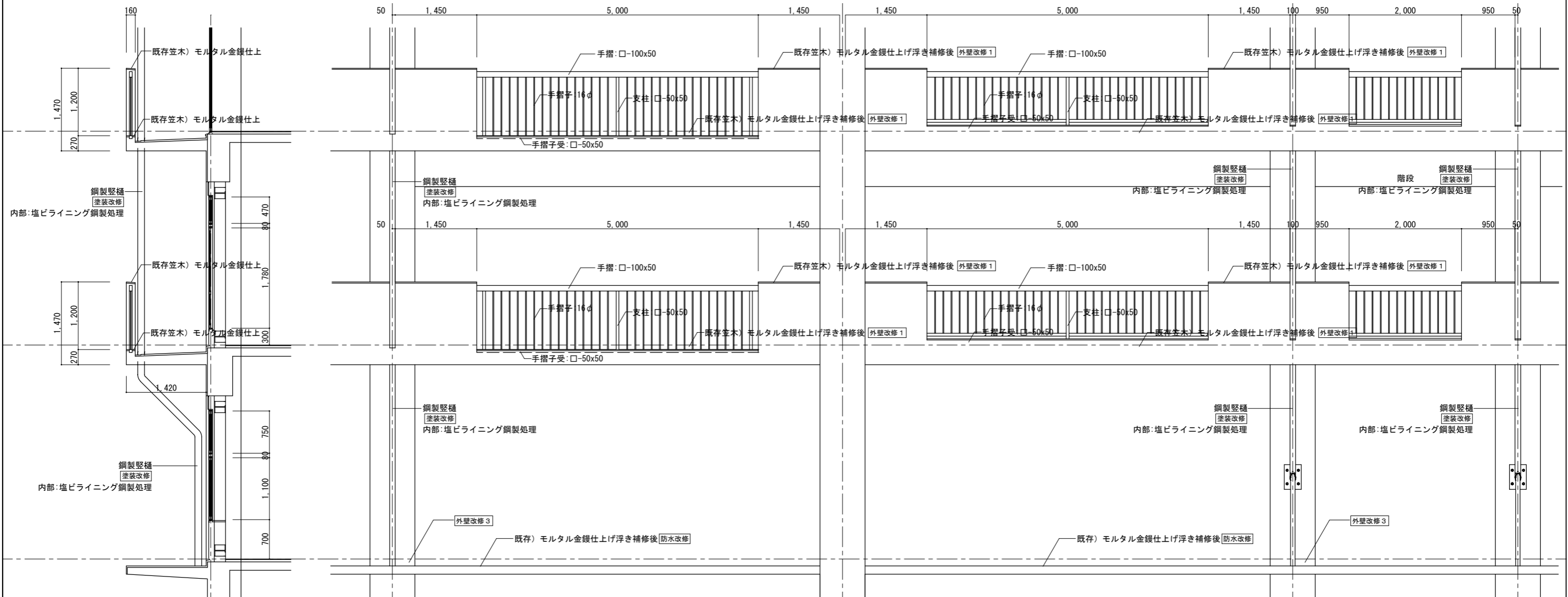
イ 部分詳細図

共通事項

・以降各棟共通として、梁型、底型が取合う壁取合い箇所は下図を適用とする。
 ※既に防水立上りの施工が有る場合については、立上り面までを既存形状のままウレタン塗膜防水仕上げとする



※手すり材：記載部材全て塗装改修対象とする
 塗装改修 下地調整) 鉄部R.B種
 塗装) 錆止め + DP (1級) 塗装



南棟ベランダ手摺納まり詳細図 S=1/50

南棟 北棟

須賀中学校外壁改修工事

[須賀中学校] 詳細図 2

SCALE 1/50

設計

製図

宮代町教育推進課

SA-24

※手すり材：記載部材全て塗装改修対象とする
 塗装改修 下地調整) 鉄部RB種
 塗装) 錆止め + DP (1級) 塗装

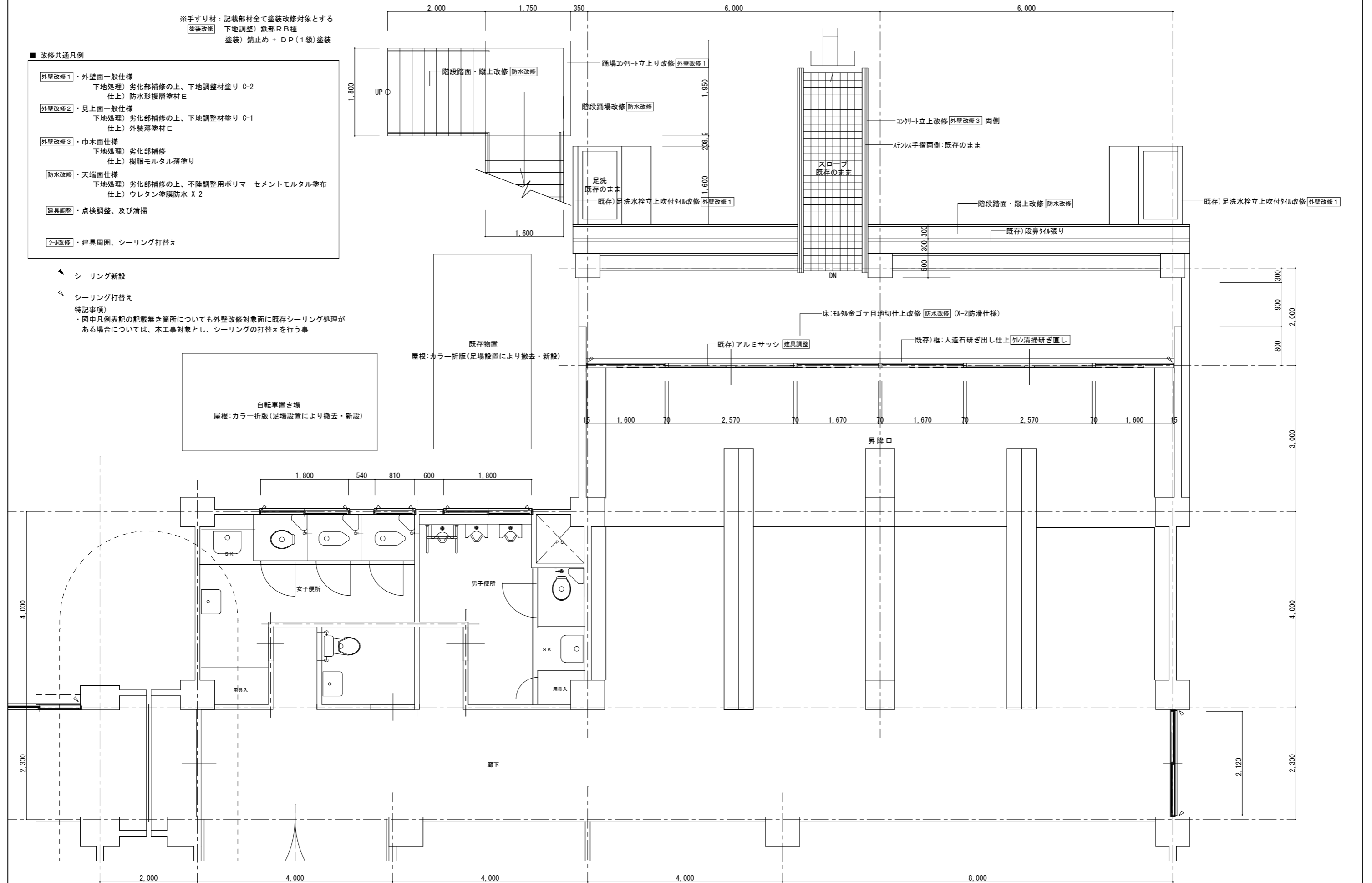
■ 改修共通凡例

- 外壁改修1 ・外壁面一般仕様
 下地処理) 劣化部補修の上、下地調整材塗り C-2
 仕上) 防水形複層塗材E
- 外壁改修2 ・見上面一般仕様
 下地処理) 劣化部補修の上、下地調整材塗り C-1
 仕上) 外装薄塗材E
- 外壁改修3 ・巾木面仕様
 下地処理) 劣化部補修
 仕上) 樹脂モルタル薄塗り
- 防水改修 ・天端面仕様
 下地処理) 劣化部補修の上、不陸調整用ポリマーセメントモルタル塗布
 仕上) ウレタン塗膜防水 X-2
- 建具調整 ・点検調整、及び清掃
- シール改修 ・建具周囲、シーリング打替え

▲ シーリング新設

△ シーリング打替え

特記事項)
 ・図中凡例表記の記載無き箇所についても外壁改修対象面に既存シーリング処理がある場合については、本工程対象とし、シーリングの打替えを行う事



※手すり材：記載部材全て塗装改修対象とする
 塗装改修 下地調整) 鉄部RB種
 塗装) 錆止め + DP (1級) 塗装

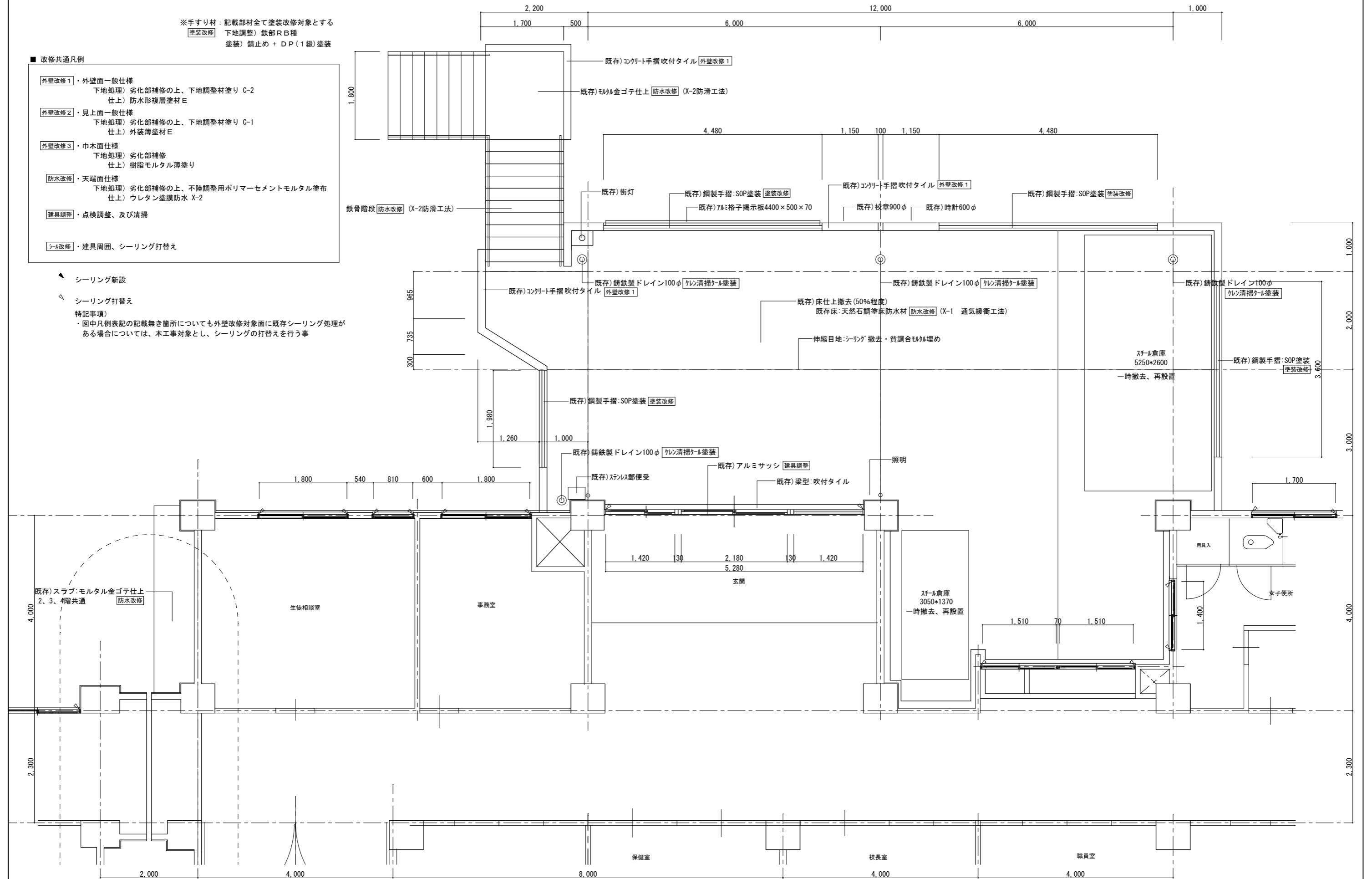
■ 改修共通凡例

- 外壁改修1) ・外壁面一般仕様
 下地処理) 劣化部補修の上、下地調整材塗り C-2
 仕上) 防水形複層塗材 E
- 外壁改修2) ・見上面一般仕様
 下地処理) 劣化部補修の上、下地調整材塗り C-1
 仕上) 外装薄塗材 E
- 外壁改修3) ・巾木面仕様
 下地処理) 劣化部補修
 仕上) 樹脂モルタル薄塗り
- 防水改修) ・天端面仕様
 下地処理) 劣化部補修の上、不陸調整用ポリマーセメントモルタル塗布
 仕上) ウレタン塗膜防水 X-2
- 建具調整) ・点検調整、及び清掃
- シール改修) ・建具周囲、シーリング打替え

▲ シーリング新設

▲ シーリング打替え

特記事項)
 ・図中凡例表記の記載無き箇所についても外壁改修対象面に既存シーリング処理がある場合については、本工程対象とし、シーリングの打替えを行う事



須賀中学校外壁改修工事

[須賀中学校] 2階職員玄関平面詳細図

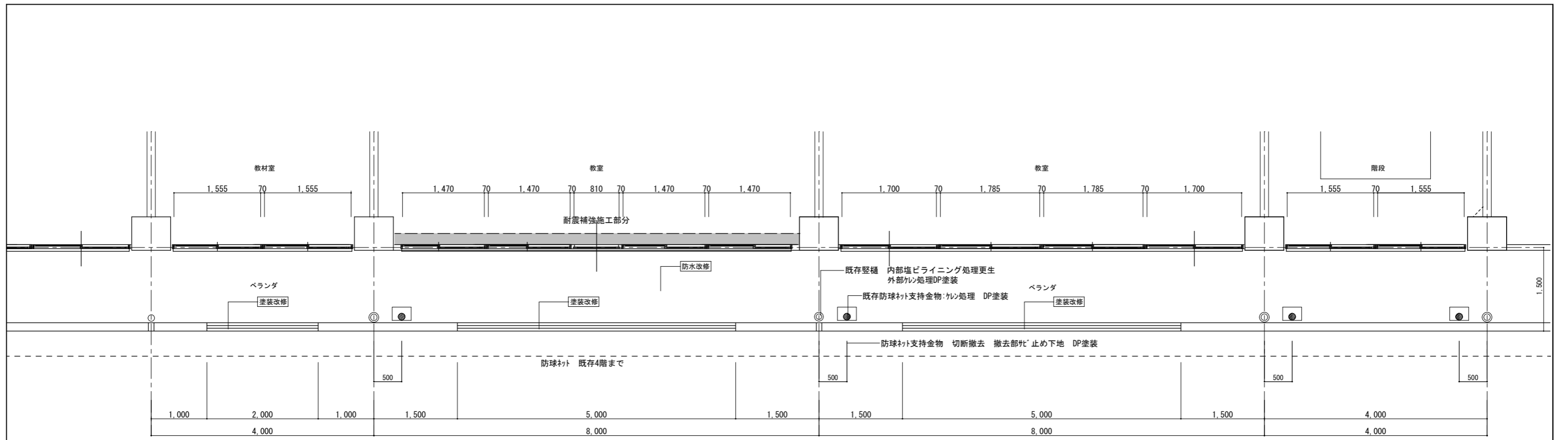
SCALE 1/50

設計

製図

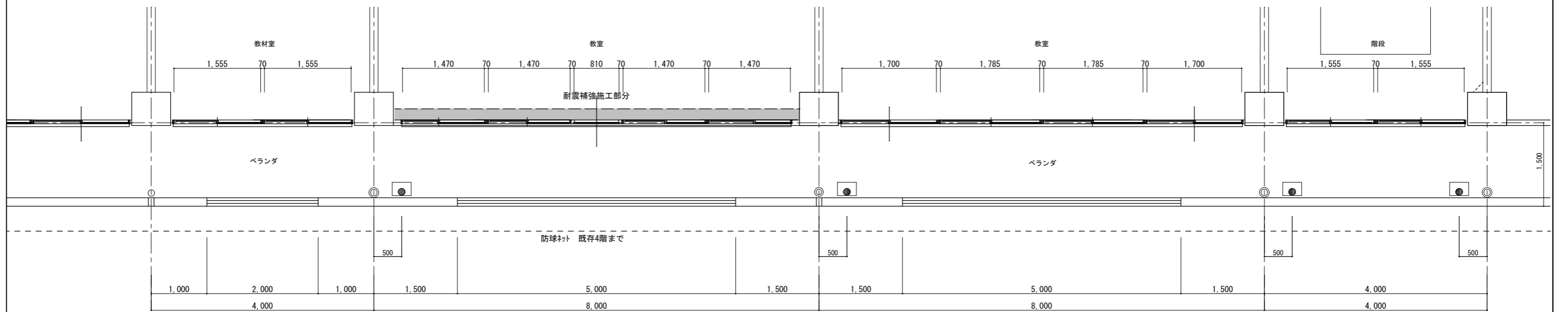
宮代町教育推進課

SA-26



平面詳細図 (改修後)

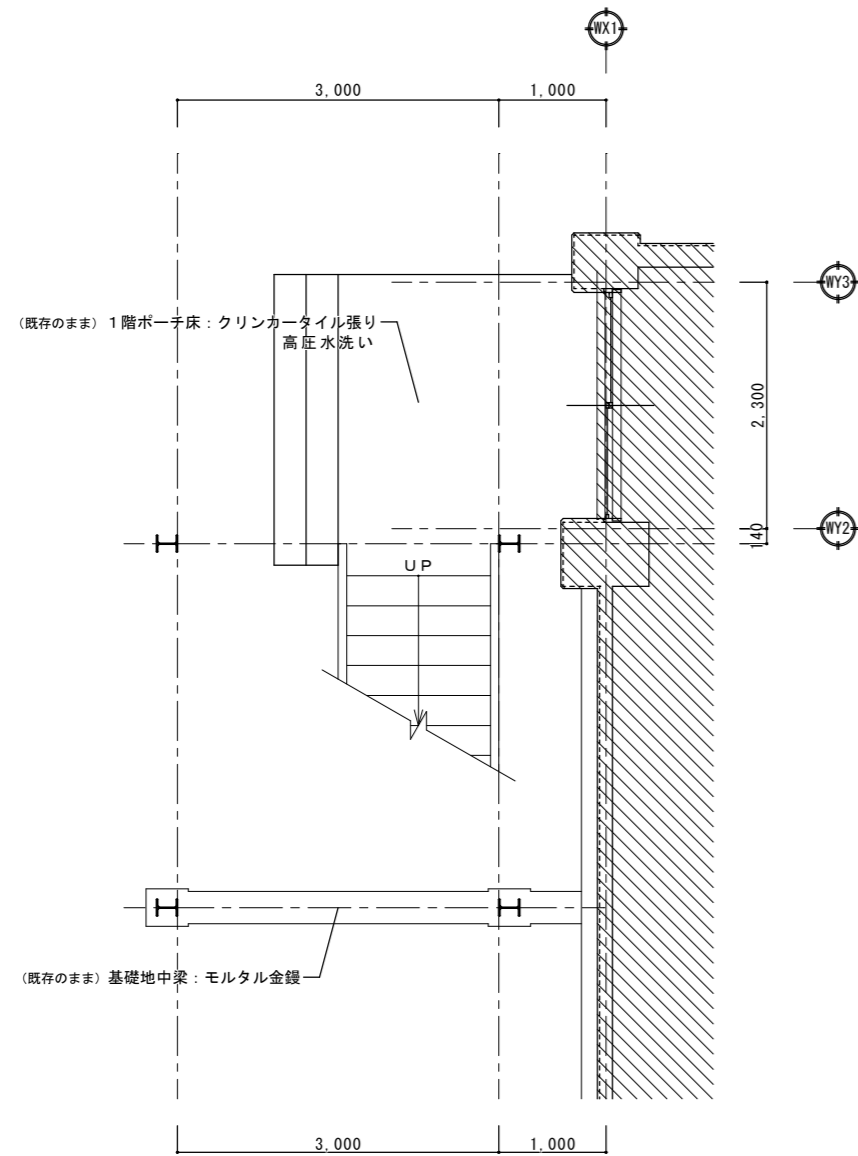
- 改修共通凡例
- 防水改修・天端面仕様
下地処理) 劣化部補修の上、不陸調整用ポリマーセメントモルタル塗布
仕上) ウレタン塗膜防水 X-2
 - 塗装改修 ※手すり材：記載部材全て塗装改修対象とする
下地調整) 鉄部RB種
塗装) 錆止め + DP (1級) 塗装



平面詳細図 (改修前)

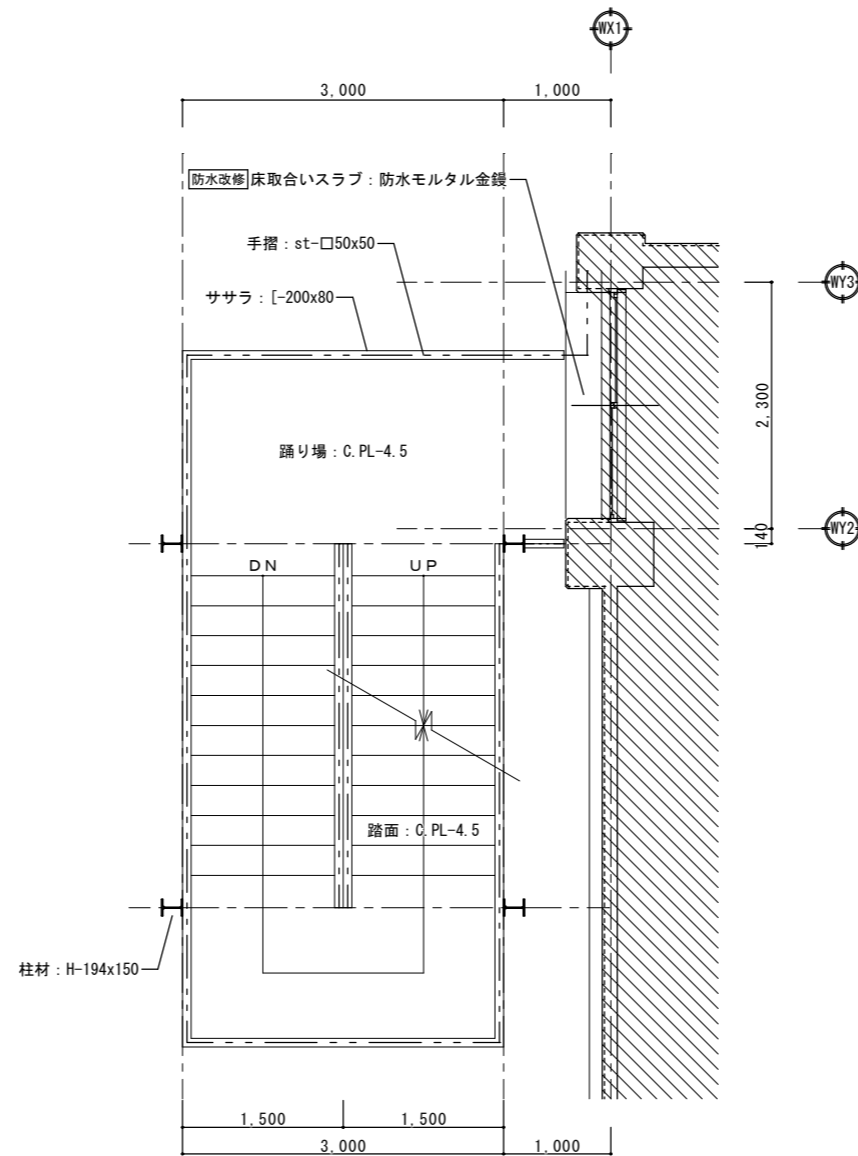
須賀中学校外壁改修工事				[須賀中学校] 平面詳細図	
SCALE	1/50	設計	製図	宮代町教育推進課	
				SA-27	

※屋外階段構成部材：露出鉄部面は全て塗装改修対象とする
 塗装改修 下地調整) 鉄部 R B 種
 塗装) 錆止め + D P (1 級) 塗装



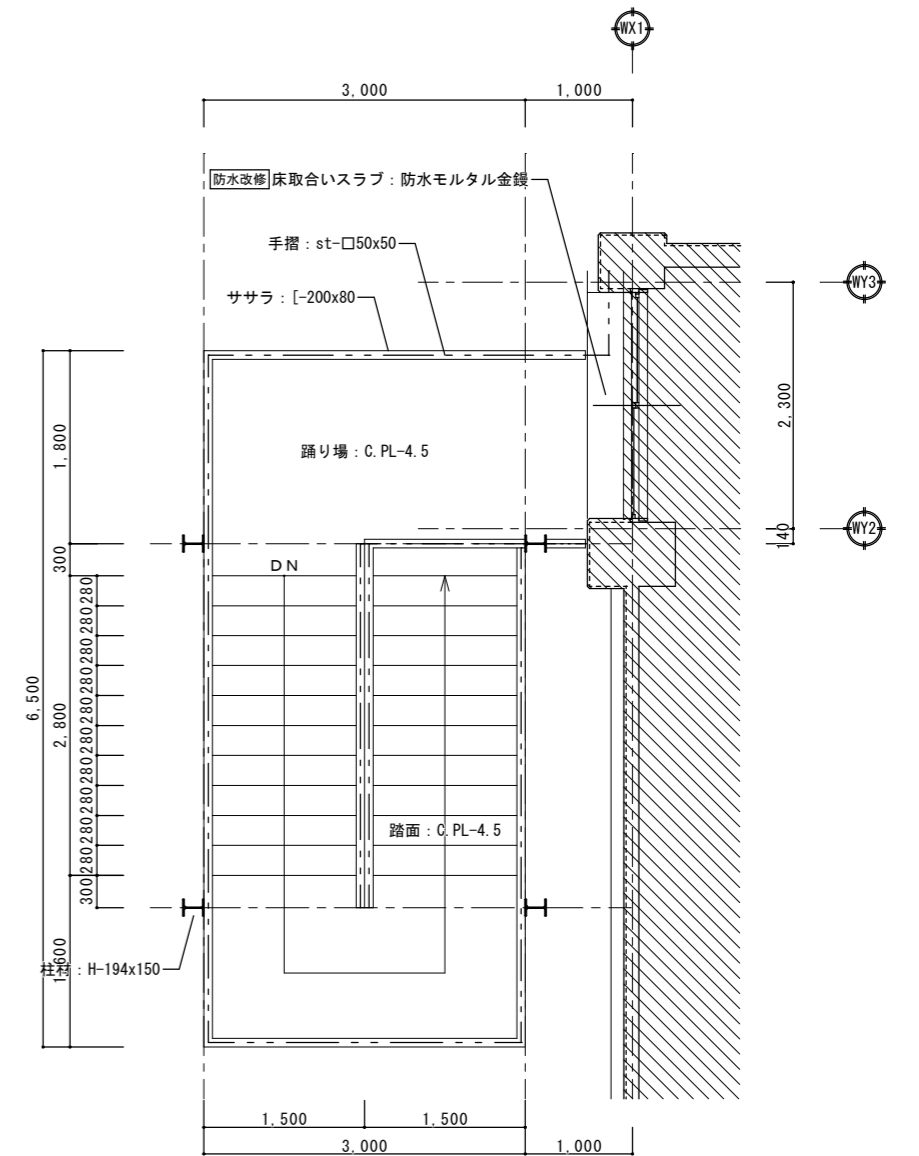
1 階 平 面 図 S=1/50

塗装改修



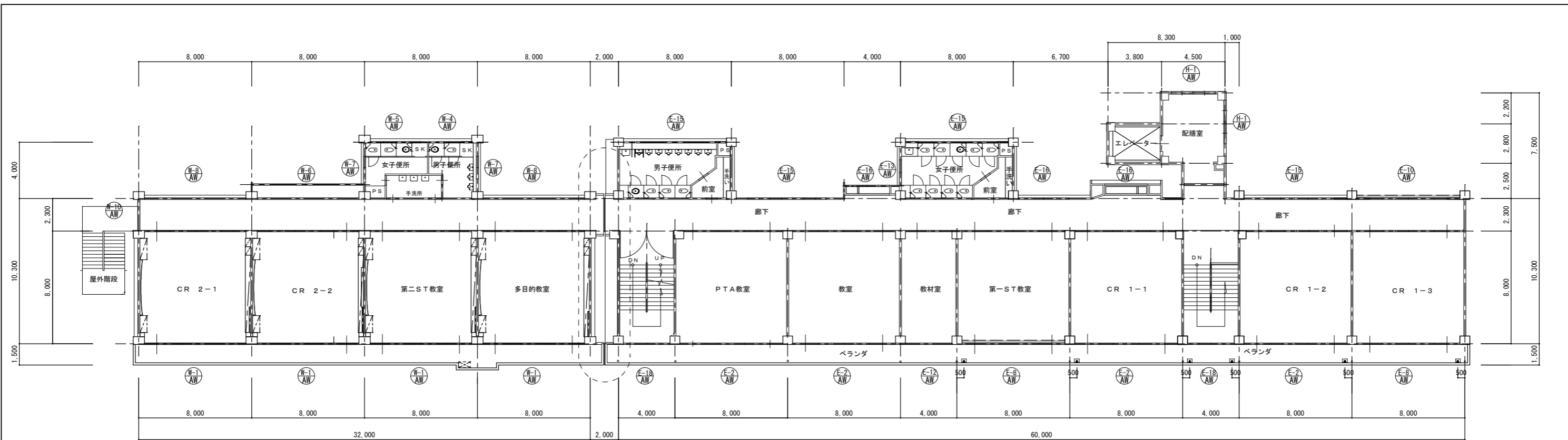
2・3 階 平 面 図 S=1/50

塗装改修



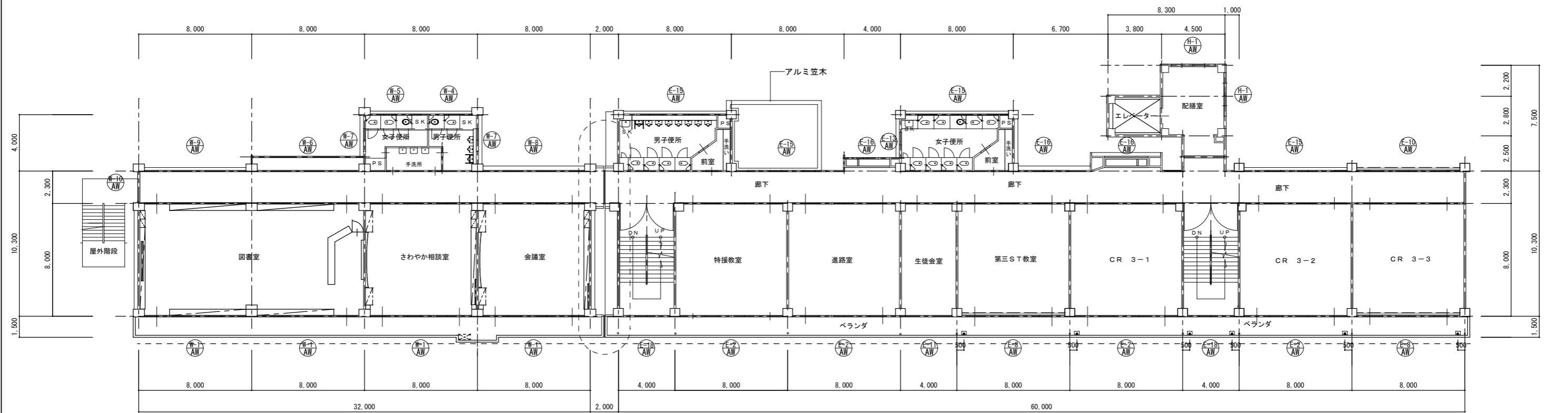
S=1/50 4 階 平 面 図

塗装改修



4 階 平 面 図

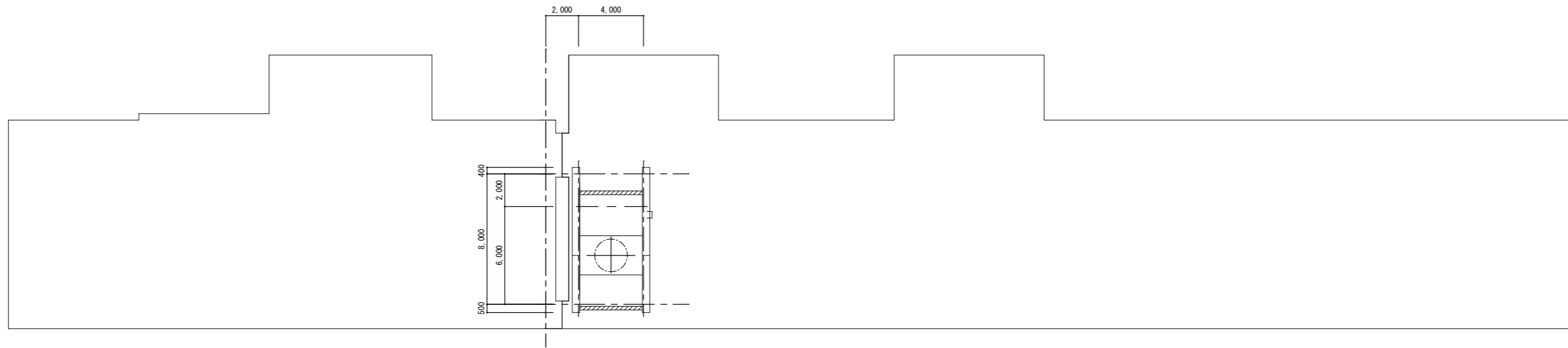
S=1:200



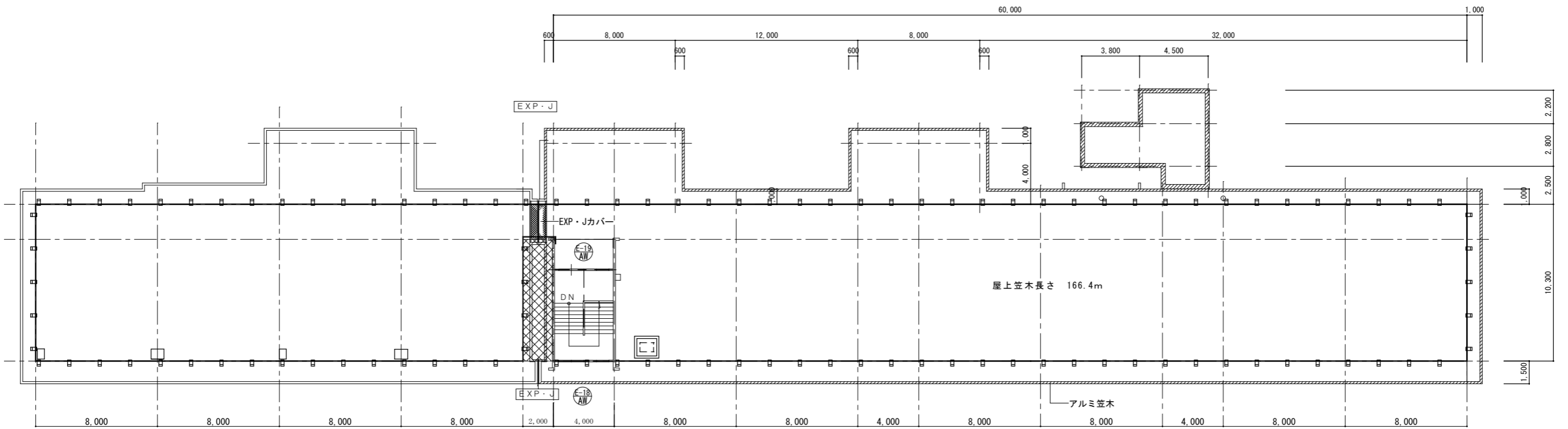
3 階 平 面 図

S=1:200

須賀中学校外壁改修工事			[須賀中学校] 3・4階 建具キープラン	
SCALE	1/200	設計	製図	宮代町教育推進課
				SA-31



塔屋屋上平面図 S=1:200



屋上平面図 S=1:200

		須賀中学校外壁改修工事		[須賀中学校] 屋上・塔屋屋上 建具キープラン	
SCALE	1/200	設計		製図	
				宮代町教育推進課	SA-32

記号/室名/数量	W-1 AW	普通教室等	数量【3,4階】8	W-2 AW	普通教室等	数量【1,2階】4
形状						
形式	引違い掃出し窓 + 引違い連窓 + 欄間引違い4連窓			引違い掃出し窓 + 引違い連窓 + 欄間引違い4連窓		
材質	アルミ製			アルミ製		
見込	70			70		
ガラス	記載略			記載略		
改修内容	1. 建具調整・点検調整、及び清掃 2. 防水改修・建具周囲、シーリング打替え 17.569m ²			1. 建具調整・点検調整、及び清掃 2. 防水改修・建具周囲、シーリング打替え 16.261m ²		
記号/室名/数量	W-3 AW	教室	数量【1,2階】4	W-4 AW	男子便所	数量【2,3,4階】3
形状						
形式	引違い掃出し窓 + 引違い連窓 + 欄間引違い4連窓			引違い窓		引違い2連窓
材質	アルミ製			アルミ製		アルミ製
見込	70			70		70
ガラス	記載略			記載略		記載略
改修内容	1. 建具調整・点検調整、及び清掃 2. 防水改修・建具周囲、シーリング打替え 16.326m ²			1. 建具調整・点検調整、及び清掃 2. 防水改修・建具周囲、シーリング打替え 1.680m ²		1. 建具調整・点検調整、及び清掃 2. 防水改修・建具周囲、シーリング打替え 3.840m ²
記号/室名/数量	W-6 AW	廊下	数量【各階】4	W-7 AW	男子・女子便所	数量【2,3,4階】6
形状						
形式	引違い4連窓			引違い窓		引違い4連窓
材質	アルミ製			アルミ製		アルミ製
見込	70			70		70
ガラス	記載略			記載略		記載略
改修内容	1. 建具調整・点検調整、及び清掃 2. 防水改修・建具周囲、シーリング打替え 6.324m ²			1. 建具調整・点検調整、及び清掃 2. 防水改修・建具周囲、シーリング打替え 2.012m ²		1. 建具調整・点検調整、及び清掃 2. 防水改修・建具周囲、シーリング打替え 8.604m ²

須賀中学校外壁改修工事

[須賀中学校] 西棟 建具表 1

SCALE 1/50

設計

製図

宮代町教育推進課

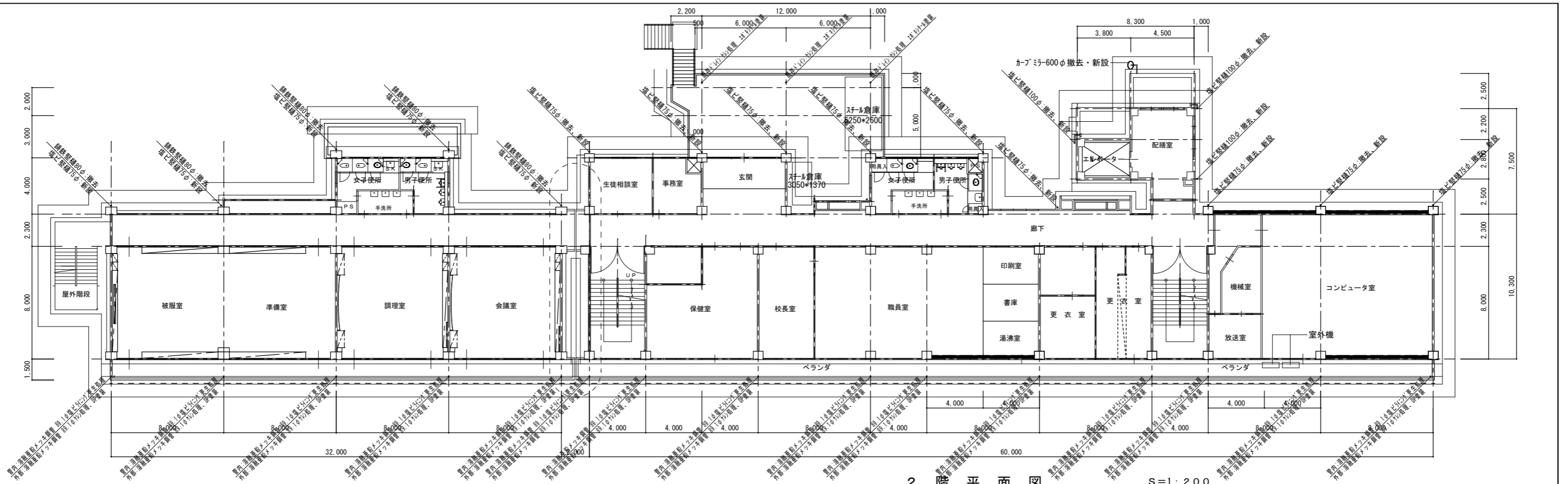
SA-33

記号/室名/数量	W-9 AW	廊下	数量【2,3,4階】4	W-10 AW	廊下	数量【各階】4	W-11 AW	昇降口	数量【1階】1			
形状												
形式	引違い4連窓			引違い掃出し窓			引違い窓					
材質	アルミ製			アルミ製			アルミ製					
見込	70			70			70					
ガラス	記載略			記載略			記載略					
改修内容	1. 建具調整・点検調整、及び清掃 2. 防水改修・建具周囲、シーリング打替え 8.604m ²			1. 建具調整・点検調整、及び清掃 2. 防水改修・建具周囲、シーリング打替え 4.602m ²			1. 建具調整・点検調整、及び清掃 2. 防水改修・建具周囲、シーリング打替え 1.530m ²					
記号/室名/数量	W-12 SSD	昇降口	数量【1階】1									
形状												
形式	引違い2段連窓 + 欄間引違い連窓											
材質	アルミ製											
見込	70											
ガラス	記載略											
改修内容	1. 建具調整・点検調整、及び清掃 2. 防水改修・建具周囲、シーリング打替え 18.642m ²											
記号/室名/数量	H-1 AW	配膳室	数量【各階】7	H-2 AW	配膳室	数量【1階】1	H-3 SS	配膳室	数量【1階】1	H-4 SD	配膳室	数量【1階】1
形状												
形式	引違い2連窓			嵌め殺し窓			電動鋼製シャッター			片開き戸+嵌め殺し欄間		
材質	アルミ製			アルミ製			鋼製			鋼製		
見込	70			70			ストラットメーカー仕様			80		
ガラス	記載略			記載略			記載略			記載略		
改修内容	1. 建具調整・点検調整、及び清掃 2. 防水改修・建具周囲、シーリング打替え 3.720m ²			1. 建具調整・点検調整、及び清掃 2. 防水改修・建具周囲、シーリング打替え 0.750m ²			1. 建具調整・点検調整、及び清掃 2. 防水改修・建具周囲、シーリング打替え 6.760m ²			1. 建具調整・点検調整、及び清掃 2. 防水改修・建具周囲、シーリング打替え 2.060m ²		

記号/室名/数量	E-1 AW	昇降口	数量【1階】1	E-2 AW	教室	数量【※階】13
形状						
形式	引分け戸+嵌め殺し袖窓+欄間嵌め殺し窓			引違い掃出し窓+欄間引違い4連窓		
材質	スチルス			アルミ製		
見込	100			70		
ガラス	記載略			記載略		
改修内容	1. 建具調整・点検調整、及び清掃 2. 防水改修・建具周囲、シーリング打替え 31.556m ²			1. 建具調整・点検調整、及び清掃 2. 防水改修・建具周囲、シーリング打替え 17.460m ²		
記号/室名/数量	E-3 AW	普通教室等	数量【※階】1	E-4 AW	普通教室等	数量【※階】1
形状						
形式	引違い4連窓 + 欄間引違い4連窓			引違い2連掃出し窓 + 欄間引違い4連窓		
材質	アルミ製			アルミ製		
見込	70			70		
ガラス	記載略			記載略		
改修内容	1. 建具調整・点検調整、及び清掃 2. 防水改修・建具周囲、シーリング打替え 15.078m ²			1. 建具調整・点検調整、及び清掃 2. 防水改修・建具周囲、シーリング打替え 17.433m ²		
記号/室名/数量	E-5 AW	教室	数量【※階】1	E-6 AW	職員玄関	数量【2階】1
形状						
形式	引違い掃出し窓 + 引違い3連窓 + 欄間引違い4連窓			引き分け掃き出し戸+嵌め殺し窓		
材質	アルミ製			アルミ製		
見込	70			70		
ガラス	記載略			記載略		
改修内容	1. 建具調整・点検調整、及び清掃 2. 防水改修・建具周囲、シーリング打替え 16.310m ²			1. 建具調整・点検調整、及び清掃 2. 防水改修・建具周囲、シーリング打替え 13.425m ²		

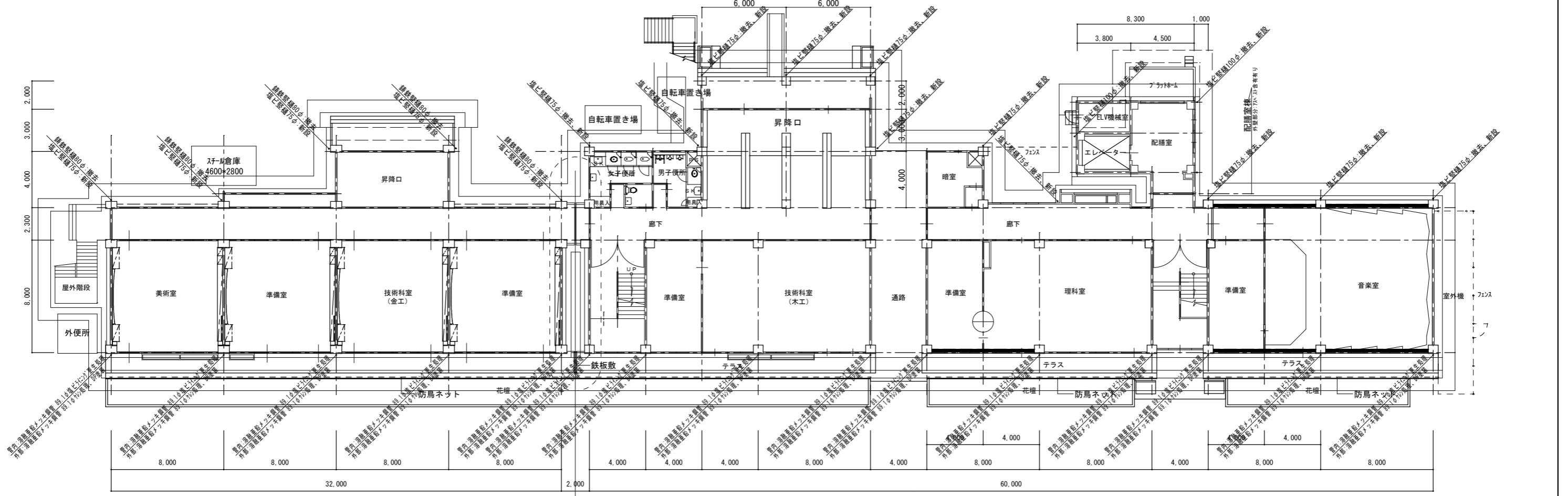
記号/室名/数量	E-7 AW	教室	数量【※階】1	E-8 AW	教室	数量【※階】7
形状						
形式	引違い4連窓 + 欄間引違い4連窓			片開き+引違い4連窓 + 欄間引違い4連窓		
材質	アルミ製			アルミ製		
見込	70			70		
ガラス	記載略			記載略		
改修内容	1. 建具調整・点検調整、及び清掃 2. 防水改修・建具周囲、シーリング打替え 15.078㎡			1. 建具調整・点検調整、及び清掃 2. 防水改修・建具周囲、シーリング打替え 15.375㎡		
記号/室名/数量	E-9 AW	廊下	数量【※階】3	E-10 AW	廊下	数量【※階】10
形状						
形式	引違い4連窓 + 欄間引違い4連窓			引違い4連窓		
材質	アルミ製			アルミ製		
見込	70			70		
ガラス	記載略			記載略		
改修内容	1. 建具調整・点検調整、及び清掃 2. 防水改修・建具周囲、シーリング打替え 13.393㎡			1. 建具調整・点検調整、及び清掃 2. 防水改修・建具周囲、シーリング打替え 8.664㎡		
記号/室名/数量	E-11 AW	教材室	数量【2階】1	E-12 AW	教材室	数量【※階】2
形状						
形式	片開き掃出し窓 + 両袖F1X窓 + 欄間引違い窓 + 欄間F1X窓			引違い窓 + 欄間引違い窓		
材質	アルミ製			アルミ製		
見込	70			70		
ガラス	記載略			記載略		
改修内容	1. 建具調整・点検調整、及び清掃 2. 防水改修・建具周囲、シーリング打替え 7.326㎡			1. 建具調整・点検調整、及び清掃 2. 防水改修・建具周囲、シーリング打替え 6.678㎡		
記号/室名/数量	E-13 AW	便所	数量【※階】10	E-14 AW	便所	数量【※階】2
形状						
形式	引違い窓			引違い窓		
材質	アルミ製			アルミ製		
見込	70			70		
ガラス	記載略			記載略		
改修内容	1. 建具調整・点検調整、及び清掃 2. 防水改修・建具周囲、シーリング打替え 2.160㎡			1. 建具調整・点検調整、及び清掃 2. 防水改修・建具周囲、シーリング打替え 0.960㎡		

記号/室名/数量	E-15 AW 廊下 数量【※階】8	E-16 AW 廊下 数量【※階】11	E-17 AW 階段室 数量【1階】1	E-18 AW 階段室・階段室塔屋 数量【※階】8
形状				
形式	引違い3連窓	引違い2連窓	引違い框ドア	引違い2連窓
材質	アルミ製	アルミ製	アルミ製	アルミ製
見込	70	70	70	70
ガラス	記載略	記載略	記載略	記載略
改修内容	1. [建具調整]・点検調整、及び清掃 2. [防水改修]・建具周囲、シーリング打替え 6.324m ²	1. [建具調整]・点検調整、及び清掃 2. [防水改修]・建具周囲、シーリング打替え 3.720m ²	1. [建具調整]・点検調整、及び清掃 2. [防水改修]・建具周囲、シーリング打替え 5.688m ²	1. [建具調整]・点検調整、及び清掃 2. [防水改修]・建具周囲、シーリング打替え 2.862m ²
記号/室名/数量	E-19 AW 階段室R階 数量【R階】1	E-20 AW 廊下 数量【1階】2	(This area is crossed out with a diagonal line)	
形状				
形式	引違い+引違い掃出し窓	引違い掃出し窓		
材質	アルミ製	アルミ製		
見込	70	70		
ガラス	記載略	記載略		
改修内容	1. [建具調整]・点検調整、及び清掃 2. [防水改修]・建具周囲、シーリング打替え 5.069m ²	1. [建具調整]・点検調整、及び清掃 2. [防水改修]・建具周囲、シーリング打替え 6.639m ²		
記号/室名/数量				
形状				
形式				
材質				
見込				
ガラス				
改修内容				



※ベランダドレン部分(東棟・西棟)共:ケレン処理、1ヶキタル処理とする。

2階平面図 S=1:200

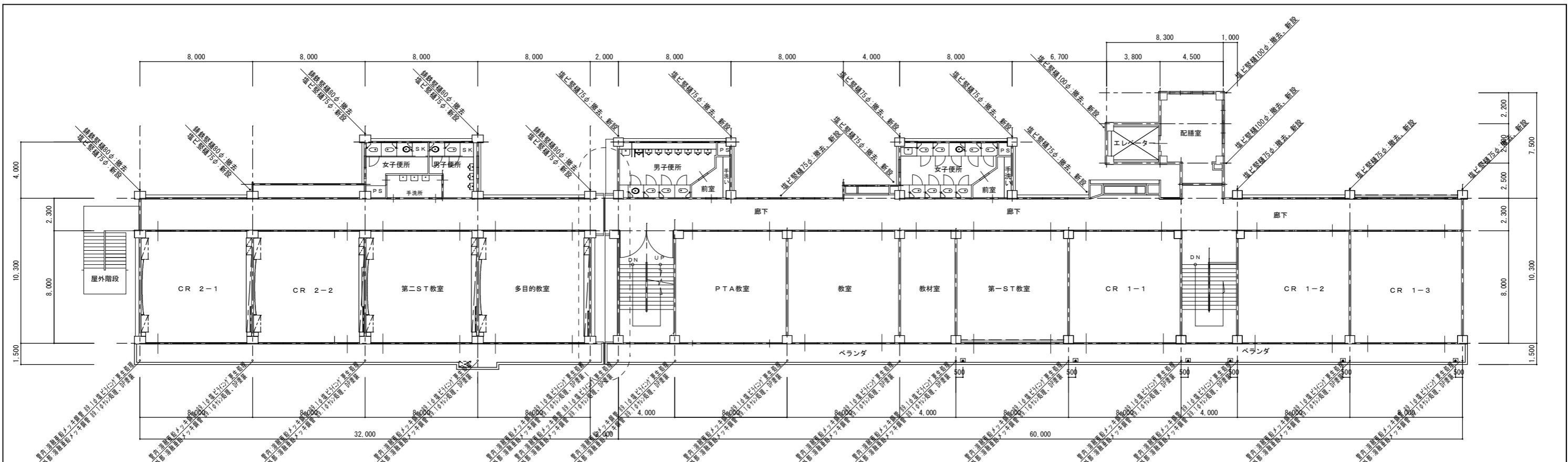


※東棟 補強材:溶融亜鉛メッキ鋼管 138.9φ(管内、外部)共 縦樋と同様処理とする。

西棟 東棟
外壁部分:75A 含有無し 外壁部分:75A 含有有り

1階平面図 S=1:200

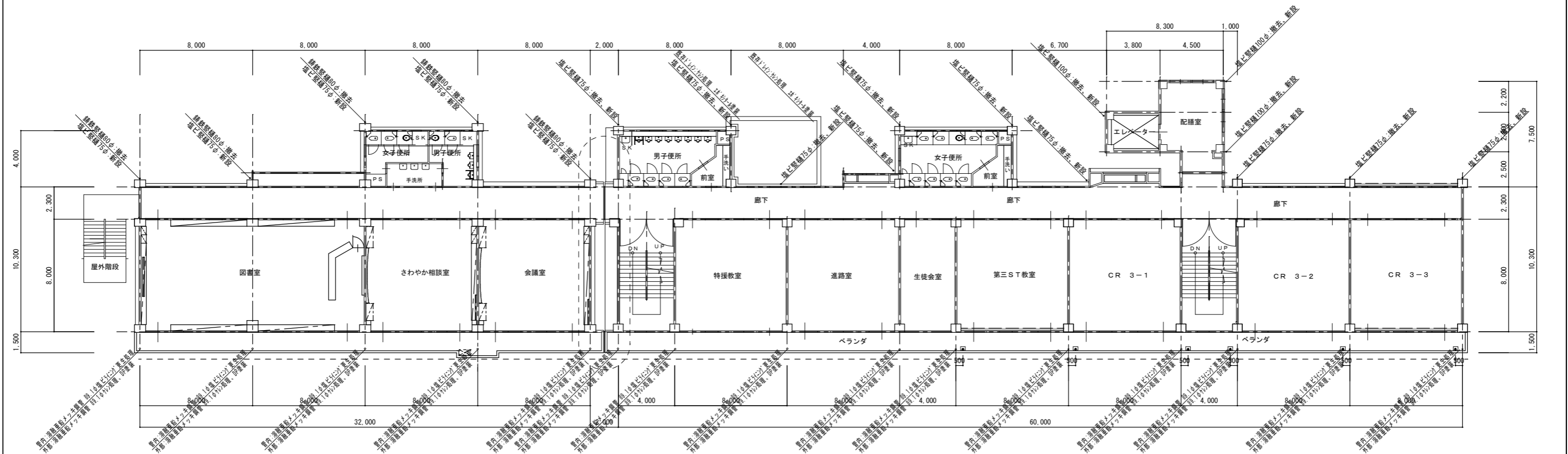
須賀中学校外壁改修工事			[須賀中学校] 1・2階平面図(雨水排水)	
SCALE	1/200	設計	製図	宮代町教育推進課
				SA-38



※ベランダドレン部分(東棟・西棟)共:ケリ処理、珪キタル処理とする。

4階平面図

S=1:200

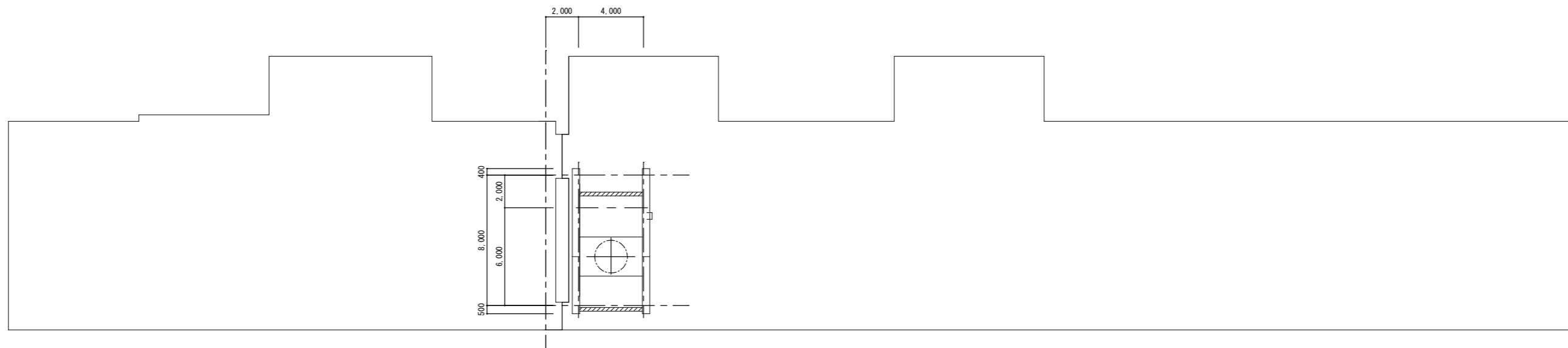


※ベランダドレン部分(東棟・西棟)共:ケリ処理、珪キタル処理とする。

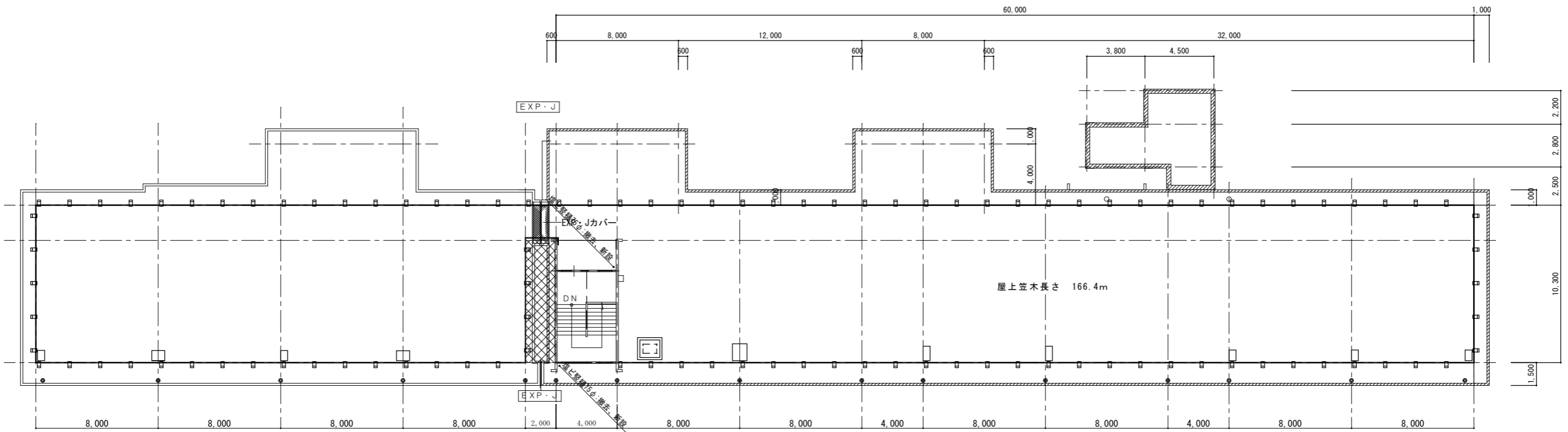
3階平面図

S=1:200

須賀中学校外壁改修工事			[須賀中学校] 3・4階平面図(雨水排水)	
SCALE	1/200	設計	製図	
宮代町教育推進課				SA-39



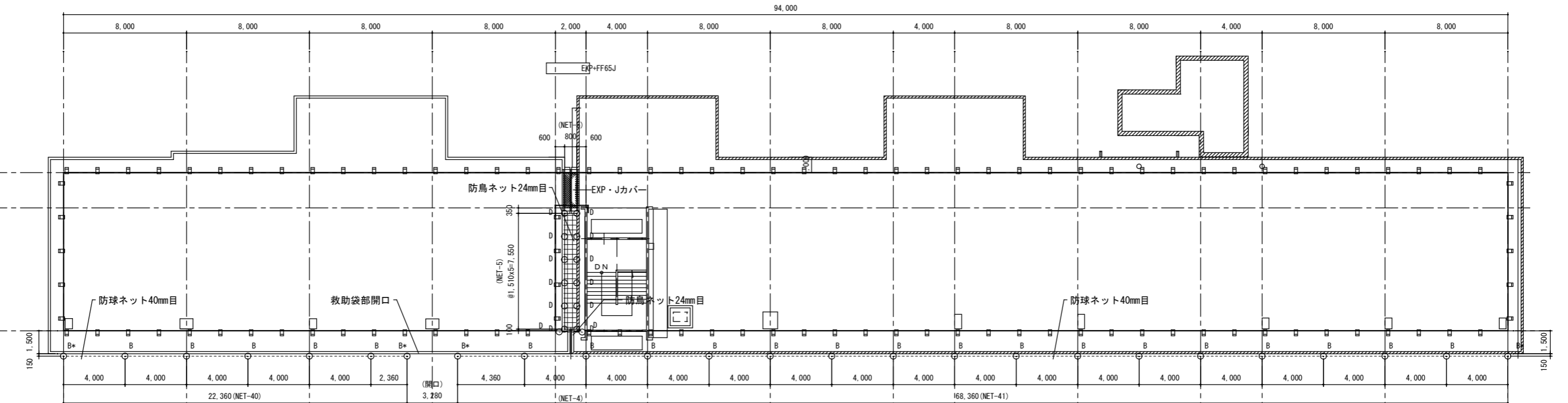
塔屋屋上平面図 S=1:200



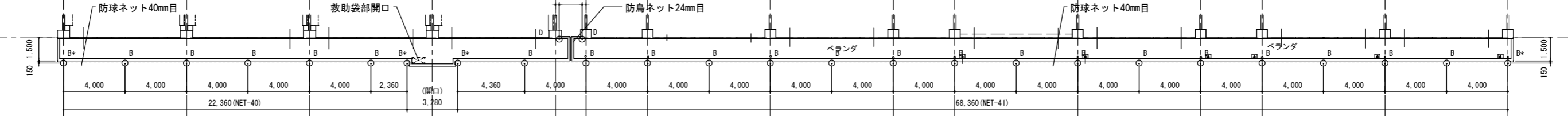
屋上平面図 S=1:200

				須賀中学校外壁改修工事		[須賀中学校] 屋上・塔屋屋上平面図(雨水排水)		
SCALE	1/200	設計		製図		宮代町教育推進課		SA-40

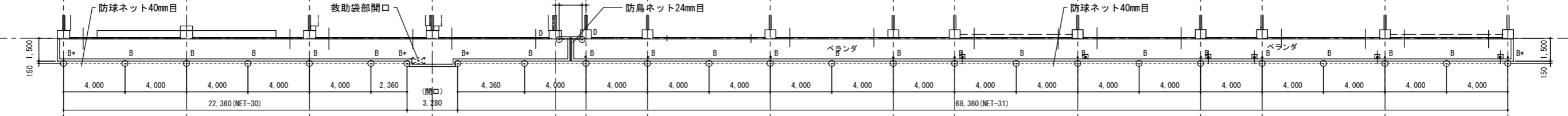
R階 ネット平面図 (S=1:200)
南側



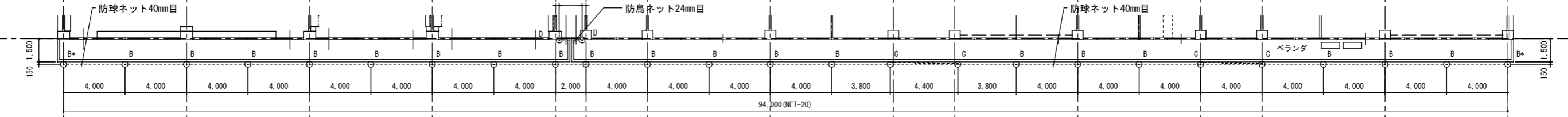
4階 ネット平面図 (S=1:200)
南側



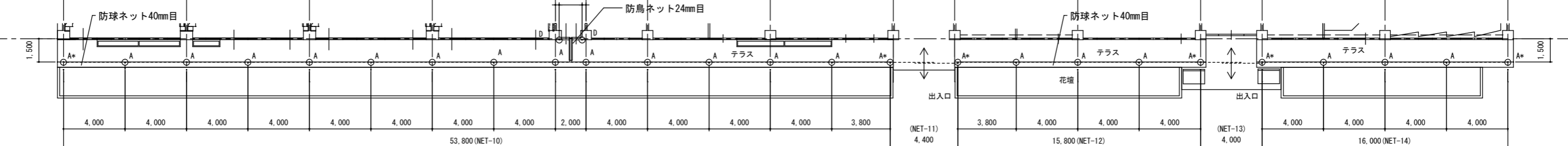
3階 ネット平面図 (S=1:200)
南側



2階 ネット平面図 (S=1:200)
南側



1階 ネット平面図 (S=1:200)
南側



須賀中学校外壁改修工事

[須賀中学校] 防球・防鳥ネット詳細図 1

SCALE 1/50

設計

製図

宮代町教育推進課

SA-41

